

## 第 13 章 案件プロフィール

以下にショートリスト案件のプロフィールを記載する。

### 13.1 道路・小規模橋梁

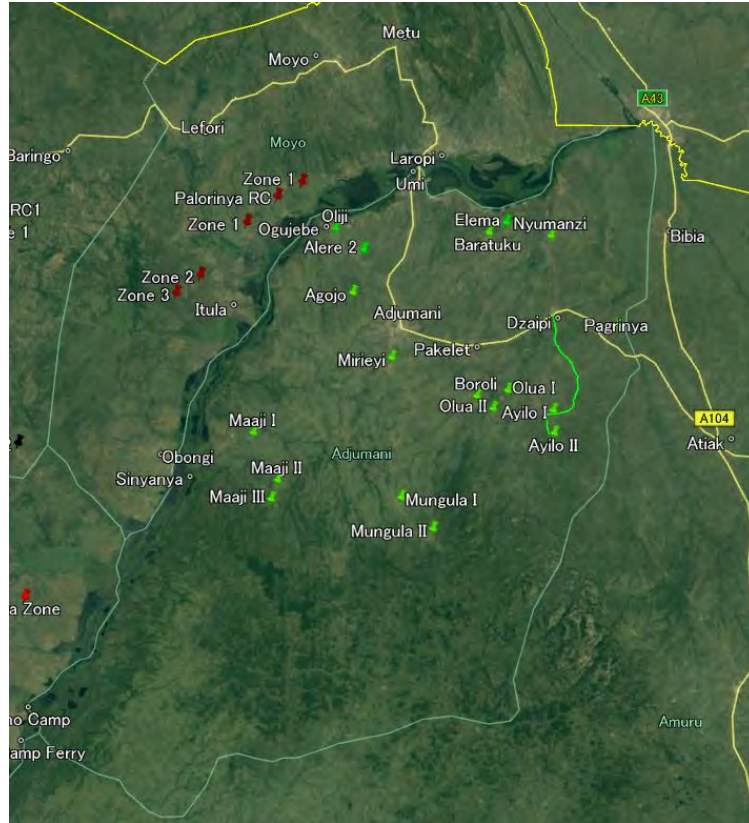
セクター：RB	案件番号：RB-1
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Adjumani 県内の県道改修計画
案件概要	Adjumani 県内の既存砂利道路（計 18km）の改修・嵩上げ、排水施設の改修・追加
実施背景	Adjumani 県には難民居住区（Z/S）が 18ヶ所ある。県の全 9 郡のうち 7 郡がホストコミュニティであり、県人口の 7 割以上に相当する難民を受け入れている（2017 年 8 月時点）。対象道路は、国道に接続する県道で、沿線に難民居住区とホストコミュニティが存在する。元来の維持管理の悪さに加え、難民居住区への大型重車両による物資輸送が急激に増加したことから、道路の損傷が急速に進んでいる。そのため、難民居住区とホストコミュニティへの円滑な交通に支障をきたしており、早急な対応が求められている。なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない（2017 年 10 月末時点）。
対象地域	Adjumani 県 Dzaipi 郡と Pakele 郡及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：Dzaipi 郡の道路輸送能力が強化されることにより隣接する Pakele 郡を含めて難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：Dzaipi 郡の県道の改修により物流が円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：Adjumani 県 Dzaipi 郡の住民（43,700 人）と Pakele 郡の住民（50,400 人）、及び隣接する両郡の難民居住区の全住民（71,153+52,477=123,630 人）、合計 217,730 人 間接受益者：Adjumani 県の住民 131,175 人（両郡を除いた県民人口） （注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 県：Adjumani 県は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：該当無し
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定（理由：案件規模が小であるため） 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：Adjumani 県
事業費概算	基本コンポーネント費用：10.3 億円 事業費内訳：建設費 7.7 億円 設計費・調達代理機関費 2.6 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、交通量
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：1.5 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であるため、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台/日、台/24H）
平和構築の視点及び実施上の留意点	同県の総人口の 42% 及び同県に居住する難民の 71% を抱える地域での案件であり、ホストコミュニティ及び難民のみならず、Adjumani 県に対して裨益する度が高く、住民と難民の融和が促進されることが期待できる。 対象道路は既存の道路の一区間であるため、維持管理に際して、機材を搬入する等の新規コストが発生しない。 当案件のみの実施でもホストコミュニティの住民と難民に対しての貢献度は高いが、近接する別案件の RB-6 も同時に採択されたならば、両案件の実施による相乗効果でより

項目	内容
	広範囲な地域の住民と難民に裨益できる。 対象となる郡と Z/S - 郡：Adjumani 県 Dzaipi 郡と Pakele 郡 - Z/S：Ayilo I、Ayilo II、Nyumanzi、Elema、Baratuku、Pagrinya、Boroli、Olua 1、Olua 2 (Dzaipi 郡と Pakele 郡の全 Settlement)

案件番号：RB-1 別添資料

1. プロジェクト位置図（緑で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真

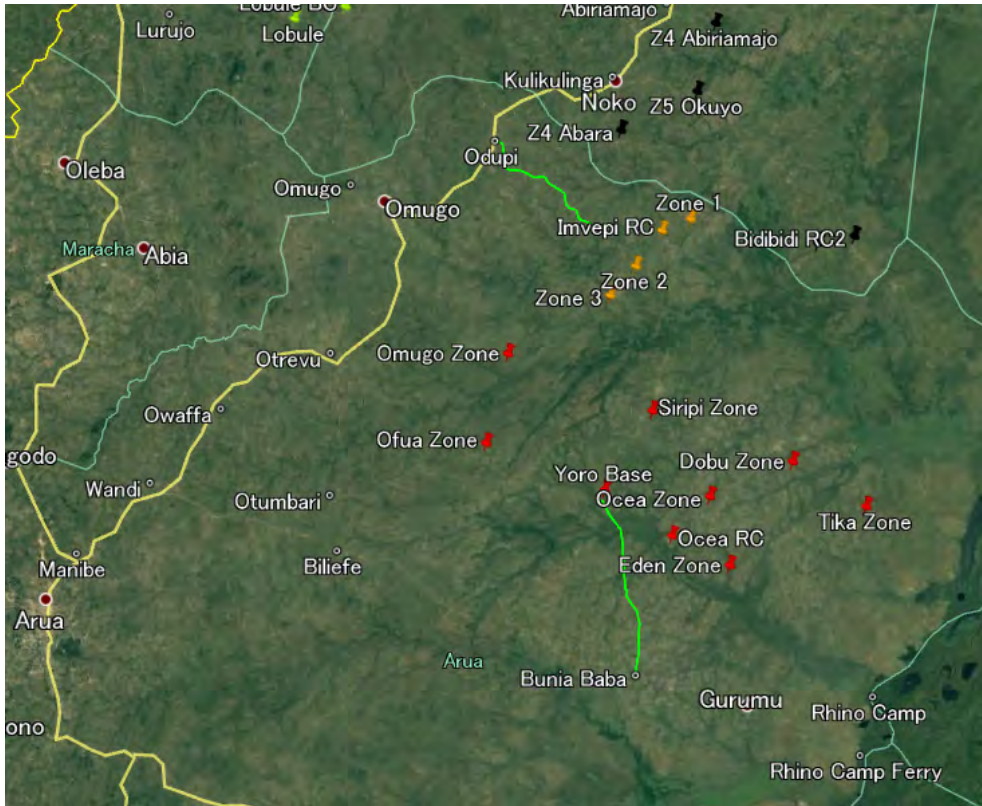


セクター：RB	案件番号：RB-2
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Arua 県内の県道改修計画
案件概要	Arua 県内の既存砂利道路（計 23km）の改修・嵩上げ、排水施設の改修・追加
実施背景	Arua 県には難民居住区（Z/S）が 13ヶ所ある。県の全 26 郡のうち 4 郡がホストコミュニティであり、県人口の 3 割に相当する難民を受け入れている（2017 年 8 月時点）。対象道路は、国道に接続する県道で、沿線に難民居住区とホストコミュニティが存在する。元来の維持管理の悪さに加え、難民居住区への大型重車両による物資輸送が急激に増加したことから、道路の損傷が急速に進んでいる。道路は路面の排水設備が不備であり、雨水により路面に深いわだちができています。特に雨季には道路の冠水等により、路面状態が一層、悪化する。そのため、難民居住区とホストコミュニティへの円滑な交通に支障をきたしており、早急な対応が求められている。なお本案件は、国・県の開発計画は予定されており、支援の重複はない（2017 年 10 月末時点）。
対象地域	Arua 県 Rigbo 郡、Odupi 郡、Uriama 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：Rigbo 郡、Odupi 郡及び Uriama 郡の道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：Rigbo 郡、Odupi 郡及び Uriama 郡の県道の改修により物流が円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：Arua 県 Rigbo 郡（27,900 人）、Uriama 郡（25,100 人）、Odupi 郡（41,600 人）の住民及び隣接難民居住区の住民（227,204 人）、合計 321,804 人 間接受益者：Arua 県の住民 687,477 人（上記 3 郡を除いた県民人口） （注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 県：Arua 県は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：該当無し
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定（理由：案件規模が小であるため） 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタント新たに選定して雇用 モニタリング：Arua 県
事業費概算	基本コンポーネント費用：12.6 億円 事業費内訳：建設費 9.4 億円 設計費・調達代理機関費 3.2 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、交通量
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：1.5 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であるため、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台/日、台/24H）
平和構築の視点及び実施上の留意点	当案件は南北の 2 本の道路にて構成されているが、南北の道路を繋ぐ区間は既に UNHCR により整備がすすめられており、当案件を採択することにより北の Odupi と南の Bunia Baba 間を南北に縦断する道路が完成する。この一連の道路の完成によりホストコミュニティと難民に裨益するのみならず、県内に 3 箇所の難民居住区を抱える Arua 県及び UNHCR への裨益効果も高い。また住民と難民の円滑な移動が確保されることにより両者の融和が促進されることも期待できる。ただし当案件は南北に分離した 2 路線であり、建設工事は南北に分かれて施工するため、調達代理機関の施工監理が煩雑である。また完成後の県による維持管理費も割高となると想定される。 対象となる郡と Z/S 郡：Arua 県 Rigbo 郡、Uriama 郡、Odupi 郡 Z/S：Rhino Camp Settlement、Imvepi Settlement

案件番号：RB-2 別添資料

1. プロジェクト位置図（緑で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真

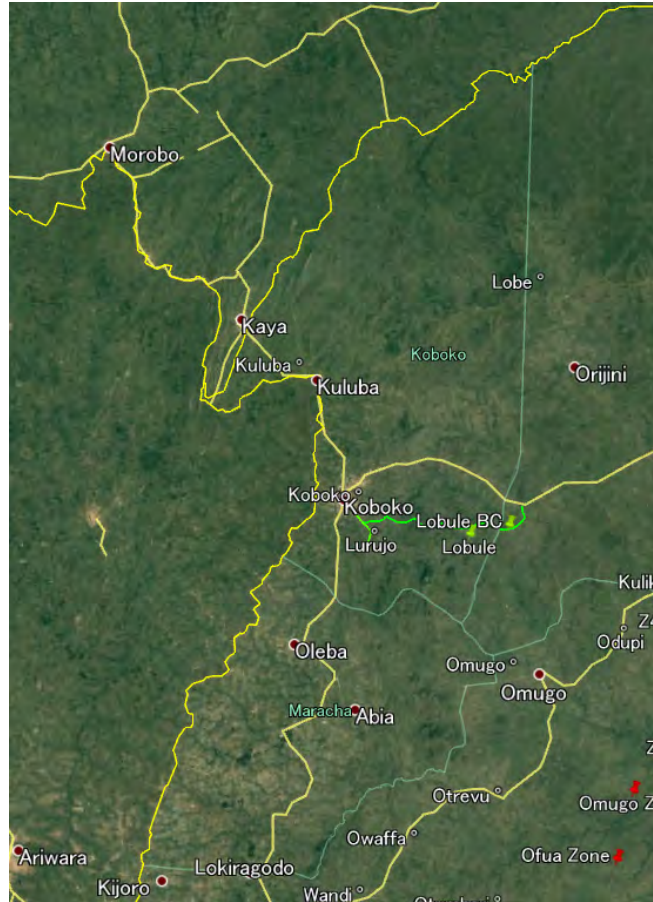


セクター：RB	案件番号：RB-3
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	コボコ県内の県道改修計画
案件概要	コボコ県内の既存砂利道路（計 22km）の改修・嵩上げ、排水施設の改修・追加
実施背景	コボコ県には難民居住区（Z/S）が 1ヶ所ある。県の全 6 郡のうち 1 郡がホストコミュニティであり、県人口の 0.2 割に相当する難民を受け入れている（2017 年 8 月時点）。対象道路は、国道に接続する県道で、沿線に難民居住区とホストコミュニティが存在する。元来の維持管理の悪さに加え、難民居住区への大型重車両による物資輸送が急激に増加したことから、道路の損傷が急速に進んでいる。道路は路面の排水設備が不備であり、雨水により路面に深いわだちができています。特に雨季には道路は泥沼状態になり路面状態が一層、悪化する。そのため、難民居住区とホストコミュニティへの円滑な交通に支障をきたしており、早急な対応が求められている。なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない（2017 年 10 月末時点）。
対象地域	コボコ県 Lobule 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：Lobule 郡の道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：Lobule 郡の県道の改修により物流が円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：コボコ県 Lobule 郡の住民（37,400 人）及び隣接難民居住区の住民（4,396 人）、合計 41,796 人 間接受益者：コボコ県の住民 169,095 人（上記 Lobule 郡を除いた県民人口） （注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 県：コボコ県は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：該当無し
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定（理由：案件規模が小であるため） 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：コボコ県
事業費概算	基本コンポーネント費用： 11.5 億円 事業費内訳：建設費 8.6 億円 設計費・調達代理機関費 2.9 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、交通量
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：1.5 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であるため、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台/日、台/24H）
平和構築の視点及び実施上の留意点	当案件の路線は河川横断があり、Koboko 県により橋梁建設が進行している。橋梁の前後の悪路が改修され、Koboko 県の橋梁も完成した時点では住民と難民の円滑な交通が確保され、両者に対して大きな裨益効果がもたらされる。 当案件を実施するための留意点は Koboko 県による橋梁が予定どおり完成するか否かである。案件の実施を決定するにあたり、Koboko 県と橋梁建設の進捗度合を協議し、確認することが必要である。 対象となる郡と Z/S 郡：コボコ県 Lobule 郡 Z/S：Lobule Zone A 及び Zone B

案件番号：RB-3 別添資料

1. プロジェクト位置図（緑で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真



セクター：RB	案件番号：RB-4
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Moyo 県内の県道／コミュニティ道路改修計画
案件概要	Moyo 県内の既存砂利道路（計 28km）の改修・嵩上げ、排水施設の改修・追加
実施背景	Moyo 県には難民居住区（Z/S）が 4ヶ所ある。県の全 8 郡のうち 1 郡（Itula 郡）がホストコミュニティであり、県人口の 13 割弱に相当する難民を受け入れている（2017 年 8 月時点）。 対象道路は、国道に接続する県道で、沿線に難民居住区とホストコミュニティが存在する。元来の維持管理の悪さに加え、難民居住区への大型重車両による物資輸送が急激に増加したことから、道路の損傷が急速に進んでいる。 道路は路面の排水設備が不備であり、雨水により路面に深いわだちと水溜りができている。特に雨季には道路は泥沼状態になり路面状態が一層、悪化する。そのため、難民居住区とホストコミュニティへの円滑な交通に支障をきたしており、早急な対応が求められている。 なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない（2017 年 10 月末時点）。
対象地域	Moyo 県 Itula 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：Itula 郡の道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：Itula 郡の県道の改修により物流が円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：Moyo 県 Itula 郡の住民（13,262 人）及び隣接難民居住区の住民（174,702 人）、合計 1887,904 人 間接受益者：Moyo 県の住民 125,012 人（上記 Itula 郡を除いた県民人口） （注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 県：Moyo 県は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：該当無し
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定（理由：案件規模が小であるため） 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：Moyo 県
事業費概算	基本コンポーネント費用：15.4 億円 事業費内訳：建設費 11.5 億円 設計費・調達代理機関費 3.9 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、交通量
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：2.0 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であるため、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台／日、台／24H）
平和構築の視点及び実施上の留意点	当案件は県民人口を上回る難民を抱えて疲労している Itula 郡での道路改修であり、案件が採択された場合、難民に対する裨益のみならずホストコミュニティである Itula 郡の住民にとっても大きな裨益効果が発生する。 また当案件のみでも住民と難民に対して高い裨益効果を期待できるが、近接する別案件 RB-8 も同じく採択された場合には、両案件の相乗効果により Itula 郡住民と難民のみならず、Moyo 県民全体に対しても大きな貢献となる。 対象となる郡と Z/S 郡：Moyo 県 Itula 郡 Z/S：Palorinya Settlement Zone 2, Zone 3

案件番号：RB-4 別添資料

1. プロジェクト位置図（緑で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真



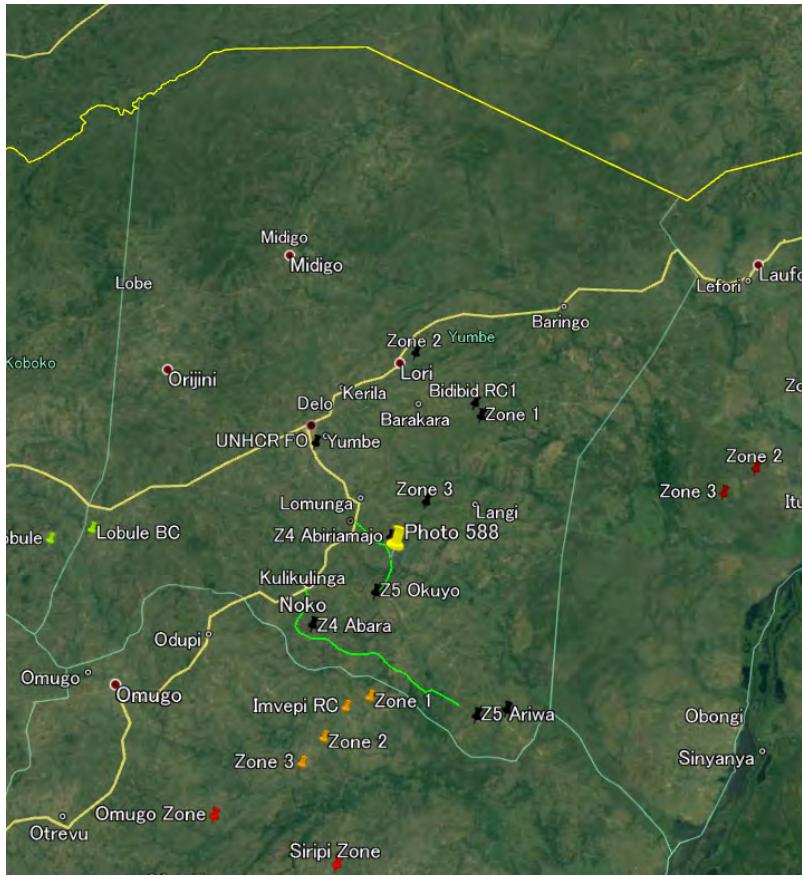


セクター：RB	案件番号：RB-5
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Yumbe 県内のコミュニティ道路改修計画
案件概要	Yumbe 県内の既存砂利道路（計 27km）の改修・嵩上げ、排水施設の改修・追加
実施背景	Yumbe 県には難民居住区（Z/S）が 5ヶ所ある。県の全 12 郡のうち 5 郡がホストコミュニティであり、県人口の 6 割弱に相当する難民を受け入れている（2017 年 8 月時点）。対象道路は、国道に接続するコミュニティ道路で、沿線に難民居住区とホストコミュニティが存在する。元来の維持管理の悪さに加え、難民居住区への大型重車両による物資輸送が急激に増加したことから、道路の損傷が急速に進んでいる。道路は路面の排水設備が不備であり、雨水により路面に深いわだち、ポットホールと水溜りができている。道路全体が冠水している区間もある。特に雨季には道路は泥沼状態になり道路の状態が一層、悪化する。そのため、難民居住区とホストコミュニティへの円滑な交通に支障をきたしており、早急な対応が求められている。なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない（2017 年 10 月末時点）。
対象地域	Yumbe 県 Odravu 郡と Ariwa 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：Odravu 郡と Ariwa 郡の道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：Odravu 郡と Ariwa 郡のコミュニティ道路の改修により物流が円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：Yumbe 県 Odravu 郡（49,100 人）、Ariwa 郡（27,900 人）の住民及び隣接難民居住区の住民（103,206 人）、合計 180,206 人 間接受益者：Yumbe 県の住民 381,616 人（上記 2 郡を除いた県民人口） （注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 県：Yumbe 県は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：該当無し
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定（理由：案件規模が小であるため） 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：Yumbe 県
事業費概算	基本コンポーネント費用：14.4 億円 事業費内訳：建設費 10.8 億円 設計費・調達代理機関費 3.6 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、交通量
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：2.0 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であるため、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台/日、台/24H）
平和構築の視点及び実施上の留意点	世界最大規模の Bidibidi Settlement は 5ヶ所ある Zone が Yumbe 県内に分散しているため、Zone 間の円滑な移動が求められている。しかし当案件の道路は雨期には冠水したり泥沼状態となるため、円滑な移動が阻害されている。これらの悪路を改修し円滑な移動ルートを確認することにより、難民とホストコミュニティの住民の双方に貢献できる。一方、当案件は南北で異なる別個の 2 本の道路から構成されているため、調達代理機関の施工監理は煩雑となる。また道路の完成後の県による維持管理費も割高となると想定される。 対象となる郡と Z/S 郡：Yumbe 県 Odravu 郡、Ariwa 郡 Z/S：Bidibidi Zone 4, Zone 5 Settlements

案件番号：RB-5 別添資料

1. プロジェクト位置図（緑で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真



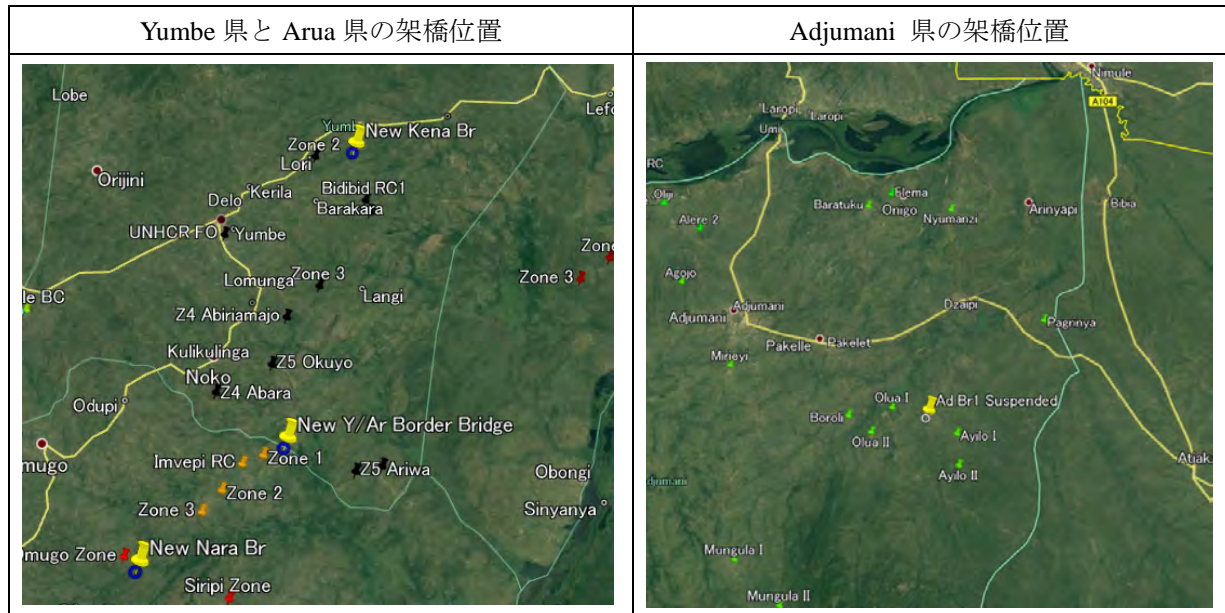
セクター：RB	案件番号：RB-6
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	西ナイル地域コミュニティ道路小規模橋梁新設計画
案件概要	西ナイル地域3県のコミュニティ道路に4本の小規模橋梁を新設する。
実施背景	<p>難民居住区（Z/S）及びホストコミュニティに接続するコミュニティ道路には橋梁が架かっていないものが多く、増水期には渡河が困難である。したがって難民居住区及びホストコミュニティへの移動は河川を渡河しない側からの一方向に限られており、両方向からの移動が確保されていない。</p> <p>この一方向からのみの通行できる道路が事故や災害等の原因で通行不能となる場合には、難民居住区とホストコミュニティへの交通、支援物資の輸送等に重大な支障をきたすことになる。このため UNHCR 等から早急な架橋が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Yumbe 県（Kochi 郡）Kena 橋（UNHCR からの要望）</li> <li>・ Yumbe 県（Ariwa 郡）- Arua 県（Odupi 郡）の県境の橋梁</li> <li>・ Arua 県（Uriama 郡）Nara 橋（UNHCR からの要望）</li> <li>・ Adjumani 県（Pakele 郡-Daipi 郡）Olua I – Ayilo I 間の橋梁（Adjumani 県からの要望、当該橋梁は施工途中で放棄状態）</li> </ul> <p>なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない（2017年10月末時点）。</p>
対象地域	Yumbe 県 Kochi 郡、Ariwa 郡、Arua 県 Odupi 県、Uriama 郡、Adjumani 県 Pakele 郡、Dzaipi 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	<p>事業目的：難民居住区とホストコミュニティの道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。</p> <p>事業成果：難民居住区とホストコミュニティに接続する道路に架橋することにより物流が円滑化する。物流を円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。</p>
受益者	<p>直接受益者：Yumbe 県 Kochi 郡（48,000 人）と Ariwa 郡（27,900 人）、Arua 県 Odupi 郡（41,600 人）と Uriama 郡（25,100 人）、Adjumani 県 Pakele 郡（50,400 人）と Dzaipi 郡（43,700 人）の住民、及び隣接難民居住区の住民（428,409 人）、合計 665,109 人</p> <p>間接受益者：Yumbe 県、Arua 県及び Adjumani 県の住民 11,255,450 人（上記 6 郡を除いた 3 県の県民人口）</p> <p>（注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。</p>
関係機関と役割	<p>中 央：URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出</p> <p>県：Yumbe 県、Arua 県及び Adjumani 県は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。</p> <p>国連機関：UNHCR</p>
事業実施体制	<p>調達代理機関活用無償を想定（理由：案件規模が小であるため）</p> <p>準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注</p> <p>詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注</p> <p>施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注</p> <p>施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用</p> <p>モニタリング：Yumbe 県、Arua 県、Adjumani 県</p>
事業費概算	<p>基本コンポーネント費用：12.8 億円</p> <p>事業費内訳：建設費 9.6 億円</p> <p>設計費・施工監理費 3.2 億円</p> <p>留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、河川条件</p>
工期・施工計画概略	<p>2 国間協議・EN/GA：0.5 年</p> <p>詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年</p> <p>建設工期：2.0 年</p> <p>施工計画：現地建設会社による機械化施工</p>
サイト状況	既存道路の河川横断部に架橋する計画であり、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台/日、台/24H）
平和構築の視点及び実施上の	当案件には UNHCR からの要望された Kena 橋と Nara 橋の 2 橋、及び Imvepi と Bidibidi の 2 つの難民居住区を繋ぐ Yumbe-Arua の県境に架かる橋も含まれている。したがって多数の難民居住区とホストコミュニティが関連しており、当案件を採択することにより

項目	内容
留意点	<p>住民と難民に裨益するだけではなく、UNHCR への貢献度も高い。</p> <p>また当案件では Adjumani 県が強く要望している施工途中で放棄された橋の再開も含んでいるため、Adjumani 県への貢献度も高い。特に当橋梁と近接する別案件 RB-1 も同時に採択された場合には、両案件の相乗効果により Adjumani 県へ貢献度は更に高まる。</p> <p>当案件の留意点としては建設する橋梁が 3 県に分散しているため、カウンターパートが 3 県となることである。建設地点が 4 箇所分散していることによる施工監理の煩雑さ、及び完成後に維持管理を担当する 3 県との個別の協議が必要となる。また県境に架かる橋梁の場合には維持管理を実施するカウンターパートを 1 県に限定するか否かの協議も必要となる。</p> <p>対象となる郡と Z/S</p> <p>郡：Yumbe 県 Kochi 郡、Ariwa 郡                      Arua 県 Odupi 郡、Uriama 郡                      Adjumani 県 Pakele 郡、Dzaipi 郡</p> <p>Z/S：Bidibidi Settlement：Zone 2 Zone 5                      Imvepi Settlement：Zone 1, Zone 2                      Rhino Camp Settlement: Zone6-Ofua, Zone7-Extension</p>

案件番号：RB-6 別添資料

1. プロジェクト位置図（黄色のピンが架橋位置を示す）



2. 橋梁架設地点の河川状況写真



セクター：RB	案件番号：RB-7
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Yumbe 県内の国道小規模橋梁建設計画
案件概要	Yumbe 県内に位置する既存国道に 2 本の小規模橋梁を新設する。
実施背景	<p>Yumbe 県には難民居住区 (Z/S) が 5 ヶ所ある。県の全 12 郡のうち 5 郡がホストコミュニティであり、県人口の 6 割弱に相当する難民を受け入れている (2017 年 8 月時点)。</p> <p>この Yumbe 県の国道沿いには難民居住区及びホストコミュニティがあるが、その国道上に橋梁が架かっておらず、増水期には渡河が困難である。したがって難民居住区及びホストコミュニティへの通行は河川を渡河しない側からの一方向に限られており、両方向から通行が確保されていない。</p> <p>この一方向からのみの通行できる箇所が事故や自然災害等の原因で通行不能となった場合には、難民居住区とホストコミュニティへの交通に支障をきたすことになる。このため UNHCR 等から早急な架橋が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ C 級国道 Lomunga-Baraka の Koro 橋 (Yumbe 県 Kululu 郡、UNHCR の要望)</li> <li>・ C 級国道 Baringo-Barakara の Baringo 橋 (仮称) (Yumbe 県 Romogi 郡)</li> </ul> <p>なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない (2017 年 10 月末時点)。</p>
対象地域	Yumbe 県 Kululu 郡と Romogi 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	<p>事業目的：難民居住区とホストコミュニティの道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。</p> <p>事業成果：難民居住区とホストコミュニティに接続する道路に架橋することにより物流が円滑化する。物流を円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。</p>
受益者	<p>直接受益者：Yumbe 県 Kululu 郡 (42,900 人) と Romogi 郡 (53,000 人) の住民及び隣接難民居住区の住民 (121,000 人)、合計 216,900 人</p> <p>間接受益者：Yumbe 県の住民 263,822 人 (上記 2 郡を除いた県民人口)</p> <p>(注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。</p>
関係機関と役割	<p>中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出</p> <p>URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出</p> <p>UNRA は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。</p> <p>国連機関：UNHCR</p>
事業実施体制	<p>調達代理機関活用無償を想定 (理由：案件規模が小であるため)</p> <p>準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注</p> <p>詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注</p> <p>施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注</p> <p>施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用</p> <p>モニタリング：UNRA</p>
事業費概算	<p>基本コンポーネント費用： 6.8 億円</p> <p>事業費内訳：建設費 5.1 億円</p> <p>設計費・調達代理機関費 1.7 億円</p> <p>留意事項 (事業費に影響する要素)：土質条件、河川条件</p>
工期・施工計画概略	<p>準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年</p> <p>詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年</p> <p>建設工期：2.0 年</p> <p>施工計画：現地建設会社による機械化施工</p>
サイト状況	既存道路の河川横断部に架橋する計画であり、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量 (台/日、台/24H)
平和構築の視点及び実施上の留意点	<p>当案件は国道上の橋梁建設であるため、近隣のホストコミュニティ住民と難民に裨益するのみならず、ウガンダ国に対しても貢献できる。また Koro 橋は UNHCR が橋梁建設を強く要望しており、当案件の実施は UNHCR の活動を支援に繋がる。</p> <p>対象となる郡と Z/S</p> <p>郡：Yumbe 県 Kululu 郡、Romogi 郡</p> <p>Z/S：Bidibidi Settlement: Zone 1, Zone 3</p>

案件番号：RB-7 別添資料

1. プロジェクト位置図（黄色のピンが架橋位置を示す）



2. 橋梁架設地点の河川状況写真

Koro 橋 (国道 Lomunga-Baraka 間)	Baringo 橋 (仮称) (国道 Baringo-Barakara 間)

セクター：RB	案件番号：RB-8
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Moyo 県内の国道改修計画
案件概要	Moyo 県内に位置する国道 Moyo-Obongi 道路のうち計 9km を改修する。
実施背景	Moyo 県には難民居住区 (Z/S) が 4ヶ所ある。県の全 8 郡のうち 1 郡 (Itula 郡) がホストコミュニティであり、県人口の 13 割弱に相当する難民を受け入れている (2017 年 8 月時点)。Itula 郡には Palorinya 難民居住区が郡全体に分散しており、この難民居住区及びホストコミュニティへの物資の供給はその大半が Moyo と Obongi (フェリー発着地) 間を結ぶ国道 Moyo-Obongi 道路に依存している。 この難民居住区及びホストコミュニティに接続する Moyo-Obongi 道路の当該区間は排水設備が不備であることに加え、この区間一帯が低地であるため、雨季には長期にわたり冠水し、交通止めとなっている。 この冠水による道路交通の遮断により難民居住区及びホストコミュニティへの円滑な物流が支障をきたしているため、冠水区間の道路面嵩上げ及び排水施設の改善が急務となっている。 ・C 級国道 Moyo-Obongi 道路のうち Itura 区間の計 9km (Moyo 県 Itula 郡) なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない (2017 年 10 月末時点)。
対象地域	Moyo 県 Itula 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：難民居住区とホストコミュニティの道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：難民居住区とホストコミュニティに接続する国道を嵩上げすることにより物流が円滑化する。物流を円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：Moyo 県 Itula 郡の住民 (13,262 人)、及び隣接難民居住区の住民 (92,364 人)、合計 105,626 人 間接受益者：Moyo 県の住民 125,012 人 (上記 Itula 郡を除いた県民人口) (注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 UNRA は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：なし
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定 (理由：案件規模が小であるため) 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：UNRA
事業費概算	基本コンポーネント費用： 7.2 億円 事業費内訳：建設費 5.4 億円 設計費・調達代理機関費 1.8 億円 留意事項 (事業費に影響する要素)：土質条件、水理条件
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：1.5 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であり、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量 (台/日、台/24H)
平和構築の視点及び実施上の留意点	Moyo 県は県民の 1.3 倍の難民を抱えており、かつ全ての難民が Itula 郡に集中しているため、Moyo 県と Itula 郡の疲労の度合は高い。また当案件の国道は雨期には水没して長期にわたり交通止めとなり Obongi フェリーへの物流道路が遮断されている。この道路閉鎖により Moyo 県と Itula 郡の経済発展が大きく阻害されている。したがって当案件を採択することにより Itula 郡の住民と難民が裨益するのみならず、Moyo 県全体の経済発展が促進することが期待できる。かつ難民居住区への物流も円滑化されるため、UNHCR



項目	内容
	への貢献も期待できる。 当案件に近接する別案件の RB-4 が同時に採択されるならば、両案件の相乗効果により Itula 郡の住民と難民への裨益効果が更に高まる。 対象となる郡と Z/S 郡：Moyo 県 Itula 郡 Z/S：Palorinya Settlement 内

案件番号：RB-8 別添資料

1. プロジェクト位置図（赤で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真

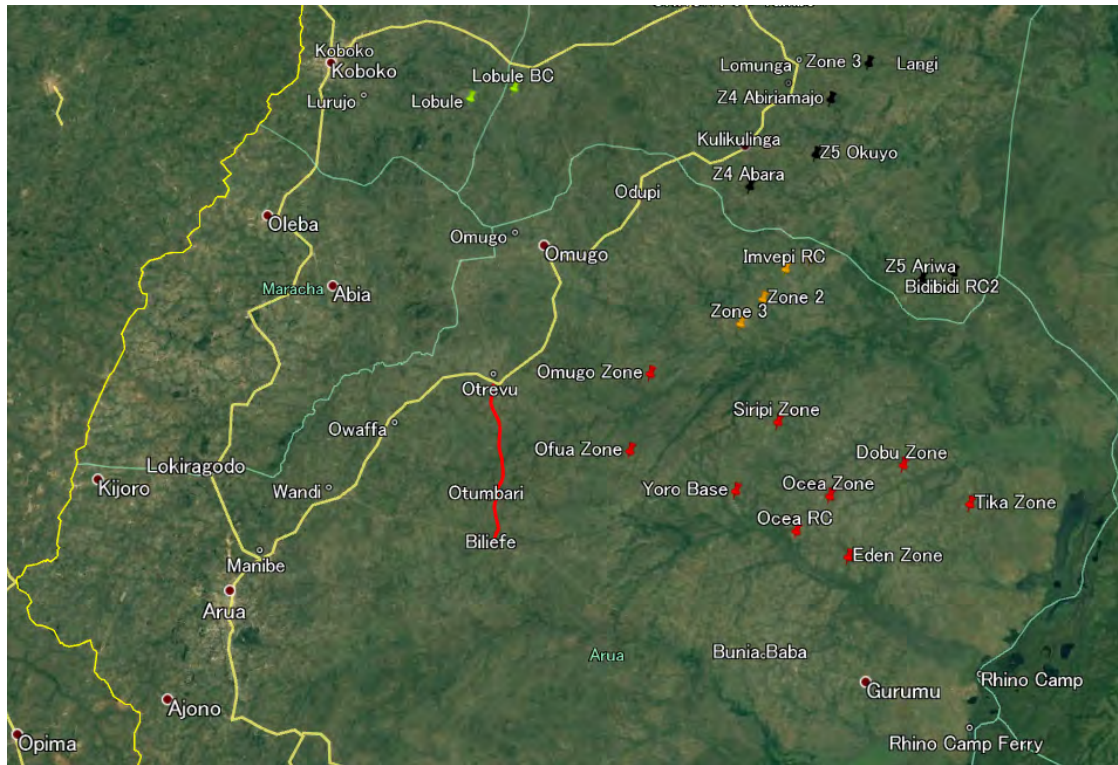


セクター：RB	案件番号：RB-9
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	Arua 県内の国道改修計画
案件概要	Arua 県内に位置する国道 Biliafe-Otrevu 道路 (計 13km) を改修する。
実施背景	Arua 県には難民居住区 (Z/S) が 13ヶ所ある。県の全 26 郡のうち 4 郡がホストコミュニティであり、県人口の 3 割に相当する難民を受け入れている (2017 年 8 月時点)。難民居住区及びホストコミュニティに接続する当該道路は Rhino Camp 難民居住区へのアクセス道路であるが、元来の維持管理の悪さに加え、難民居住区への大型・重量のある物資輸送車両の往来が急激に増加したことから、難民居住区とホストコミュニティへのアクセス路である当該道路の損傷が増加している。道路は路面の排水設備が不備であり、雨水により路面に深いわだちができています。特に雨季には道路は泥沼状態となり一層、路面状態が悪化している。そのため、難民居住区とホストコミュニティへの円滑な交通に支障をきたしており、早急な対応が求められている。なお本案件は、国・県の開発計画は予定されておらず、支援の重複はない (2017 年 10 月末時点)。
対象地域	Arua 県 Uriama 郡、及び隣接する難民居住区
事業目的	事業目的：難民居住区とホストコミュニティの道路輸送能力が強化されることにより難民居住区とホストコミュニティの社会経済の活性化に寄与する。 事業成果：難民居住区とホストコミュニティに接続する国道を改修することにより物流が円滑化する。物流を円滑化することにより、難民居住区を抱えるホストコミュニティへの支援を図る。
受益者	直接受益者：Arua 県 Uriama 郡の住民 (25,100 人)、及び隣接難民居住区の住民 (69,882 人)、合計 94,982 人 間接受益者：Arua 県の住民 756,977 人 (Uriama 郡を除いた Arua 県の県民人口) (注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：MoWT が無償資金協力の要請書を提出 URF は当該施設の引渡し後、維持管理費を拠出 UNRA は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。 国連機関：なし
事業実施体制	調達代理機関活用無償を想定 (理由：案件規模が小であるため) 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が本邦コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：UNRA
事業費概算	基本コンポーネント費用： 7.9 億円 事業費内訳：建設費 5.9 億円 設計費・調達代理機関費 2.0 億円 留意事項 (事業費に影響する要素)：土質条件、交通量
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：1.0 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0 年 建設工期：1.5 年 施工計画：現地建設会社による機械化施工
サイト状況	既存道路の改修であり、本事業による新たな用地取得の見込みはない。現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量 (台/日、台/24H)
平和構築の視点及び実施上の留意点	当案件は Arua 県に位置する難民居住区へのアクセス道路であるが、雨期には道路が泥沼状態となっている。現在、Rhino Camp 難民居住区の Yoro Base から当案件道路までの区間の道路は UNHCR により整備されているが、当該道路が悪路であるために難民居住区への物流が大きく阻害されている。したがって当案件道路を改修することによりホストコミュニティ住民と難民に裨益すると共に、UNHCR への貢献度も高い。 対象となる郡と Z/S 郡：Arua 県 Uriama 郡 Z/S：Rhino Camp Settlement : Zone 1, Zone 2, Zone 3, Zone 6

案件番号：RB-9 別添資料

1. プロジェクト位置図（赤で示した線が対象道路）



2. 道路現況写真



セクター：RB	案件番号：RB-10
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	西ナイル西部 B 級国道アップグレード計画 (Yumbe - Manibe 道路)
案件概要	Yumbe 県と Arua 県に位置する B 級国道 Yumbe - Manibe 道路 (計 77km) を砂利道路からアスファルト舗装道路 (舗装幅 9.5m、AS 舗装厚 5cm) にアップグレードするとともに、道路を嵩上げし、かつ排水施設を改善する。
実施背景	<p>西ナイル地域の物流幹線 はナイル河畔の Pakwath から Arua を通過し、西ナイル地域の南東から南西を走る A 級国道 Vurra - Arua - Koboko - Oraba 道路とアチョリ地域の Atiak から始まり、西ナイル地域の北東から北西にある Atiak - Adjumani - Moyo - Yumbe - Manibe を通過する B 級国道とである。当該 Yumbe - Manibe 道路はこの北回りの物流幹線の一部を構成している。Manibe から先の Arua までは A 級国道 (DBST 舗装) Vura - Arua - Koboko - Oraba 道路であり、区間距離は 5km 強である。</p> <p>当道路の沿線には Bidibidi、Imvepi 及び Rhino Camp Extension 等のウガンダ国内の主要な難民居住区が位置しており、UNHCR の資機材の主要運搬路でもある。しかし既存の道路は砂利道路であり、かつ道路排水施設も不備である。そのため雨季 (8 月～10 月) には、路面の冠水や泥沼化が発生したり、地表水が路面を抉りポットホールが深くなる。これに伴い速度を低下させたり迂回せざるを得ないため、雨季には輸送・移動に関するコストが一層、増大している。乾季に入っても、雨季に発生した路面損傷が修復されることは少なく、路面状況の劣悪さにより、物流道路としての機能を十分に発揮するにいたっていない。したがって当道路をアスファルト舗装道路にアップグレードするとともに、道路路面を嵩上げし、排水施設を完備することにより、雨水の影響を受けない物流道路としての機能を充実させる。特に Yumbe 県内 (Yumbe town からアルア県との県境まで) の路面状況が劣悪であるため、RB-10 の中でも Yumbe 県内道路の舗装化の優先度が高い。</p> <p>現状、当該 Yumbe-Manibe 道路 (77km) の走行時間は 105～115 分、一方、Yumbe - Koboko - Manibe 間 (86km) は 75～90 分程度である。運転手や天候、さらに混雑度により異なるものの Yumbe-Manibe 道路のほうが走行時間が長く、かつ全線が砂利道路のため車両が摩耗する度合いも高い。</p> <p>当該道路をアスファルト道路へアップグレードすることにより、Yumbe 又は Arua からの輸送時間が短縮され、地域の物流が促進される。</p> <p>西ナイルの人口の大半が農業に従事している。例えば Yumbe 県では人口の 72%が、Arua 県でも人口の 81%が、農業に従事している。主要な換金作物としてタバコや綿花、養蜂等が挙げられ、特に当該 Yumbe-Manibe 道路の沿線はタバコの産地として知られている。当該道路が完成すると農民が農産物を容易に市場で販売したり、また仲買人の集荷コストの低減が可能となり、農業従事者が今以上の現金収入を得る可能性が高まる。この物流の促進により難民を抱えるホストコミュニティの住民を含めた Yumbe 県及び Arua 県全域の住民の経済発展に貢献できる。</p> <p>なお本案件は、MoWT の Strategic Implementation Plan (SIP) の Matching Project としてウガンダ国によりアスファルト系舗装道路へのアップグレードは認知されているが、現時点では国の具体的開発計画は決まっておらず、また国際ドナー等の支援の重複もない (2017 年 10 月末時点)。</p>
対象地域	Yumbe 県 Apo 郡、Kululu 郡、Odravu 郡、 Arua 県 Odupi 郡、Omugo 郡、Aii-Vu 郡、Katrini 郡、Manibe 郡
事業目的	<p>事業目的：多数の難民を抱える Yumbe 県と Arua 県を結ぶ Yumbe - Manibe 道路の輸送能力が強化されることにより両県及び西ナイル地域全体の社会経済の活性化に寄与する。</p> <p>事業成果：Yumbe 県内及び Arua 県内の物流道路を砂利道路からアスファルト舗装道路にアップグレードすることにより物流が円滑化する。物流が円滑化することにより、難民居住区を抱える両県全域と県内のホストコミュニティへの支援を図る。</p>
受益者	<p>直接受益者：Yumbe 県と Arua 県の住民 (484,822+782,077=1,266,899 人)、Yumbe 県と Arua 県の難民居住区の住民 (283,347+227,204=510,551 人)、合計 1,777,450 人</p> <p>間接受益者：Moyo 県の住民 139,012 人、Koboko 県の住民 206,495 人</p> <p>(注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。</p>
関係機関と役割	<p>中央省庁：MoWT が無償資金協力の要請書を提出</p> <p>URF は当該施設の完成後、施設の維持管理費を拠出</p> <p>UNRA は工事完了後、当該施設の引渡しを受けて維持管理を行う。</p> <p>国連機関：なし</p>

項目	内容								
事業実施体制	一般無償を想定（理由：事業規模が大である。かつ一本の道路であるので、施工箇所を集約させることができ、これに伴い邦人が滞在する場所も一定範囲内に収まることから邦人の安全確保が容易。） 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：UNRA が本邦コンサルタントに発注 施 工：UNRA が本邦建設会社に発注 施工監理：UNRA が本邦コンサルタントに発注 モニタリング：UNRA								
事業費概算	2 工区案の基本コンポーネント費用								
	工区	始点	終点	延長 (km)	事業費（億円）			工期 (年)	既存 橋梁数
					建設費	設監費	合計		
	1	Yumbe	Omugo	38.4	36.4	4.4	40.8	2.5	6
	2	Omugo	Manibe	38.6	34.1	4.1	38.2	2.5	1
	合 計			77.0	70.5	8.5	79.0	5.0	7
	3 工区案の基本コンポーネント費用								
	工区	始点	終点	延長 (km)	事業費（億円）			工期 (年)	既存 橋梁数
					建設費	設監費	合計		
	1	Yumbe	Y/A 県境	23.6	22.3	2.7	25.0	2.5	3
	2	Y/A 県境	Otrevu	28.5	27.2	3.3	30.5	2.5	4
	3	Otrevu	Manibe	24.9	21.8	2.6	24.4	2.0	-
	合 計			77.0	71.3	8.6	79.9	7.0	7
	留意事項（事業費に影響する要素）：								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土質条件、交通量により道路構造を確定する。</li> <li>・既存橋梁の設計条件、耐力、架替え計画の有無を確認し、案件範囲に含める橋梁を確定する。</li> </ul>									
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・コンサルタント契約： 1.2 年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注： 1.0 年 建設工期： 2 工区案 5.0 年（各工区を順に施工） 3 工区案 7.0 年（ 同 上 ） 施工計画： 本邦建設会社による機械化施工								
サイト状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改修のための土地収用の必要性については、次の調査段階で検討する。</li> <li>・現行 ROW 内に居住者はいないため、住民移転は想定されない。</li> </ul>								
評価基準案	運用・効果指標：年平均日交通量（台／日、台／24H）								
平和構築の視点及び実施上の留意点	当案件道路は Yumbe と Arua を結ぶ地域物流幹線道路である。また当該道路の沿線には以下に列記した西ナイル地域の主要な難民居住区が連続しているため UNHCR にとっても資機材の運搬路として重要な道路である。したがって当案件道路をアスファルト舗装道路にアップグレードすることにより、難民、ホストコミュニティ住民、Yumbe 県民、Arua 県民、UNHCR、及びウガンダ国の全てに対して大きく貢献できる。 対象となる郡と Z/S 郡：Yumbe 県と Arua 県の全域 Z/S：Bidibidi Settlement、Imvepi Settlement、Rhino Camp Settlement（Rhino Camp Extension を含む）								

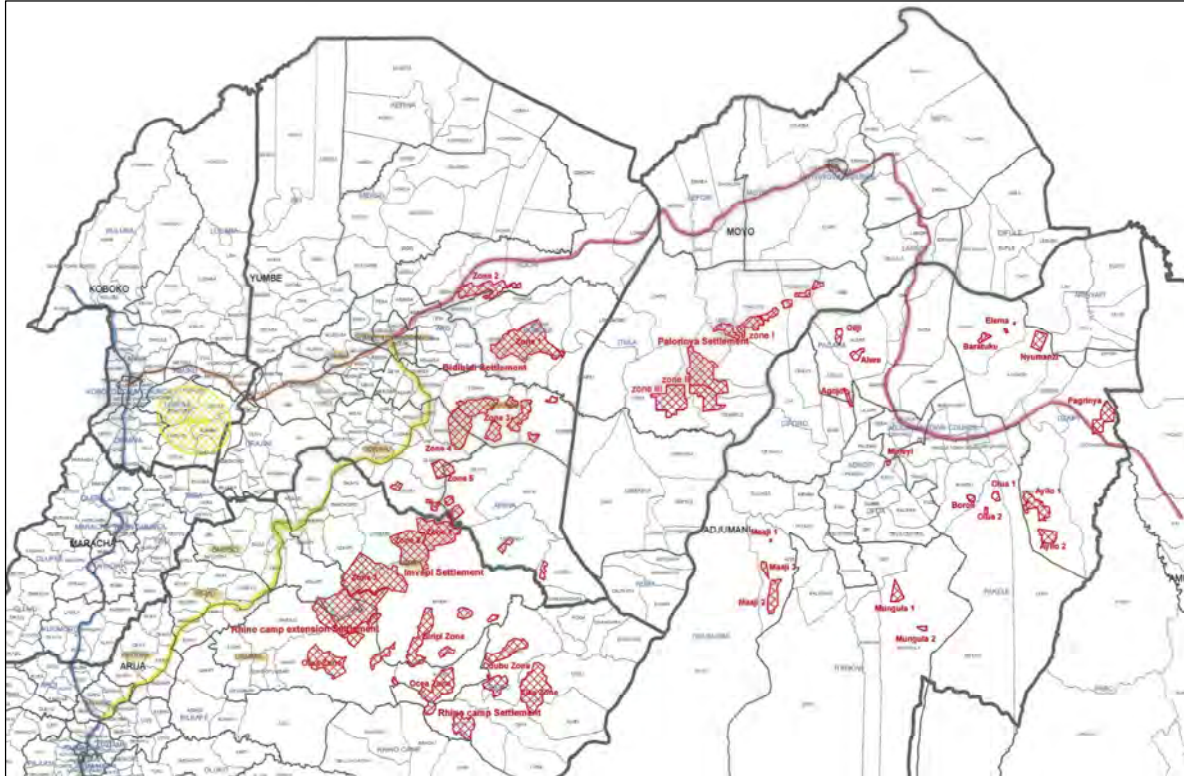
案件番号：RB-10 別添資料

1. プロジェクト位置図（黄色で示した線が対象道路、赤色ピンは既存橋梁位置を示す。）











2. プロジェクト道路と難民居住区

黄色で示した線が対象道路、赤色及び黄色線が西ナイル地域の B 級国道で域内物流幹線を示す。橙色は C 級国道 Koboko - Yumbe 道路、青色は A 級国道 Vura - Arua - Koboko - Oraba 道路を示す。



3. 道路現況写真

Yumbe – Lomunga 間 (Yumbe 県)	Lomunga – Kulikulinga 間 (Yumbe 県)
	
Kulikulinga – Y/A 県境間 (Yumbe 県)	Y/A 県境 – Omugo 間 (Arua 県)
	

Omugo – Otrevu 間 (Arua 県)	Otrevu – Wandu 間 (Arua 県)
	
Wandu – Manibe 間 (Arua 県)	Manibe ラウンドアバウト接続部 (Arua 県)
	

#### 4. 橋梁現況写真

Jure 橋 (Lomunga – Kulikulinga 間、Yumbe 県)	
	 <p>木製床版 1 径間 I 形鋼桁 橋長：約 8m 架替えが必要。 座標 X: 31°16'39.97"E Y: 3°22'54.23"N</p>
Dacha 橋 (Lomunga – Kulikulinga 間、Yumbe 県)	
	 <p>RC 床版 1 径間 架替え済み。 橋梁幅員が確保されているか否かの確認が必要。 座標 X: 31°15'44.03"E Y: 3°21'44.68"N</p>
Ure 橋 (Yumbe/Arua 県境)	
	 <p>RC 床版 全幅員：8.6m (6.0+2*1.3) 1 径間 RC 桁 5 主桁 橋長：10.5m 架替え済み。 橋梁幅員が確保されているか否かの確認が必要。 座標 X: 31°12'13.64"E Y: 3°20'13.34"N</p>



<b>Ozuro 橋 (Yumbe/Arua 県境 - Omugo 間、Arua 県)</b>	
	<p><b>RC2 連 BC</b>                  架替え済み。                  道路幅員が確保されているか否かの確認が必要。                  座標 X: 31° 9'49.68"E                  Y: 3° 17'16.58"N</p>
<b>Nyetre 橋 (Yumbe/Arua 県境 - Omugo 間、Arua 県)</b>	
	<p><b>RC2 連 BC</b>                  架替え済み。                  道路幅員が確保されているか否かの確認が必要。                  座標 X: 31° 9'1.66"E                  Y: 3° 16'41.81"N</p>
<b>Oru 橋 (Yumbe/Arua 県境 - Omugo 間、Arua 県)</b>	
	<p><b>RC 床版</b>                  5 径間 I 形鋼桁 (3 主桁)                  全幅員 : 3.2m                  橋長 : 約 35m                  橋梁幅員が不足のため、架替えが必要                  座標 X: 31° 8'6.61"E                  Y: 3° 15'56.59"N</p>
<b>Enyau 橋 (Omugo - Otrevu 間、Arua 県)</b>	
	<p><b>RC 床版</b>                  4 径間 I 形鋼桁 (4 主桁)                  全幅員 : 3.2m                  橋長 : 約 35m                  橋梁幅員が不足のため、架替えが必要                  座標 X: 31° 7'26.98"E                  Y: 3° 15'7.67"N</p>

13.2 保健

セクター：保健 案件番号：H-1
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB

項目	内容
案件名	西ナイル西部地域（Arua 県・Koboko 県・Yumbe 県）地方医療施設拡充計画（9 サイト）
案件概要	Arua 県・Koboko 県・Yumbe 県の中で、難民流入の影響を大きく受けている難民居住区を抱えるサブカウンティ（以下、「郡」）、及び保健センターの受け入れキャパシティが小さい Koboko 県において、保健センターの機能を拡充するために母子保健棟・職員住居・トイレの増築。
実施背景	<p>西ナイル地域では、2016 年の 6 月以降、南スーダンから難民の流入が続いており、Arua 県内の医療施設では、2017 年 7 月の外来患者数が 2016 年 6 月と比較して平均で 2 割以上上昇し、Yumbe 県に至っては 3.5 倍以上上昇している。このため住民にとって一番身近な医療機関である保健センター（HC II-HC IV）では、少ない医療従事者で増加した患者への対応に追われている。Koboko 県では、難民流入の影響は小さいが人口が保健センターの受入れキャパシティを 60%も超過しており、保健センターでは他 2 県と同様の状況にある。</p> <p>また元来、既存医療施設の半数以上が老朽化しており、人手不足と相まって質の高い医療サービスを提供することが困難な状況にある。</p> <p>そのため難民居住区内（Z/S）と周辺にある UNHCR の支援を受け開設された医療施設には、難民に加えて遠方からウガンダ住民もやってきて、患者数が大きく増えたことで、十分な診察時間を確保することが困難状況にあり医療サービスの質の低下が懸念されている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、ホストコミュニティではより身近な医療施設で良質な医療サービスを提供するとともに、郡内の各医療施設に係る負担を平準化することが急務となっている。</p> <p>保健省の政策としても、初期診断や予防措置を目的とした HC II を、分娩や入院治療に係る医療サービスを提供可能な HC III へと格上げすることを目標に掲げている。</p> <p>なお HC II の多くが交通事情の悪い地方部に存在することから、HC II を HC III に昇格させ安定した医療サービスを提供するに当たっては、医療施設の拡充とともに職員住居の整備が不可欠である。このため県の開発計画においても職員住居の整備は重要な事項として捉えられている。</p>
対象地域	Arua 県 Rigbo・Uriama 郡、Koboko 県 Lobule 郡、及び Yumbe 県 Ariwa・Kochi・Odravu 郡
事業目的	<p>プロジェクト目標：難民流入により医療サービスの提供に大きな影響を受けている難民居住地を抱える郡において、対象の HC II で施設・機材が整備され、より身近で良質な分娩や入院治療に係る医療サービスが提供される。</p> <p>成果：対象地域において対象 HC II の施設・機材が整備され HC III に格上げされる。</p>
受益者	<p>直接受益者：Arua 県 Rigbo・Uriama 郡と隣接難民居住地の住民 134,908 人、Koboko 県 Lobule 郡と隣接難民居住地の住民 41,796 人、Yumbe 県 Ariwa・Kochi・Odravu 郡と隣接難民居住地の住民 273,806 人、計 450,510 人</p> <p>間接受益者：Arua 県 Rigbo・Uriama 郡、Koboko 県 Lobule 郡、及び Yumbe 県 Itula 郡及び同郡隣接難民居住地の住民及び患者の照会数の減少が見込まれるレファレル上位の病院が存在する Arua M/C、Koboko T/C 及び Yumbe T/C の住民計 614,710 人</p> <p>（注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。</p>
関係機関と役割	<p>中 央：保健省 計画局 施設計画内容の承認</p> <p>県：Ajumani 県、Koboko 県及び Yumbe 県保健局：施設計画内容の審査・建設中の進捗管理・建設後の維持管理・必要な職員の配置計画と予算充当を行う。</p> <p>国際機関：県との協議により、一部職員配置に係る予算充当</p>
事業実施体制	<p>無償現地企業活用型</p> <p>準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注</p> <p>詳細設計：先方政府が本邦コンサルタントに発注</p> <p>施 工：先方政府が現地建設会社に発注</p> <p>施工監理：先方政府との契約により本邦コンサルタントが実施</p> <p>モニタリング：Arua 県、Koboko 県及び Yumbe 県保健局</p>
事業費概算	<p>基本コンポーネント費用：15.4 億円</p> <p>各 HC では、以下の施設コンポーネントで構成する。</p> <p>・母子病棟 x1 棟</p>

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来トイレ棟 (8 便房/棟) x2 棟 (男女別)</li> <li>・ 母子病棟用トイレ・シャワー棟 (8 便房・シャワー/棟) x1 棟</li> <li>・ 職員住居用トイレ棟 (2 便房、2 シャワー室/棟) x2 棟</li> <li>・ 職員住居 (2 住戸/棟) x2 棟</li> <li>・ 介護者用厨房 x1 棟</li> <li>・ 自家発電機室 x1 棟</li> <li>・ 介護者用洗濯場 x1 所</li> <li>・ 胎盤ピット x1 所</li> <li>・ 医療廃棄物用ピット x1 所</li> <li>・ 警備詰所 x1 棟</li> </ul> <p>計画面積：8,697.33m<sup>2</sup>：966.37m<sup>2</sup>／既存 HC サイト x9            事業費内訳：            建設費：12.9 億円            機材費：0.7 億円            設計・入札監理・施工監理費：1.8 億円            留意事項 (事業費に影響する要素)：土質条件、天候や治安等の不可抗力による工事遅延による間接経費の増加</p>
工期・施工計画概略	<p>準備調査・EN/GA・コンサルタント契約：12ヶ月            詳細設計・入札図書作成・入札・発注：10ヶ月            建設工期：15ヶ月            施工計画：2.3 ロットに分けて現地建設会社により施工</p>
サイト状況	<p>既存 HC であり、現地でのヒアリングにより自然災害履歴のないことを確認している。</p>
評価基準案	<p>妥当性</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロジェクトの裨益対象 ウガンダ国の包括的な難民支援方針 (Settlement Transformative Agenda: STA) に則し、難民居住区の住民及び難民の流入の影響を強く受ける難民居住区を抱える郡の住民を対象とする。</li> <li>2. プロジェクト目標と緊急性 難民の流入により増加した患者への良質な医療サービスの提供：より地域住民がアクセスしやすい医療施設として、増加した外来患者と、入院患者及び通常分娩の為の母子の受け入れが可能となる施設機能の拡充が求められる。</li> <li>3. 中・長期的開発計画の目標達成への貢献 国家開発計画 (NDP2015/16-2019/20) の中で、保健セクターの開発は、教育や水衛生等のセクターと共に「人的資本の開発の強化」(Enhancing human capital development) という目標の下に位置付けている。</li> <li>4. 我が国の援助政策・方針との整合性 現在、我が国は基礎生活分野の改善のため、地方の中核医療施設・機材の改善・拡充と機材の維持管理技術向上、病院運営及びサービスの改善を支援している。レファレル体制を構築しているウガンダ国においては、地方中核病院でより質の高い医療サービスを提供するためには、その下位の医療施設が十分に機能することが不可欠で、本案件は下位の医療施設での医療サービスの提供の質を向上に資すると判断される。</li> </ol> <p>有効性            [定量的効果]            ・ 事業実施 3 年後における外来患者数            ・ 事業実施 3 年後における入院患者数            ・ 事業実施 3 年後における出産件数            [定性的効果]            ・ 母子病棟の整備に伴い、ヘルスセンターがレベル II から III に格上げされることにより、地域住民に提供可能な医療サービスが拡充される。            ・ 母子病棟の整備に伴い、ヘルスセンターがレベル II から III に格上げされることにより出産や入院治療を伴う医療サービスにアクセスする時間が減少する。</p>
平和構築の視点及び実施上の留意点	<p>言語の壁がないように必要に応じて通訳の配置や、順番待ちでの平等な扱いなどが、難民受け入れにおいて必要である。            また、特に栄養状況によっても健康状態が大きく左右されるため、自立以前の難民に対しては、食糧配給が安定していることが重要となる。HC では CHEW を核にしたコミュニティでの栄養管理とともに、自ら作物を確保する手段 (農耕・養鶏など)、また自ら購入できるよう手に職をつける職業訓練の機会を得るための職業訓練プログラムとの</p>

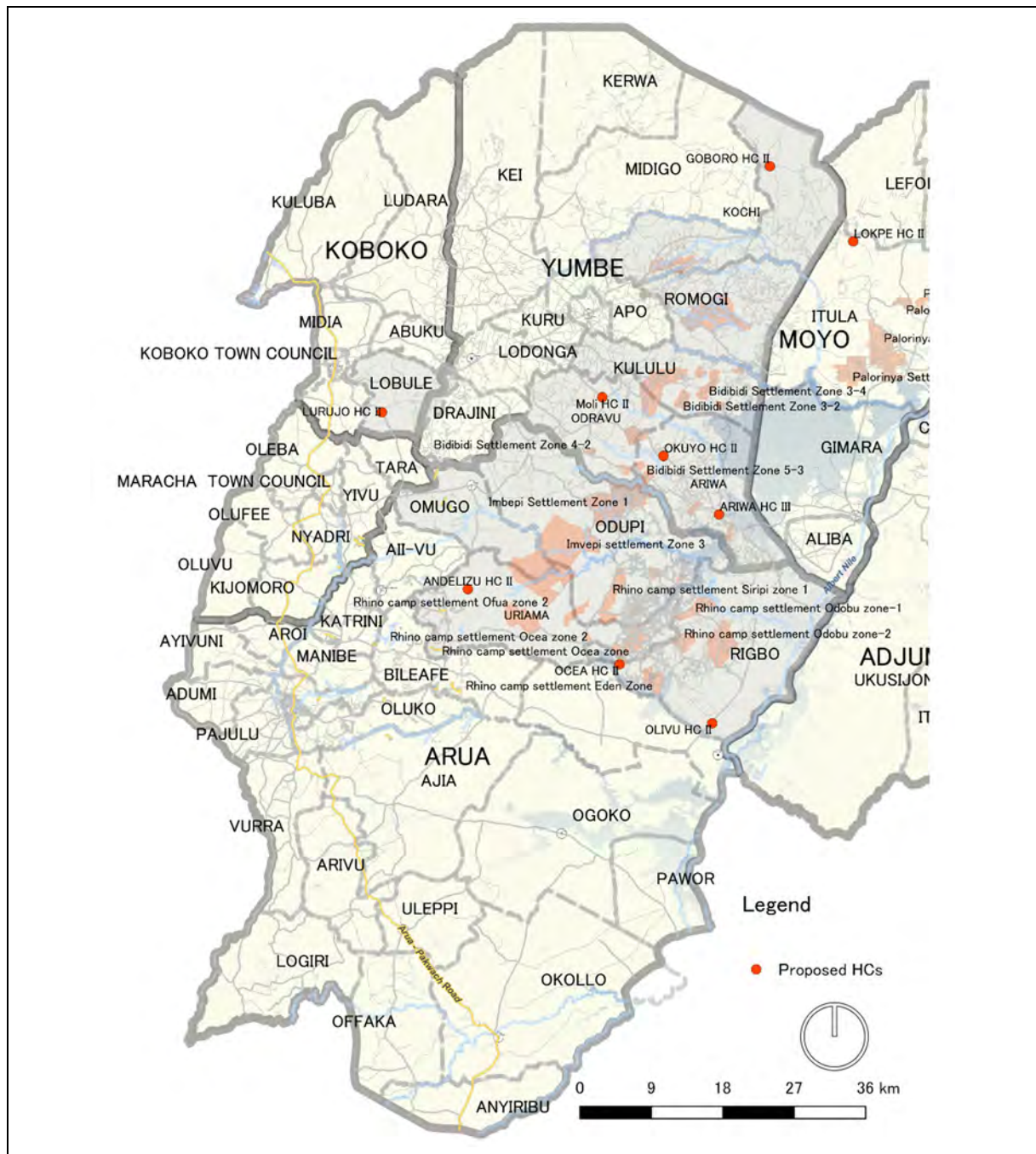
項目	内容
	<p>連携が望まれる。 対象となる郡及び Z/S</p> <p>Arua 県 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Rigbo 郡及び Zone 1: Ocea, Zone 3: Eden, Zone 4: Tika and Zone 5: Odubu in Rhino Camp Settlement</li><li>• Uriama 郡及び Zone 2: Siripi, and Zone 6: Ofua in Rhino Camp Settlement</li></ul> <p>Koboko 県</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Lobule 郡及び Zone A and B in Lobule Settlement</li></ul> <p>Yumbe 県 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Ariwa 郡及び Zone 5 in Bidi Bidi settlement</li><li>• Kochi 郡及び Zone 2 in Bidi Bidi settlement</li><li>• Odravu 郡及び Zone 4 in Bidi Bidi settlement</li></ul>

別添資料 1：計画対象医療施設一覧表及び位置図

□計画対象医療施設一覧表

	県	郡	医療施設名	月間外来患者数 (2017年7月)
1	Arua	Rigbo	Ocea HC II	3652
2	Arua	Rigbo	Olivu HC II	248
3	Arua	Uriama	Andelizu HC II	542
4	Koboko	Lobule	Lurujo_HCII	944
5	Yumbe	Kochi	Lokpe HC II	850
6	Yumbe	Odravu	Moli HC II	1094
7	Yumbe	Kochi	Goboro HC II	321
8	Yumbe	Ariwa	Okuyo HC II	514
9	Yumbe	Ariwa	Ariwa HC III	6273

□計画対象 HC 位置図



●本計画対象 HC を示す。

別添資料 2 : 計画対象医療機関概要

**01: Arua District, Rigbo SC**

**1. Information about Health Unit:**

Health Unit: name:	Ocea Health Centre II	Yr. of Est.	1994
Classification	Government,		
Operation by	Government, Private, NGOs		
Tel:	0392175951 – land line; 0777443536 – health centre in charge; 0782148464 – HUMC chairman		
E-mail:			
Contact person:	Kakiye Joyce – the in charge and Joel Arumadri – the chairman HUMC		

**2. Information about operation**

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	4,500 per month on average.	P/month
# of Delivery / Month	80 on average per month	P/month
The ratio of Patients of refugees in total?	60% refugees and 40% Ugandan Nationals	
Staff		
/health staff	GoU	2
	UNHCR	26
	UNICEF	3
	IDI	1
	PHC fund	0
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	14
Total		<b>46</b>

**3. Information about facilities**

No. of Block	Block 01 (others- nutrition & ART) built in (Yr. 2015) by ( UNHCR )
	Block 02 (others – Pharmacy & Triage) built in (Yr.2016) by (UNICEF)
	Block 03 (OPD, Maternity room) built in (Yr.2016) by (Local government)
	Block 04 (Labo, others) built in (Yr.2016) by (Local government)
	Block 05 (Tent), (IPD) built in (Yr.2017) by (UNHCR)
	Block 06 (Tent) for Isolation
#. Examination rooms	2
#. of Delivery Tables/beds	2
#. of Beds for Maternity Ward	4 beds for observation only (antenatal and post-natal)
# of Staff quarters	Hut: (0)
	Single SQ: (1)
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) (4)
	4 in 1 SQ: (0)
# of health workers staying in SQs: (32)In total	
# of stance of Toilet	Patients: Male:( 6 ), Female: ( 6 )>> Total ( 12 ) stances
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 )>> Total ( 0 ) stances the staff go home for toilets in the staff quarters even while at work.
Other facilities	
Water:	Piped water from motorised borehole within site
Electricity	Solar panel and Generator
Communication	TEL (Fixed line) and Mobile
Land right	Government the land has not been leased and there is no land title
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

**4. Request**

1. Inpatient ward for male and Female
2. Maternity ward
3. laboratory

□ 5. Photos

		
<p>Ward</p>		
		
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>	<p>Delivery Room (interior)</p>
		
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>	<p>Borehole, Piped water from a motorised borehole</p>

## 02: Arua District, Rigbo Sub-County, Olivu HC II

### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Olivu HC 2	Yr. of Est.	2011/2012
Classification	Government,		
Operation by	Government, Private, NGOs: the government only pays staff here. Government does not deliver drugs here. The drugs are got from the other nearby health centres through the health sub district health centre IV in Rhinocamp.		
Tel:	0777471474- in charge; 0775268591-HUMC chairman		
E-mail:	-		
Contact person:	Mundurur Florence – in charge; Muhammed Ali – HUMC chairman		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	259	P/month
The ratio of Patients of refugees in total?	0	Refugees %
Staff		
Teaching staff	GoU	2
	UNHCR	0
	UNICEF	1
	PHC fund	0
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	3
	Total	6

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD) built in (Yr.2010) by ( Local Government )
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	0
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Health Workers staying in SQs: ( 4 )In total
# of stance of Toilet	Patients: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
	Health workers: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances: Staff go home for toilet even while at work.
Other facilities	
Water:	Hand pump borehole within site, but the borehole has a very low yield. It is pumped for about 5 minutes before water starts to come out. And then the water comes out yellowish.
Electricity	Not available
Communication	No, they use the one of the in charge
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

### □ 4. Request

1. Expansion of OPD to include laboratory, drug store, consultation room, records room and waiting bay for patients.
2. Maternity ward
3. General ward – male and female
4. Additional staff houses full with Kitchen and Toilets
5. Fencing of the health centre
6. Installation of power – solar and/or generator.



□ 5. Photos

<p>No ward</p>	<p>No ward</p>
<p>Ward</p>	<p>Ward</p>
	<p>No laboratory</p>
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
<p>No delivery room</p>	
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

### 03: Arua District, Uriama Sub-County, ANDELIZU HC II

#### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	ANDELIZU HC II	Yr. of Est.	2011/2012
Classification	Government,		
Operation by	Government,		
Tel:	0773627546		
E-mail:			
Contact person:	Etudopia Felicity		

#### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	70~80 P/month (while drug available) 10~20 P/Month (while no drug available)	
The ratio of Patients of refugees in total?	0	Refugees %
Staff		
Teaching staff	GoU	2
	UNHCR	0
	UNICEF	0
	PHC fund	1 (medical record assistant)
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	3
	Total	6

#### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD) built in (Yr.2001) by ( established as health post )
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	0
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: ( 0 ) however, in store room 1 guard lives
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Health Workers staying in SQs: ( 2 )In total
# of stance of Toilet	Patients: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
	Health workers: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances: Staff go home for toilet even while at work.
Other facilities	
Water:	No water source, nearest is 3km away from the site
Electricity	not available
Communication	they use the one of the in charge
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

#### □ 4. Request

- Expansion of OPD to include laboratory, drug store, consultation room, records room and waiting bay for patients.
- Maternity ward
- Additional staff houses full with Kitchen and Toilets
- Fencing of the health centre
- Installation of power – solar and/or generator.

□ 5. Photos

	
Ward: Consultation, dispensary, Labo.	Inside the ward
	
Outside waiting area	Dispensary
	
No. Borehole, rainwater collecting tank is non-functional	Latrine
	
Store, guard house	Staff Quarters

#### 04: Koboko District, Lobule Sub-County, Lurujo HC II

##### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Lurujo HC II	Yr. of Est.	1982
Classification	Government,		
Operation by	Government, Private, NGOs		
Tel:	0773996672 for in charge; 0780213770 for the HUMC chairman		
E-mail:			
Contact person:	Asiku Pontius – in charge and Yuma Nigo – HUMC chairman		

##### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	1,300	P/month
# of Delivery / Month	0	P/month
The ratio of Patients of refugees in total?	70% nationals and 30% refugees Refugees %	
Staff		
Teaching staff	GoU	4
	UNHCR	1
	PHC fund	1
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	2
Total		<b>8</b>









##### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, IPD, EPI, Maternity room, Labo, others) built in (Yr.2016) by ( government of Uganda)
#. Examination rooms	2
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 1 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of health worker staying in SQs: ( 3 )In total
# of stance of Toilet	patients: Male:( 1 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 3 ) stances
	staff: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances
Other facilities	
Water:	Piped water within site
Electricity	Solar panel
Communication	Mobile 0773996672 for the incharge
Land right	Government, Private, Community
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

##### □ 4. Request

1.	Upgrade Lurujo health centre 2 to a health centre 3. Since the GH will be in Lobule Sub County, by policy, another HC 4 can not be established in the sub county again. So up grade Lurujo HC 2 to 3.
2.	OPD. There is no OPD here. The original OPD block got burnt in September 2017. Now, they are using a block which was built as a general ward
3.	Staff quarters
4.	Delivery kits,
5.	Fencing
6.	Transport means for the health centre.

□ 5. Photos

	
<p>Ward still new, no beds. Being used as OPD because OPD got burnt as in the lower picture.</p>	<p>Ward-Being used as OPD. This an improvised laboratory in the lower picture and the upper picture shows patients waiting outside the ward being used as OPD.</p>
	
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	
<p>Delivery Room (interior)-not being used yet due to the fact that all the equipment needed are not available</p>	<p>Borehole – Gravity flow scheme. A compound stand pipe</p>
	
<p>Latrine - Patients</p>	<p>Staff Quarters -two in one apartment</p>

## 05: Yumbe District, Kochi Sub-County, Lokpe HCII

### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Lokpe Health Centre II	Yr. of Est.	September 2011
Classification	Government,		
Operation by	Government		
Tel:	0779-743186		
E-mail:			
Contact person:	Awuzu Sunday		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	600-900 P/month
# of Delivery / Month	15-18 P/month
The ratio of Patients of refugees in total?	
Staff	4
Teaching staff	GoU
	UNHCR
	PHC fund
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.
	2 (Volunteers)
	Total
	6

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, EPI, Maternity room, ANC, Store) built in (Yr. 2006) By NUSAF
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: ( )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) (1)
	4 in 1 SQ: (1)
	# of Staff staying in SQs: ( 4 ) In total
# of stance of Toilet	Patients: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 4 ) stances
	Staff: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances
Other facilities	
Water:	Well (1 within)
Electricity	Solar panel
Communication	Mobile; Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ General Ward,</li> <li>▪ Staff quarters,</li> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ Beds,</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Transport,</li> <li>▪ Equipment for delivery</li> </ul>
---

□ 5. Photos

	
NO Ward - Only building	Ward
	
Examination Room (interior)	Labo. Dispensing room (Interior)
	
Delivery Room (interior)	Borehole
	
Latrine	Staff Quarters

## 06: Yumbe District, Odravu Sub-County, Moli HC II

### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Moli Health Centre 11	Yr. of Est.	September 2016
Classification	Government,		
Operation by	Government.		
Tel:	0774-730904		
E-mail:	geoffreyguma139@gmail.com		
Contact person:	Geoffrey Guma		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	1034P/month		
# of Delivery / Month	Yet begin, mid wife employed and reported on 13/11/2017		
The ratio of Patients of refugees in total?	0.3 Refugees % The number rose to about 0.5% when the pupils came for PLE at near schools		
Staff	3		
Teaching staff	GoU	3	
	UNHCR		
	PHC fund		
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	2 Volunteers	
Total			6

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, EPI, Maternity room, Labo, others) built in (Yr. 2012) By PRDP
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: ( )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 0 )In total
# of stance of Toilet	Patients: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
	Staff: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances
Other facilities	
Water:	Well 0.5 km away in community
Electricity	Not available:
Communication	Mobile
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ General Ward</li> <li>▪ Borehole</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Staff House</li> </ul>
--



□ 5. Photos

	
<p>Ward – No ward</p>	<p>Ward</p>
	
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

## 07: Yumbe District, Kochi Sub-County, Goboro HC II

### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Goboro Health Centre 11	Yr. of Est.	September 2014
Classification	Government		
Operation by	Government		
Tel:	0772-454988		
E-mail:			
Contact person:	Eyoku Draduma Emmanuel		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?		450-500P/month
# of Delivery / Month		10-15 P/month
The ratio of Patients of refugees in total?		20-25 Self settled refugees per month
Staff		2 + 2 (yet report)
Teaching staff	GoU	2
	UNHCR	
	PHC fund	
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	2 Volunteers + 1 yet to report
Total		7

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, EPI, Maternity room, Labo, others) built in (Yr. 2012) By NUSAF
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	1
# of Staff quarters	Hut: ( )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) (2)
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 2 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2), Female: (1) >> Total (3) stances
	Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances
Other facilities	
Water:	Well within site1 but broken down
Electricity	No power
Communication	
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion- 400mx 500m
Disaster records	Nothing Special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ General Ward</li> <li>▪ Staff quarters</li> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ Beds</li> <li>▪ Lighting systems</li> <li>▪ Transport</li> <li>▪ Fencing + Gate house,</li> <li>▪ Repair of Borehole</li> </ul>
--

□ 5. Photos

	
Ward – One bed partitioned in ANC room for resting for very sick patients	Ward- No ward
	
Examination Room (interior)	Labo. Dispensing room (Interior)
	
Delivery Room (interior)	Borehole
	
Latrine	Staff Quarters

## 08: Yumbe District, Ariwa Sub-County, Okuyo HC II

### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Okuyo Health Centre 11	Yr. of Est.	1990s
Classification	Government,		
Operation by	Government, Private, NGOs		
Tel:	0775557133		
E-mail:			
Contact person:	Adiga Stephen		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	Before refugees 1000 P/month But now 500 P/Month	
# of Delivery / Month	Before refugees 20-25 P/month But now 0-5 P/month	
The ratio of Patients of refugees in total?	2-3 in a month only when the Ikafe Police Training School HC 11 is closed.	
Staff	4	
Teaching staff	GoU	3
	UNHCR	
	PHC fund	
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	1
Total		4

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, Maternity room, /ANC, Store) built in (Yr. Early 2000) by (ARC)
	Block 02 under construction by Sub county
#. Examination rooms	0
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: (1)
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) (1)
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Staff staying in SQs: ( 3 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2), Female: (2) >> Total (4) stances
	Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances
Other facilities	
Water:	Well within, 1 borehole but spoilt)
Electricity	Solar panel available
Communication	
Land right	Government,
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ Staff House</li> <li>▪ General Ward</li> </ul>
---

□ 5. Photos

	
<p>Ward -NO ward but attached is the current HC</p>	<p>No Ward- New HC being Constructed by sub county</p>
	
<p>Examination Room (interior)-Under tree</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Staff Quarters</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

## 09: Yumbe District, Ariwa Sub-County, Ariwa HC III

### □ 1. Information about Health Unit

Health Unit: name:	Ariwa Health Centre 111	Yr. of Est.	Not Known
Classification	Government,		
Operation by	Government, Private, NGOs		
Tel:	0782316155		
E-mail:			
Contact person:	Atiku Onzima Samuel		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	1200P/month	
# of Delivery / Month	70-80 P/month	
The ratio of Patients of refugees in total?	50% Refugees and Nationals 50%.	
Staff	9	
Teaching staff	GoU	6
	UNHCR	3
	PHC fund	
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	6
Total		15

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (Waiting Area used as an OPD) built in (Yr. Early 2000) by (IRC)
	Block 02 for ART and Drug Store for IRC
	Block 3- Lab and Drug store for Government
	Block 4- Maternity and ANC
	Block 5- Ward for female, male and Children
	Block 6- Theatre under construction
#. Examination rooms	3
#. of Delivery Tables	2
#. of Beds for Maternity Ward	6 (General Ward- 24, Paediatric 8, Female ward-8, Male ward-8)
# of Staff quarters	Hut: ( 9 )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( 1 )
# of Teacher staying in SQs: ( 9 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 4 ) stances
	Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances
Other facilities	
Water:	No source of water, its trucked )
Electricity	Solar panel
Communication	
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special apart from Draught for 3-4 months

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ Reliable source of water</li> <li>▪ Staff housing</li> <li>▪ Equipments</li> </ul>
---

□ 5. Photos

	
<p>Ward - The General Ward, Total of 28 beds</p>	<p>Ward- General Ward</p>
	
<p>Examination Room (interior)-There is no OPD in Ariwa, Patients are examined in the waiting Area</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	<p>No Borehole in Ariwa, depending on trucked water only</p>
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>
	
<p>Theatre under Construction</p>	<p>Lab and Drug Store Building</p>

セクター：保健 案件番号：H-2
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB

項目	内容
案件名	西ナイル東部地域（Adjumani 県・Moyo 県）地方医療施設拡充計画（8 サイト）
案件概要	Adjumani 県・Moyo 県の中で、難民流入の影響を大きく受けている難民居住地を抱えるサブカウンティ（以下、「郡」）を対象に、保健センターの機能を拡充するための母子保健棟・職員住居・トイレの増築。
実施背景	<p>西ナイル地域では、2016 年の 6 月以降、南スーダンから難民の流入が続いており、Adjumani 県・Moyo 県内の医療施設では、2017 年 7 月の外来患者数が 2016 年 6 月と比較して平均で 2 割以上上昇しており、住民にとって一番身近な医療機関である保健センターでは、少ない医療従事者で増加した患者への対応に追われている。また元来、既存医療施設の半数以上が老朽化しており、人手不足と相まって質の高い医療サービスを提供することが困難な状況にある。</p> <p>そのため難民居住区内と周辺にある UNHCR の支援を受け開設された医療施設には、難民に加えて遠方からウガンダ住民もやってきて、患者数が大きく増えたことで、十分な診察時間を確保することが困難状況にあり医療サービスの質の低下が懸念されている。これらの状況を踏まえ、ホストコミュニティではより身近な医療施設で良質な医療サービスを提供するとともに、郡内の各医療施設に係る負担を平準化することが急務となっている。</p> <p>保健省の政策としても、初期診断や予防措置を目的とした HC II を、分娩や入院治療に係る医療サービスを提供可能な HC III へと格上げすることを目標に掲げている。</p> <p>なお HC II の多くが交通事情の悪い地方部に存在する。HC II を HC III に昇格させ安定した医療サービスを提供するに当たっては、医療施設の拡充とともに職員住居の整備が不可欠である。このため県の開発計画においても職員住居の整備は重要な事項として捉えられている。</p>
対象地域	Adjumani 県 Dzaipi・Ofua・Ukusijoni 郡、及び Moyo 県 Itula 郡
事業目的	<p>プロジェクト目標：難民流入により医療サービスの提供に大きな影響を受けている難民居住地を抱える郡において、対象の HC II で施設・機材が整備され、より身近で良質な分娩や入院治療に係る医療サービスが提供される。</p> <p>成果：対象地域において対象 HC II の施設・機材が整備され HC III に格上げされる。</p>
受益者	<p>直接受益者：Adjumani 県 Dzaipi・Ofua・Ukusijoni 郡と隣接難民居住地の住民 179,471 人、Moyo 県 Itula 郡と隣接難民居住地の住民 188,348 人、計 367,819 人</p> <p>間接受益者：Adjumani 県 Dzaipi・Ofua・Ukusijoni 郡、Moyo 県 Itula 郡及び同郡隣接難民居住地の住民及び患者の照会数の減少が見込まれるレファレル上位の病院が存在する Adjumani T/C 及び Moyo T/C の住民 計 415,219 人</p>
関係機関と役割	<p>中 央：保健省 計画局 施設計画内容の承認</p> <p>県：Ajumani 県保健局・Moyo 県保健局：施設計画内容の審査・建設中の進捗管理・建設後の維持管理・必要な職員の配置計画と予算充当を行う。</p> <p>国際機関：県との協議により、一部職員配置に係る予算充当が想定される。</p>
事業実施体制	<p>無償現地企業活用型</p> <p>準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注</p> <p>詳細設計：先方政府が本邦コンサルタントに発注</p> <p>施 工：先方政府が現地建設会社に発注</p> <p>施工監理：先方政府との契約により本邦コンサルタントが実施</p> <p>モニタリング：Adjumani 県及び Moyo 県保健局</p>
事業費概算	<p>基本コンポーネント費用：13.9 億円</p> <p>各 HC、以下の施設コンポーネントで構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子病棟 x1 棟</li> <li>・ 外来トイレ棟（8 便房/棟）x2 棟（男女別）</li> <li>・ 母子病棟用トイレ・シャワー棟（8 便房・シャワー/棟）x1 棟</li> <li>・ 職員住居用トイレ棟（2 便房、2 シャワー室/棟）x2 棟</li> <li>・ 職員住居（2 住戸/棟）x2 棟</li> <li>・ 介護者用厨房 x1 棟</li> <li>・ 自家発電機室 x1 棟</li> <li>・ 介護者用洗濯場 x1 所</li> <li>・ 胎盤ピット x1 所</li> </ul>



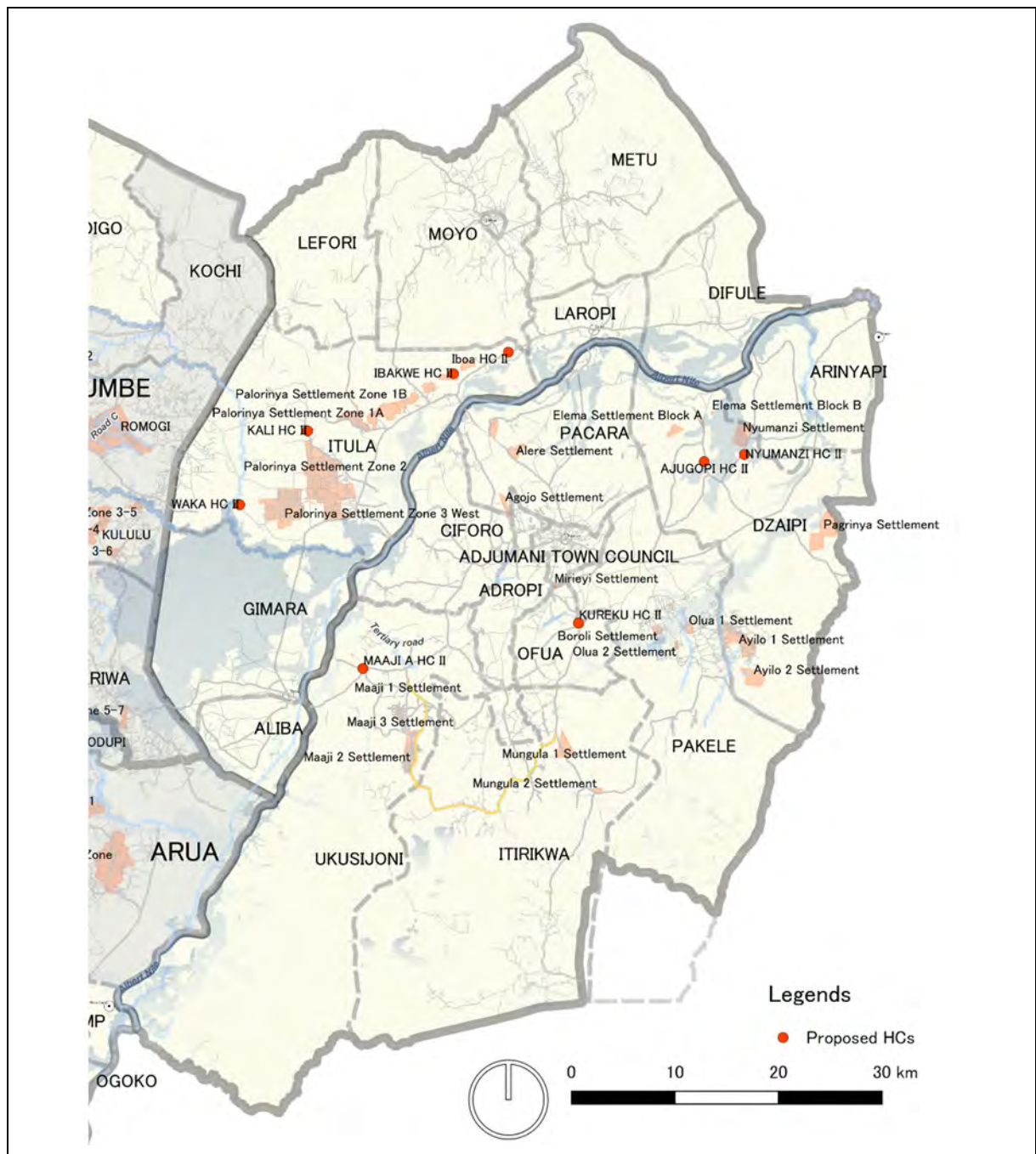
項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療廃棄物用ピット x1 所</li> <li>・警備詰所 x1 棟</li> </ul> 計画面積：7,730.96m <sup>2</sup> ：966.37m <sup>2</sup> ／既存 HC サイト x8 サイト 事業費内訳： 建設費：11.5 億円 機材費：0.6 億円 設計・入札監理・施工監理費：1.8 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、天候や治安等の不可抗力による工事遅延による間接経費の増加
工期・施工計画概略	準備調査・EN/GA・コンサルタント契約：12ヶ月 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：10ヶ月 建設工期：15ヶ月 施工計画：2.3 ロットに分けて現地建設会社により施工
サイト状況	既存 HC であり、現地でのヒアリングにより自然災害履歴のないことを確認している。
評価基準案	妥当性 1. プロジェクトの裨益対象 ウガンダ国の包括的な難民支援方針（Settlement Transformative Agenda: STA）に則し、難民居住区の住民及び難民の流入の影響を強く受ける難民居住区を抱える郡の住民を対象とする。 2. プロジェクト目標と緊急性 難民の流入により増加した患者への良質な医療サービスの提供：より地域住民がアクセスしやすい医療施設として、増加した外来患者と、入院患者及び通常分娩の為の母子の受け入れが可能となる施設機能の拡充が求められる。 3. 中・長期的開発計画の目標達成への貢献 国家開発計画（NDP2015/16-2019/20）の中で、保健セクターの開発は、教育や水衛生等のセクターと共に「人的資本の開発の強化」（Enhancing human capital development）と言う目標の下に位置付けている。 4. 我が国の援助政策・方針との整合性 現在、我が国は基礎生活分野の改善のため、地方の中核医療施設・機材の改善・拡充と機材の維持管理技術向上、病院運営及びサービスの改善を支援している。レファレル体制を構築しているウガンダ国においては、地方中核病院でより質の高い医療サービスを提供するためには、その下位の医療施設が十分に機能することが不可欠で、本案件は下位の医療施設での医療サービスの提供の質を向上に資すると判断される。 有効性 [定量的効果] ・事業実施 3 年後における外来患者数 ・事業実施 3 年後における入院患者数 ・事業実施 3 年後における出産件数 [定性的効果] ・母子病棟の整備に伴い、ヘルスセンターがレベル II から III に格上げされることにより、地域住民に提供可能な医療サービスが拡充される。 ・母子病棟の整備に伴い、ヘルスセンターがレベル II から III に格上げされることにより出産や入院治療を伴う医療サービスへのアクセスに係る時間が減少する。
平和構築の視点及び実施上の留意点	HC において、言語の壁がないよう必要に応じて通訳の配置や、順番待ちでの平等な扱いなどが、難民受け入れにおいて必要である。 また、栄養状況によっても健康状態が大きく左右されるため、自立以前の難民に対しては、食糧配給が安定していることが重要となる。HC では CHEW を核にしたコミュニティでの栄養管理とともに、自ら作物を確保する手段（農耕・養鶏など）、また自ら購入できるよう手に職をつける職業訓練の機会を得るための職業訓練プログラムとの連携が望まれる。 対象となる郡及び Z/S Adjumani 県： ・Dzaipi 郡及び Pagirinya Settlement, Nyumanzi Settlement, Elema Settlement, Baratuku Settlement ・Ofua 郡及び Mirieyi Settlement ・Ukusijoni 郡及び Maaji 1, 2, 3 Settlement Moyo 県：Itula 郡（Palorinya Settlement のうち Zone 1, 2, 3）

別添資料 1：計画対象医療施設一覧表及び位置図

□計画対象医療施設一覧表

	県	郡	医療施設名	月間外来患者数 (2017年7月)
1	Adjumani	Dzaipi	AJUGOPI HC II	708
2	Adjumani	Dzaipi	NYUMANZI HC II	4,727
3	Adjumani	Ofua	KUREKU HC II	1,415
4	Adjumani	Ukusijoni	MAAJI A HC II	512
5	Moyo	Itula	IBAKWE HC II	1,103
6	Moyo	Itula	Iboa HC II	547
7	Moyo	Itula	KALI HC II	1,011
8	Moyo	Itula	WAKA HC II	648

□計画対象 HC 位置図



●本計画対象 HC を示す。

別添資料 2 : 計画対象医療機関概要

**01: Adjumani District, Dzaiipi Sub-County, Ajugopi HC II**

**1. Information about Health Unit:**

Health Unit: name:	Ajugopi HC II	Yr. of Est.	2000
Classification	Government,		
Operation by	Government, Private, NGOs		
Tel:	0782069883 – fixed line		
E-mail:	-		
Contact person:	Onzima Lawrence – 0782416255, in charge and Issa Sunday – 0780235894, HUMC chair		

**2. Information about operation**

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	693 P/month	
# of Delivery / Month	6 P/month	
The ratio of Patients of refugees in total?	80% nationals and 20% refugees	
Staff		
Teaching staff	GoU	2
	UNHCR	0
	PHC fund	0
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	4
Total		<b>6</b>

**3. Information about facilities**

No. of Block	Block 01 (OPD, IPD, EPI, Maternity room, Labo, others) built in (Yr. 2000 ) by (Government )
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	0
# of Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 2 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
# of Teacher staying in SQs: ( 4 )In total	
# of stance of Toilet	patient: Male:( 1 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 3 ) stances
	Health staff: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( 1 ) stances - shared
Other facilities	
Water:	Piped water, Well (within site, or km away) nothing
Electricity	Grid, Solar panel, not available
Communication	TEL(Fixed line), Mobile
Land right	Government, Private, Community
Land availability	Enough for expansion / Insufficient
Disaster records	Flood / Storm / Nothing Special - the storm is once in a while

**4. Request**

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. OPD block – a bigger one</li> <li>2. Maternity – comprehensive with all services</li> <li>3. Water source</li> <li>4. General ward</li> <li>5. Staff quarters</li> <li>6. Fencing</li> </ol>
--

□ 5. Photos

<p>No ward</p>	<p>No ward</p>
<p>Ward</p>	<p>Ward</p>
	
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole – no borehole. There is a tank for catching rainwater</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

## 02: Adjumani District, Dzaipi Sub-County, Nyumanzi HC II

### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	Nyumanzi HC II	Yr. of Est.	????
Classification	Government,		
Operation by	Government, NGOs		
Tel:	0774106935 for in charge and 0781049506 for HUMC		
E-mail:	-		
Contact person:	Amandu Joshua – in charge and Alumai Charles Martin – the HUMC chairman		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	4,000	P/month
# of Delivery / Month	70	P/month
The ratio of Patients of refugees in total?	80% refugees and 20% nationals Refugees %	
Staff		
Teaching staff	GoU	2
	UNHCR/MTI	There are 30 technical and 31 support including translators = 61
	PHC fund	0
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	2
Total		<b>65</b>

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, Labo, others) built in (Yr. 2014 ) by ( LWF )
	Block 02 (Maternity room, others) built in (Yr. 2012 ) by ( Government )
	Block 03 (IPD) built in (Yr. 2014 ) by ( LWF )
	Block 04 (others) built in (Yr. 2015 ) by ( LWF ) isolation
	Block 05 (IPD, others) built in (Yr.2014 ) by ( LWF ) nutrition
#. Examination rooms	3
#. of Delivery Tables	2
#. of Beds for Maternity Ward	10 but there is no independent maternity ward. It is an improvised room
# of Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 5 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
# of Teacher staying in SQs: ( 35 )In total	
# of stance of Toilet	patient: Male:( 5 ), Female: ( 5 ) >> Total ( 10 ) stances
	Health worker: Male:(0), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances – staff go the staff quarters
Other facilities	
Water:	Piped water within site
Electricity	Solar panel
Communication	Mobile – for incharge
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Storm

### □ 4. Request

1. A full maternity unit including the ward, delivery room, examination room, antenatal and post-natal services.
2. Staff houses
3. laboratory

□ 5. Photos

	
<p>Ward female</p>	<p>Ward male</p>
	
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	
<p>Delivery Room (interior) – was not allowed to enter the delivery room because a mother was delivering.</p>	<p>Borehole – motorized borehole within the facility</p>



Latrine



Staff Quarters

### 03: Adjumani District, Ofua Sub-County, Kureka HC II

#### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	Kureka HC II	Yr. of Est.	2001
Classification	Government,		
Operation by	Government, NGOs like Marie stopes and straight talk give some support especially in reproductive health.		
Tel:	0774467998 for in charge; 0777626085 for HUMC chairman		
E-mail:	-		
Contact person:	Ms.Chandiru Fiona Jurua – the incharge and Mr. Anyajo William – the HUMC chairman		

#### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	1,400	P/month
# of Delivery / Month	15	P/month
The ratio of Patients of refugees in total?	90% Ugandan nationals and 10% refugees	Refugees %
Staff		
Teaching staff	GoU	7
	UNHCR	0
	PHC fund	0
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	4
	Total	<b>11</b>

#### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, Maternity room, others) built in (Yr. 2013 ) by ( LG under NUSAF )
	Block 02 (OPD, EPI, Labo, others) built in (Yr. 2001) by ( EU under EDF )
	Block 03 (IPD, others) built in (Yr. 2014/15 ) by ( PRDP )
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	2-These are small rooms improvised for just post-natal care and observation.
# of Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 2 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of health worker staying in SQs: ( 4 )In total
# of stance of Toilet	Patients: >> Total (7) stances – not specified for male or female
	Health workers: >> Total ( 4 ) stances
Other facilities	
Water:	borehole, about 120 metres from facility in the community. Nothing at the health centre
Electricity	Solar panel, one of the solar systems is dead; only the one of the fridge works
Communication	No, they use for the in charge and other staff
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

#### □ 4. Request

1. Complete staff quarter with kitchen and latrines
2. Maternity ward
3. Expansion of the general ward
4. Installation of power
5. Fencing
6. Installation of piped Water



□ 5. Photos

	
<p>Ward Post-natal room used as maternity ward with 2 beds only</p>	<p>Ward</p>
	
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	<p>No water source</p>
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

#### 04: Adjumani District, Ukusijoni Sub-County, Maaji A HCII

##### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	Maaji A HCII	Yr. of Est.	???
Classification	Government		
Operation by	Government		
Tel:	0778814448		
E-mail:	ocayaamos@gmail.com		
Contact person:	Ocaya Amos, Enrolled Nurse		

##### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	(15/day in June 2016, 30/day in 2017) 900/month		
# of Delivery / Month	Emergency deliveries – 5 per month		
The ratio of Patients of refugees in total?	70% are refugees		
Staff			
Teaching staff	GoU		3
	UNHCR		0
	PHC fund		0
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		0
	Total		3

##### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (Examination rm)
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	0 examination table is uses for emergency delivery
#. of Beds for Maternity Ward	N/A
# of Staff quarters	Hut: ( 1 )
	Single SQ: ( 1 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of staff staying in SQs: ( 2 )In total
# of stance of Toilet	Male:( 1 ), Female:( 1 )>> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Huts for storage
Water:	Borehole 1km away from the site)
Electricity	Photosynthesis Power panel, but battery has been worn out
Communication	N/A except personal mobil
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

##### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Water supply,</li> <li>▪ Accommodation,</li> <li>▪ Refrigerator &gt;&gt; Currently vaccines are kept in Ukusijoni HC III</li> <li>▪ Battery for solar panel</li> </ul>
---

□ 5. Photos



Ward



Ward



Labo. Dispensing room (Interior)



Delivery Room (interior)



Borehole



Latrine



Staff Quarters

## 05: Moyo District, Itula Sub-County, Ibakwe HC II

### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	Ibakwe Health Centre 11	Yr. of Est.	2014
Classification	Government		
Operation by	Government and NGOs-MTI		
Tel:	0787600673		
E-mail:	ogwalambrozini@gmail.com		
Contact person:	Ogwal Ambrose/ Atama Williams		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	1400/month	
# of Delivery / Month	Emergency deliveries – 8 per month	
The ratio of Patients of refugees in total?	70% are refugees	
Staff		
Teaching staff	GoU	2
	UNHCR	10
	PHC fund	
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	7
	Total	19

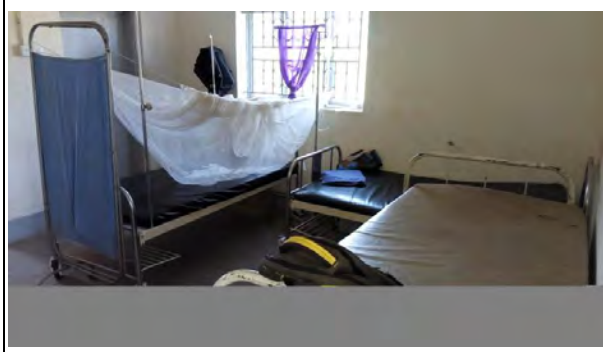
### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, EPI, Maternity room, Labo, others) built in (Yr. 2014) By PRDP
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	3
# of Staff quarters	Hut: ( 11 )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 13 ) In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
	Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances
Other facilities	
Water:	Borehole within site
Electricity	Some unreliable solar
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

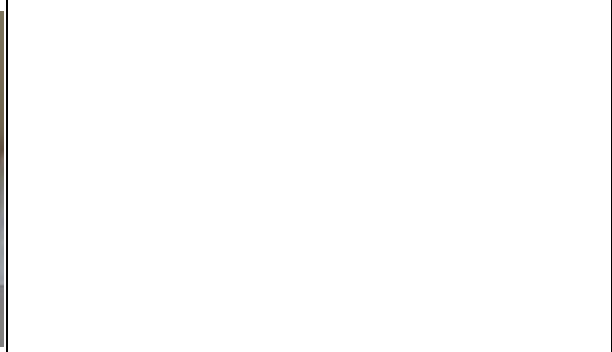
### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ OPD needs to be bigger</li> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ Latrines for OPD and Staff</li> <li>▪ General wards</li> <li>▪ Staff houses</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Lighting</li> </ul>
--

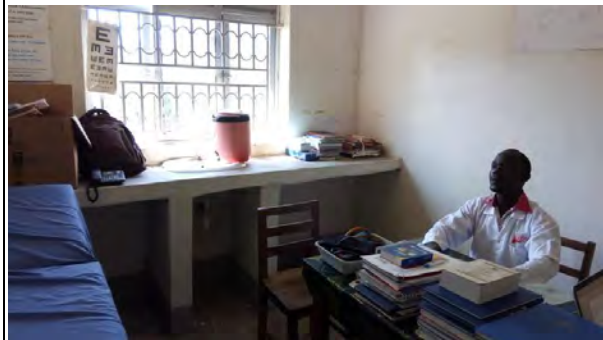
□ 5. Photos



Ward



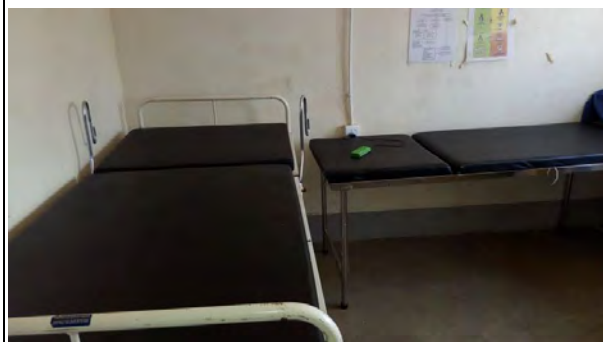
Ward



Examination Room (interior)



Labo. Dispensing room (Interior)



Delivery Room (interior)



Borehole



Latrine



Staff Quarters

## 06: Moyo District, Itula Sub-County, Iboa HC II

### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	Iboa Health Centre 11	Yr. of Est.	
Classification	Government		
Operation by	Government and NGOs-MTI		
Tel:	0789489158/0779752691		
E-mail:	rayacire@gmail.com		
Contact person:	Acire Ronald/ Bania Irene		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	900-1000/month		
# of Delivery / Month	Emergency deliveries – 3-6 per month		
The ratio of Patients of refugees in total?	1:2, Nationals: Refugees		
Staff			
Teaching staff	GoU		2
	UNHCR		8
	PHC fund		
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		8
Total			18

### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, Maternity room, Labo, others) built in (Yr 1997) by ( Not known by the staff)		
#. Examination rooms	1		
#. of Delivery Tables	1		
#. of Beds for Maternity Ward	0		
# of Staff quarters	Hut: ( 5 )		
	Single SQ: ( 1 )		
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )		
	4 in 1 SQ: ( )		
# of Teacher staying in SQs: ( 9 )In total			
# of stance of Toilet	Student: Male: ( 2 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 3 ) stances		
	Teacher: Male: ( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances		
Other facilities			
Water:	Piped water, Well ( 300m in the community,)		
Electricity	No power		
Communication	TEL (Fixed line), Mobile: Available		
Land right	Government		
Land availability	Enough for expansion		
Disaster records	Nothing Special		

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ OPD needs to bigger</li> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ General wards</li> <li>▪ Staff houses</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Borehole</li> <li>▪ Lighting</li> </ul>
---

□ 5. Photos

<p>Ward - NO Ward but only structure has 3 rooms</p>	<p>Ward</p>
	<p>Lab and dispensing in the same room as for consultation room.</p>
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
	
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

**07: Moyo District, Itula Sub-County, Kali HC II**

**1. Information about Health Unit:**

Health Unit: name:	Kali HC 11	Yr. of Est.	1994
Classification	Government		
Operation by	Government and NGOs-MTI		
Tel:	0779196112/0775992880		
E-mail:	Unziemmanuel300@gmail.com		
Contact person:	Unzi Emmanuel/ Ogama George		

**2. Information about operation**

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	1100/month	
# of Delivery / Month	Emergency deliveries – 3-6 per month	
The ratio of Patients of refugees in total?	1:3, Nationals: Refugees	
Staff		
Teaching staff	GoU	3
	UNHCR	7
	PHC fund	
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	9
	Total	19

**3. Information about facilities**

No. of Block	Block 01 (OPD, Lab, Maternity room, store, EPI others) built in (Yr 1994 ) By UNHCR
#. Examination rooms	1
#. of Delivery Tables	1
#. of Beds for Maternity Ward	4 (general)
# of Staff quarters	Hut: ( 3 )
	Single SQ: (0)
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 1 )
	# of Teacher staying in SQs: ( 12)In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 3), Female: (2) >> Total (5) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
Other facilities	
Water:	borehole within the site
Electricity	Unreliable solar
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

**4. Request**

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ New OPD since the current one old</li> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ General wards</li> <li>▪ Staff houses</li> <li>▪ Lighting</li> </ul>
--



□ 5. Photos



Ward - 4 Bed multi purpose Ward



Ward



Examination Room (interior)



Labo. Dispensing room (Interior)



Delivery Room (interior)



Borehole



Latrine



Staff Quarters

## 08: Moyo District, Itula Sub-County, Waka HC II

### □ 1. Information about Health Unit:

Health Unit: name:	Waka HC 11	Yr. of Est.	2011
Classification	Government		
Operation by	Government		
Tel:	0787-129641		
E-mail:			
Contact person:	Asiki Rasul		

### □ 2. Information about operation

How many Patients come to the Health Unit to be examined (Average No. / Month)?	750-900/month		
# of Delivery / Month	Emergency deliveries – 3-6 per month		
The ratio of Patients of refugees in total?	1:3, Nationals: Refugees		
Staff	2		
Teaching staff	GoU	2	
	UNHCR	0	
	PHC fund		
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.	2	
Total			4



### □ 3. Information about facilities

No. of Block	Block 01 (OPD, Lab, Maternity room, store, EPI others) built in (Yr 1994) By UNHCR		
#. Examination rooms	1		
#. of Delivery Tables	0		
#. of Beds for Maternity Ward	0		
# of Staff quarters	Single SQ: (0)		
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )		
	4 in 1 SQ: ( 1 )		
# of Teacher staying in SQs: ( 4) In total			
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 4 ) stances		
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances		
Other facilities			
Water:	Fetch the River like 0.5km		
Electricity	No power		
Communication	Mobile: Available		
Land right	Government		
Land availability	Enough for expansion		
Disaster records	Flooding for the first since relocated from another location also due to flooding since 2011		

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ New OPD since the current one old</li> <li>▪ Maternity Ward</li> <li>▪ General wards</li> <li>▪ Staff houses</li> <li>▪ Lighting</li> </ul>
--

□ 5. Photos

<p>No Ward</p>	
<p>Ward</p>	<p>Ward</p>
	
<p>Examination Room (interior)</p>	<p>Labo. Dispensing room (Interior)</p>
<p>No delivery room</p>	<p>No borehole</p>
<p>Delivery Room (interior)</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Latrine</p>	<p>Staff Quarters</p>

13.3 教育

セクター：教育（初等教育） 案件番号：E-1
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB

項目	内容
案件名	西ナイル西部地域（Arua 県・Yumbe 県）初等教育施設改善計画
案件概要	Arua 県・Yumbe 県の中で、難民流入の影響を大きく受けている難民居住地を抱えるサブカウンティ（以下、「郡」）において 10 校の学校における教室・教員住居・トイレの増築。
実施背景	<p>西ナイル地域では、2016 年の 6 月以降、南スーダンから難民の流入が続いており、2017 年 7 月末時点で 75 万人に達している。その約 25%にあたる 19 万人の学齢人口（6-12 歳）の増加により、難民を受け入れる教育施設では学生が急増し、難民には子どもが多いことから教育環境が悪化している。</p> <p>Arua 県・Yumbe 県では、2016 年 6 月からの約 1 年間で増加した 14.5 万人の学齢人口（6-12 歳）に対し、初等教育課程で約 2,900 教室新規教室が必要な状況にある。現在、学校によっては木陰を利用した屋外での授業を強いられ、天候に左右されることから安定して授業を実施することが不可能な状況である。</p> <p>また運営上の課題として、学生数の増加から、難民居住区に隣接する学校では 5,000 人/校に上る学生を抱え、1 クラス 400 人以上（Primary 1：1 年生の場合）となり、教育の質を確保した授業の実施が困難な状況にある。</p> <p>さらに本計画対象地域が難民居住地を抱える郡であり、基本的に都市部から離れた地方の遠隔地であるため、教員用住居の設置が必要である。しかし教室の不足と共に教員住居の整備が立ち遅れており、都市部からの通勤時間の長さや未舗装路による不安定な交通事情により、教員の欠勤や遅刻も大きな課題となっている。</p> <p>このため教育環境の改善という観点から、教室・トイレとともに教員住居の施設整備のニーズは高く、県の開発計画においてもこれらを一体とした施設整備を重点分野として位置付けている。</p>
対象地域	Arua 県 Odupi・Uriama 郡、及び Yumbe 県 Ariwa・Kululu・Kochi・Odravu・Romogi 郡
事業目的	<p>プロジェクト目標：Arua 県・Yumbe 県の難民の流入により教育環境に大きな影響を受けている難民居住地を抱える郡において初等教育へのアクセス及び学習環境が改善される。</p> <p>成果：対象地において初等教育施設が拡充される。</p>
受益者	<p>直接受益者：Arua 県 Odupi・Uriama 郡と隣接難民居住地の学生 1,050 人及び教員 12 人、Yumbe 県 Ariwa・Kochi・Kululu・Odravu 及び Romogi 郡と隣接難民居住地の学生 2,450 人及び教員 28 人、計 3,580 人</p> <p>間接受益者：Arua 県 Odupi・Uriama 郡、Yumbe 県 Ariwa・Kochi・Kululu・Odravu・Romogi 郡及び同郡隣接難民居住地の住民 757,240 人  <small>（注）直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。</small></p>
関係機関と役割	<p>中央：教育スポーツ省 計画局 施設計画内容の承認</p> <p>県：Arua 県教育局・Yumbe 県教育局：施設計画内容の審査・建設中の進捗管理・建設後の維持管理・必要な教員及び職員の配置計画と予算充当を行う。</p> <p>国際機関：県との協議により、一部教員配置に係る予算充当が想定される。</p>
事業実施体制	<p>調達代理機関活用無償</p> <p>準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注</p> <p>詳細設計：調達代理機関が現地コンサルタントに発注</p> <p>施工：調達代理機関が現地建設会社に発注</p> <p>施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用</p> <p>モニタリング：Arua 県及び Yumbe 県教育局</p>
事業費概算	<p>基本コンポーネント費用：12.4 億円</p> <p>各校以下の施設コンポーネントで構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室棟（2 教室/棟）x2 棟</li> <li>・教室棟（3 教室/棟）x1 棟</li> <li>・事務管理棟 x1 棟</li> <li>・トイレ棟（5 便房/棟）x3 棟（男子、女子、教員用各 1 棟）</li> <li>・教員住居用トイレ棟（2 便房、2 シャワー室/棟）x2 棟</li> <li>・教員住居（2 住戸/棟）x2 棟</li> <li>・教育機材（教科書は含まない）、家具</li> </ul> <p>計画面積：10882.55m<sup>2</sup>：1,088.25m<sup>2</sup>/既存校サイト x10 既存校サイト</p>

項目	内容
	<p>事業費内訳：            建設費：10.1 億円            機材費：0.2 億円            設計費・調達代理機関費：2.1 億円            留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、天候や治安等の不可抗力による工事遅延による間接経費の増加</p>
<p>工期・施工            計画概略</p>	<p>準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：12ヶ月            詳細設計・入札図書作成・入札・発注：10ヶ月            建設工期：1.5 年            施工計画：2.3 ロットに分けて現地建設会社により施工</p>
<p>サイト状況</p>	<p>既存校であり、現場でのヒアリングにより自然災害履歴のないことを確認している。</p>
<p>評価基準案</p>	<p>妥当性</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの裨益対象 ウガンダ国の包括的な難民支援を推進する地域開発の方針に則し、難民の流入の影響を強く受ける難民居住区を抱える郡の住民を対象とする。</li> <li>プロジェクト目標と緊急性 難民の流入により悪化した教育指標：一教室当たりの学生数（PCR）や、一教員当たりの学生数（PTR）の早急の改善が求められる。</li> <li>中・長期的開発計画の目標達成への貢献 国家開発計画（NDP2015/16-2019/20）の中で、教育セクターの開発は、保健や水衛生等のセクターと共に「人的資本の開発の強化」（Enhancing human capital development）と言う目標の下に位置付けている。</li> <li>我が国の援助政策・方針との整合性 経済成長を実現するための環境整備 日本の技術や知見を活かした案件形成に留意しつつ、インフラ整備を通じて、ウガンダの持続可能な経済成長の実現への貢献に対し、産業基盤となる人材の能力・技術力向上貢献を図るための礎となる基礎教育における教育環境の改善を図る本プロジェクトの実施は妥当性と判断される。</li> </ol> <p>有効性</p> <p>[定量的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施3年後における就学率</li> <li>事業実施3年後における新設教室での年間授業時間数</li> </ul> <p>[定性的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室や教育機材の数の不足が解消され、学生の学習環境及び教員の労働環境が改善する。</li> <li>実習室及び実習機材が質・量ともに改善され、カリキュラムが適切に実施される。</li> </ul>
<p>平和構築の            視点及び実            施上の留意            点</p>	<p>難民の受け入れにおいては、言語の壁がないように必要に応じて通訳の配置、学びの遅れ（学習から遠のいていたことで、学習レベルに遅れが出ている学生）に応じて ALP（Accelerated Learning Programme）実施を推奨するなどの方策が望まれる。</p> <p>また、学習状況は栄養状態によっても左右されるため、食糧配給が安定していることが重要となる。支援団体のみならず、コミュニティ参画での昼食プログラムの実施拡充を図る学校での受け入れが望まれる。</p> <p>また、学校をコミュニティの相互理解や対話の場としても活用することができることから、「開かれた施設」として、夜間や休日において、コミュニティに対して提供する。但し、その際に一部の部族による占有等がないように配慮する。</p> <p>対象となる郡及び Z/S</p> <p>Arua 県：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Odupi 郡及び Zone 2: Siripi and Zone 6: Ofua in Rhino Camp Settlement, Zone 1, 2 and 3 in Imvepi Settlements</li> <li>Uriama 郡及び Zone 1, 2 and 6 in Rhino-Camp Settlement</li> </ul> <p>Yumbe 県：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Ariwa 郡及び Zone 5 in Bidi Bidi Settlement</li> <li>Kululu 郡及び Zone 3 in Bidi Bidi Settlement</li> <li>Kochi 郡及び Zone 2 in Bidi Bidi Settlement</li> <li>Odravu 郡及び Zone 4 in Bidi Bidi Settlement</li> <li>Romogi 郡及び Zone 1 in Bidi Bidi Settlement</li> </ul>

別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

計画対象校一覧表

計画対象校位置図

別添資料 2：計画対象校概要

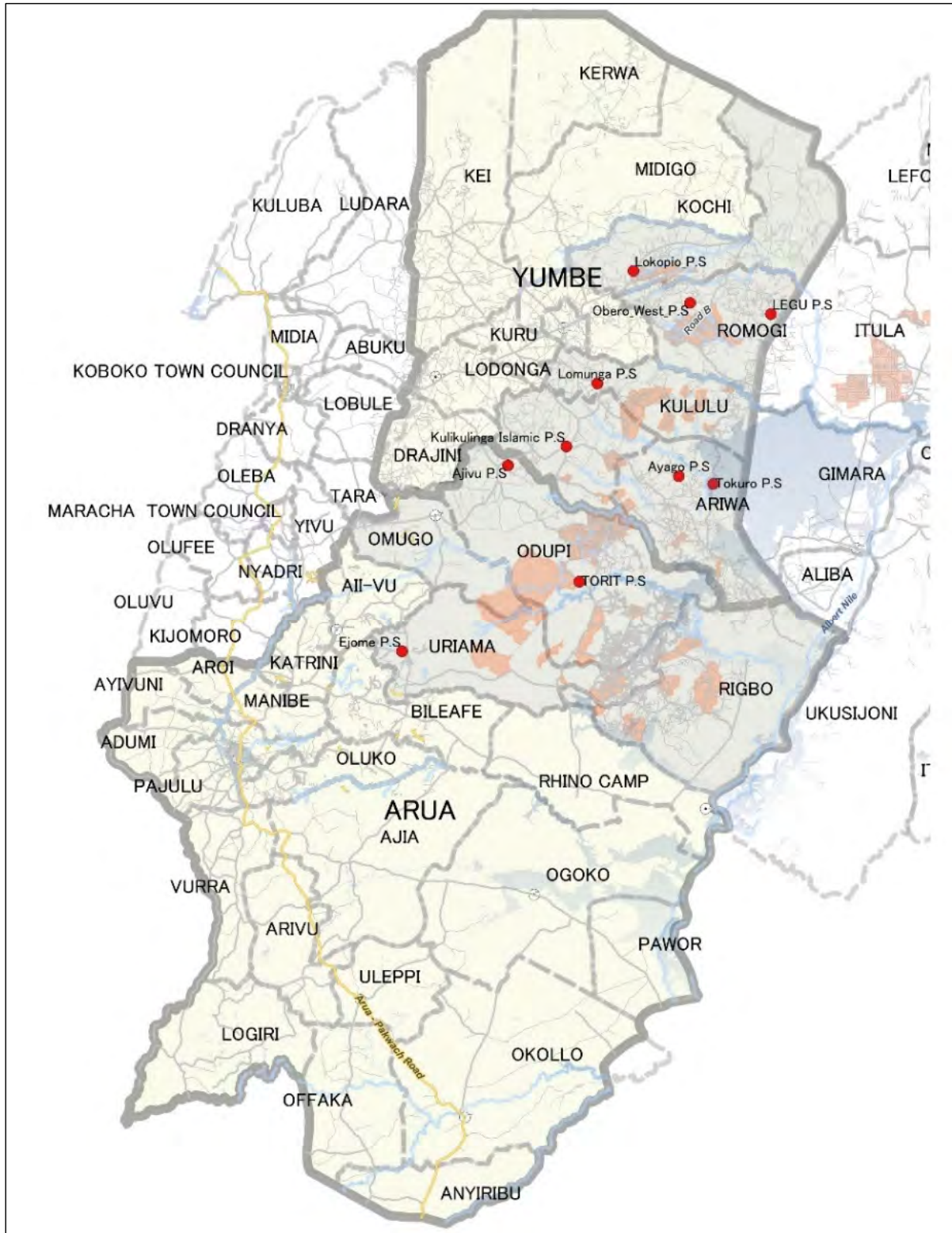
別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

計画対象校一覧表

No.	District	Sub-County	Score	School	# of Pupil			Classroom		Pupil / CLRM Pupil Classroom Ratio
					Refugee	Ugandan	Total	Perm	Temp.	
01	Arua	Odupi	28	TORIT P.S	929	188	1117	0	4	279
02	Arua	Odupi	28	Ajivu P.S	0	905	905	4	2	151
03	Arua	Uriama	26	Ejome P.S	0	1652	1652	2	10	138
04	Yumbe	Ariwa	31	Ayago P.S	0	744	744	4	3	107
05	Yumbe	Ariwa	31	Tokuro P.S	0	453	453	5	0	91
06	Yumbe	Romogi	30	LEGU P.S	0	505	505	4	0	126
07	Yumbe	Romogi	30	Obero_West_P.S	0	487	487	4	0	122
08	Yumbe	kululu	27	Lomunga P.S	0	709	709	4	0	177
09	Yumbe	Kochi	24	Lokopio_P.S	104	814	918	5	4	102
10	Yumbe	Odravu	23	Kulikulinga Islamic P.S	0	1158	1158	6	1	165

PS: 小学校

□計画対象校位置図



●本計画対象校を示す。

別添資料 2 : 計画対象校概要

**01: Arua District, Odupi Sub-County, Torit Primary School**

**1 Information about School:**

School name:	Torit PS	Yr. of Est.	1993
Address:		Parish	
Tel:			
E-mail:	N/A		
Contact person:			

**2. Students and Staff**

Shift	1 Shift								
	Students	Grade	No. Stream	No. of student <b>907</b>					
				Refugee			National		
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	186	167	353	38	43	81	434
	Gr. 2	1	77	85	162	17	22	39	201
	Gr. 3	1	75	56	131	14	17	31	162
	Gr. 4	1	49	48	97	7	9	16	113
	Gr. 5	1	40	44	84	9	4	13	97
	Gr. 6	1	66	36	102	4	4	8	110
	Gr. 7								
									<b>1,117</b>
No. of Disables	Visual	0	Hearing		0	Others		0	
	Physical	0	Mental		0	Total		0	
Staff	Teaching staff		GoU			7			
			UNHCR			3(WTU)+3(NRC for ALP)			
			PTA			2			
	Supporting Staff		Cleaner, Warden, etc.			1 cook			
									<b>Total 13</b>

**3 Information about school facilities**







No. of Block	Block 01 (Admi. ) (Semi-P.)
	Block 02 (Small 4 CRs) (Semi-P.)
No. Staff quarters	Hut: ( )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( Semi-Perm. x 1)
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Teacher staying in SQs: ( 2 )In total
# of stance of Toilet	All broken
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available None of the above
Water:	borehole 50m away (broken)
Electricity	not available
Communication	Use a mobile phone of the head teacher
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

**4 Request**

<ol style="list-style-type: none"> <li>Staff quarters with kitchen and VIP latrines</li> <li>VIP latrines for the school for both pupils and teachers NRC will build 5CRs + 1 Staffroom for ALP</li> </ol>
--



## 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom Block
	
Outside Classroom	Classroom Interior
	
Latrines	Borehole/ Water Point Not Functional

## 02: Arua District, Odupi Sub-County, Ajivu Primary School

### □ 1 Information about School:

School name:	Ajivu PS	Yr. of Est.	1996
Address:	P.O.Box 135, Arua	Parish	Okavu Parish
Tel:	0774628495 – Deputy head teacher; 0783428069 – head teacher; 0782587347 – SMC chairman		
E-mail:	N/A		
Contact person:	Avudria Wilson – Head teacher; Titre Emmanuel – SMC chairman		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student <b>907</b>						
				Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	G.Total	
Primary	Gr. 1	1	0	0	0	156	151	307	<b>304</b>	
	Gr. 2	1	0	0	0	94	92	186	<b>186</b>	
	Gr. 3	1	0	0	0	71	76	147	<b>147</b>	
	Gr. 4	1	0	0	0	56	62	118	<b>118</b>	
	Gr. 5	1	0	0	0	53	40	91	<b>91</b>	
	Gr. 6	1	0	0	0	34	08	42	<b>42</b>	
	Gr. 7	1	0	0	0	12	05	17	<b>17</b>	
No. of Disables	Visual		0	Hearing			0	Others		0
	Physical		0	Mental			0	Total		0
Staff	Teaching staff			GoU			10			
				UNHCR			0			
				PTA			2			
	Supporting Staff			Cleaner, Warden, etc.			1 cook			
<b>Total</b>									<b>13</b>	







### □ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 4 CRs) (Perm.) built in (Yr. 2004) by ( local Government) Block 02 ( 2 CRs) (Temp.) built in (Yr. ) by ( )
No. Staff quarters	Hut: ( 3 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Teacher staying in SQs: ( 3 ) In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 4 ) stances Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( ) stances; teachers share with pupils
	Other facilities
Water:	Borehole within site
Electricity	No
Communication	No phone. Use the ones of the head teacher and deputy
Land right	Government, not leased, no land title
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

### □ 4 Request

1. Fully furnished classroom block with 7 classes and office
2. Staff quarters with kitchen and VIP latrines
3. VIP latrines for the school for both pupils and teachers

□ 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom / Administrative Block
	 
Classroom / Administrative Block (Interior)	Classroom / Administrative Block (Interior)
	
Latrines	Borehole
	
Staff Quarters	Staff Quarters

□ 03: Arua District, Uriama Sub-County, Ejome Primary School

□ 1 Information about School:

School name:	EJOME P/S	Yr. of Est.	1959
Address:	P.O. BOX 1582 ARUA	Parish	EJONI
Tel:	-		
E-mail:	-		
Contact person:	ERIMA PETER (Head Teacher—0782984664)		
	ANDIMA MJCHEAL (SMC Chairman—0779742895)		

□ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift / 2 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student; <b>1,652</b>			National			G.Total
				Refugee			Male	Female	Total	
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Primary	Gr. 1	2	0	0	<b>0</b>	249	255	<b>504</b>	<b>504</b>	
	Gr. 2	1	0	0	<b>0</b>	131	142	<b>273</b>	<b>273</b>	
	Gr. 3	1	0	0	<b>0</b>	149	154	<b>303</b>	<b>303</b>	
	Gr. 4	1	0	0	<b>0</b>	137	136	<b>273</b>	<b>273</b>	
	Gr. 5	1	0	0	<b>0</b>	87	81	<b>168</b>	<b>168</b>	
	Gr. 6	1	0	0	<b>0</b>	61	44	<b>105</b>	<b>105</b>	
	Gr. 7	1	0	0	<b>0</b>	21	5	<b>26</b>	<b>26</b>	
No. of Disables	Visual		0	Hearing			0	Others		0
	Physical		0	Mental			0	Total		0
Staff										
Teaching staff	GoU		18							
	UNHCR		0							
	PTA		0							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		0							
			Total			18				

□ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (2 CRs) (Perm. ) built in (Yr. 2007/2008) by (SFG ) already has serious cracks
	Block 02 ( 5 CRs) (Temp.) built in (Yr. 2000 ) by (Parents )
	Block 03 ( 5 CRs) (Temp.) built in (Yr. 2000 ) by (Parents)
No. Staff quarters	Hut: ( 7 )
	Single SQ: ( 7 ) Temporary
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Teacher staying in SQs: (15)
# of stance of Toilet	Student: Male:( 8 ), Female:( 4 ) >> Total ( 12 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female:( 1 ) >> Total ( 2 ) stances temporary
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available None of the above
Water:	Borehole within site
Electricity	No
Communication	No except for Head teacher and SMC Chairman
Land right	Government, No land title
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

□ 4 Request

1. Fully furnished classrooms
2. Staff Quarters

□ 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom / Administrative Block
	
Classroom / Administrative Block (Interior)	Classroom / Administrative Block (Interior)
	
Latrines	Borehole
	
Staff Quarters	Staff Quarters

#### 04: Yumbe District, Ariwa Sub-County, Ayago Primary School

##### □ 1 Information about School:

School name:	Ayago PS	Yr. of Est.	Started a community school in 2005 and taken by Government in 2007
Address:		Parish	Okuyo
Tel:	0753290065		
E-mail:	-		
Contact person:	Baga George		

##### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift								
Students	Grade	No. Stream	No. of student						G.Total
			Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	0	0	0	102	133	235	235
	Gr. 2	1	0	0	0	69	90	159	159
	Gr. 3	1	0	0	0	57	59	116	116
	Gr. 4	1	0	0	0	53	56	109	109
	Gr. 5	1	0	0	0	36	45	81	81
	Gr. 6	1	0	0	0	21	23	44	44
	Gr. 7	No classrooms. P7 will start coming year because there is temporary put up by FCA							
No. of Disables	Visual	1 Male		Hearing		5 males		Others	
	Physical	3 male, 1 female		Mental				Total	
Staff									
Teaching staff	GoU		10						
	UNHCR		0						
	PTA		0						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		0						
		Total		10					

##### □ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (4 CRs) (Perm..) built in (Yr.2009) by ( GOU- SFG/PRDP ) Block 02 (3 CRs) (Temporary) being constructed by FCA
No. Staff quarters	Hut: (6)
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) (1)
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 9 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 5 ) >> Total ( 10 ) stances
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances
Other facilities	
Water:	Piped water, Well (200 m away in community)
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing special

##### □ 4 Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ At least 3 Classrooms plus office,</li> <li>▪ Staff room,</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Staff house and water,</li> <li>▪ Bath rooms</li> <li>▪ Fencing</li> </ul>
--

□ 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom / Administrative Block
	
Classroom / Administrative Block (Interior)- One classroom partitioned as an office, staffroom and store temporarily	Classroom / Administrative Block (Interior)
	
Latrines	Borehole
	
Staff Quarters	Staff Quarters

## 05: Yumbe District, Ariwa Sub-County, Tokuro Primary School

### □ 1 Information about School:

School name:	Tokuro PS	Yr. of Est.	Started in 2001 as a community and taken by government in 2004
Address:		Parish	Ikafe
Tel:	0782-495078		
E-mail:	-		
Contact person:	Olima Hamid		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift								
Students	Grade	No. Stream	No. of student						G.Total
			Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	0	0	0	105	90	195	195
	Gr. 2	1	0	0	0	38	31	69	69
	Gr. 3	1	0	0	0	43	31	74	74
	Gr. 4	1	0	0	0	31	26	57	57
	Gr. 5	1	0	0	0	18	19	37	37
	Gr. 6	1	0	0	0	10	5	15	15
	Gr. 7	1	0	0	0	6	0	6	6
No. of Disabilities	Visual	0		Hearing		0		Others	
	Physical	2		Mental		2		Total	
Staff									9
Teaching staff	GoU								9
	UNHCR								0
	PTA								1
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.								
		Total						10	

### □ 3 Information about school facilities


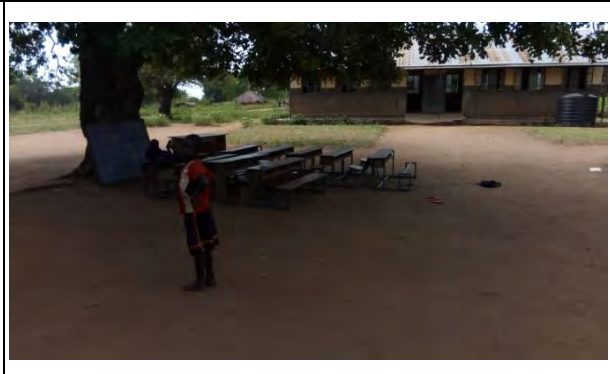
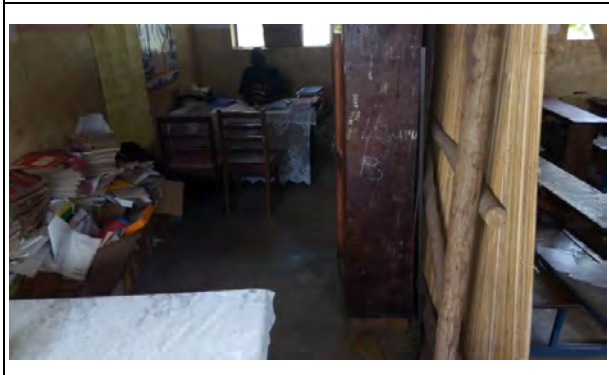




No. of Block	Block 01 (2CRs) (Perm.) built in (Yr-20046) by ( GoU -SFG)
	Block 01 (3CRs) (Perm.) built in (Yr-2009/10 ) by ( _GoU- PRDD)
No. Staff quarters	Hut: ( 6 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 6 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total (4) stances
	Teacher: Male:( 2 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 3 ) stances
Other facilities	
Water:	No Water- There is a broken borehole 700m away within community
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing Special

### □ 4 Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms</li> <li>▪ Latrines need</li> <li>▪ Water source needed-Borehole</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Store, office and Staffroom</li> <li>▪ Library</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Light</li> </ul>
--



□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)- Part of classroom partitioned as office</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	<p>No borehole</p>
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>

## 06: Yumbe District, Romogi Sub-County, Legu Primary School

### □ 1 Information about School:

School name:	Legu PS	Yr. of Est.	2004 (taken by GoU)
Address:		Parish	Chabili
Tel:	0777-374600		
E-mail:	-		
Contact person:	Avujaga Abdu Ibrahim/Bulia Vito		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
				Refugee			Male	Female	Total	
				Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	0	0	0	0	74	61	135	135
	Gr. 2	1	0	0	0	0	54	73	127	127
	Gr. 3	1	0	0	0	0	48	36	84	84
	Gr. 4	1	0	0	0	0	47	38	85	85
	Gr. 5	1	0	0	0	0	29	18	47	47
	Gr. 6	1	0	0	0	0	11	16	27	27
	Gr. 7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
No. of Disables	Visual		0	Hearing			0	Others		0
	Physical		0	Mental			0	Total		0
Staff										
Teaching staff	GoU					8				
	UNHCR					0				
	PTA					1				
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
Total										9

### □ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 2 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2005/6 ) by ( GOU-SFG )
	Block 02 ( 2 CRs) (Perm. ) built in (Yr. 2007/8) by (GoU_ SFG)
No. Staff quarters	Hut: ( 3 )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 8 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 3 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 5 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available
Water:	Borehole within site
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing special

### □ 4 Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms blocks</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Staff house</li> </ul>
---

□ 5. Photos



Classroom / Administrative Block



Classroom / Administrative Block



Classroom / Administrative Block (Interior)



Classroom / Administrative Block (Interior)



Latrines



Borehole



Staff Quarters



Staff Quarters

## 07: Yumbe District, Romogi Sub-County, Obero West Primary School

### □ 1 Information about School:

School name:	Obero West PS	Yr. of Est.	1989
Address:		Parish	BidiBidi
Tel:	0782-702863/0782-665572		
E-mail:	-		
Contact person:	Eyole Aziz Alison		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
Students	Grade	No. Stream	No. of student						G.Total	
			Refugee			National				
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Primary	Gr. 1	1	0	0		76	106	182	182	
	Gr. 2	1	0	0		61	32	93	93	
	Gr. 3	1	0	0		30	33	63	63	
	Gr. 4	1	0	0		46	21	67	67	
	Gr. 5	1	0	0		44	9	53	53	
	Gr. 6	1	0	0		15	14	29	29	
	Gr. 7	0	0	0		0	0	0	0	
No. of Disables	Visual		0	Hearing			0	Others		
	Physical		0	Mental			0	Total		
Staff										
Teaching staff	GoU					10				
	UNHCR					0				
	PTA					2				
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
Total										12








### □ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 2 CRs) (Perm.) built in (Yr. 2004/5 ) by ( GoU- SFG)
	Block 02 ( 2 CRs) (Perm.) built in (Yr. 2007/8 ) by ( GoU- SFG)
No. Staff quarters	Hut: ( 8 )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( )
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 8 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female:( 5 ) >> Total ( 10 ) stances
	Teacher: Male:( 2 ), Female:( 2 ) >> Total ( 4 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available
Water:	Borehole 500m away in community)
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing special

### □ 4 Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms blocks</li> <li>▪ More office space,</li> <li>▪ Store</li> <li>▪ Library</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Borehole</li> </ul>
--

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)_                      Partitioned to cater for 2 classes</p>
	<p>No Borehole</p>
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff room under the tree</p>

## 08: Yumbe District, Kululu Sub-County, Lomunga Primary School

### □ 1 Information about School:

School name:	Lomunga P.S	Yr. of Est.	1970
Address:		Parish	
Tel:	0772994872		
E-mail:	-		
Contact person:	Abale Zuberi (Head Teacher)		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student					G.Total	
				Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Primary	Gr. 1	1				89	91	180	180	
	Gr. 2	1				87	60	147	147	
	Gr. 3	1				76	66	142	142	
	Gr. 4	1				44	42	86	86	
	Gr. 5	1				39	45	84	84	
	Gr. 6	1				32	21	53	53	
	Gr. 7	1				14	3	17	17	
	Total					381	328	709	709	
No. of Disables	Visual	9 Males, 07 females		Hearing		04 males, 06 Females		Others		
	Physical	1 female, 1 Male		Mental		01 Male		Total		
Staff										
Teaching staff	GoU			17						
	UNHCR			0						
	PTA			0						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
Total										13





### □ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 4 CRs) (Perm..) built in (Yr. ? ) by ( )
	Block 02 ( Admi CRs) (Perm.) built in (Yr. ? ) by ( )
	Block 03 ( CRs) ( ) built in (Yr. ) by ( )
No. Staff quarters	Temporary houses: ( 6 ) but not on site
	# of Teacher staying in SQs: ( 6 ) In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 4 ), Female: ( 5 ) >> Total ( 9 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available Shower room for emergency taking account of girls education especially with menstruation care
Water:	Borehole 500m away from the site
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Personal mobile
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing special, but storm is recorded according to the explanation of Head teacher

### □ 4 Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms blocks (currently lack of classrooms for lower grade classes)</li> <li>▪ Latrines,</li> <li>▪ Staff house and</li> <li>▪ Water</li> </ul>
---

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Well maintained school compound: it is large big to hold an several events in the area.</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	
<p>Hand-made learning material</p>	<p>Latrines and shower room</p>
<p>6 temporary houses available but forgot to take</p>	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Shower room is prepared for enrolling girls taking account of menstrual emergency, uniforms are also stocked for changing cloth.</p>

## 09: Yumbe District, Kochi Sub-County, Lokopio Primary School

### □ 1 Information about School:

School name:	Lokopio PS	Yr. of Est.	1972 (taken by GoU)
Address:		Parish	Ombaci
Tel:	0783-435611/0783836761		
E-mail:	-		
Contact person:	Goroa Toha Abdulahi		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
				Refugee			Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	7	19	26	92	116	208	300	
	Gr. 2	1	6	10	16	82	89	171	187	
	Gr. 3	1	6	5	11	73	69	142	153	
	Gr. 4	1	9	7	16	52	48	100	116	
	Gr. 5	1	10	16	26	50	34	84	110	
	Gr. 6	1	3	4	7	55	34	89	96	
	Gr. 7	1	1	1	2	15	5	20	22	
No. of Disables	Visual	9 Males, 07 females		Hearing		04 males, 06 Females		Others		
	Physical	1 female, 1 Male		Mental		01 Male		Total		
Staff				13						
Teaching staff	GoU			13						
	UNHCR			0						
	PTA			0						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
Total				13						

### □ 3 Information about school facilities



No. of Block	Block 01 ( 3 CRs) (Perm..) built in (Yr.) by ( GOU- Sub county )
	Block 02 ( 2 CRs) (Perm. ) built in (Yr. 2002/3) by (GoU_ SFG)
	Block 03 ( 4 CRs) (S.Perm. ) built in (Yr. ) by ( Community)
No. Staff quarters	Hut: ( 5 )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( )
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 6 )In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 4 ), Female: ( 4 )>> Total ( 8 ) stances
	Teacher: Male:( 2 ), Female: ( 1 )>> Total ( 3 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available None
Water:	Borehole within site
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing special



□ 4 Request

- Classrooms blocks
- Latrines,
- Staff house and
- Water (current borehole not productive)

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>

**10: Yumbe District, Odravu Sub-County, Kulikulinga Islamic Primary School**

**1 Information about School:**

School name:	Kulikulinga Islamic PS	Yr. of Est.	As a community in 1956, Taken by Government in 1997
Address:		Parish	Oluba
Tel:	0782-021924		
E-mail:	-		
Contact person:	Dramadri Toha		

**2. Students and Staff**

Shift	1 Shift								
	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
			Refugee			Male	Female	Total	
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	1	0	1	170	152	322	323
	Gr. 2	1	0	0	0	114	90	204	204
	Gr. 3	1	1	0	1	103	99	202	203
	Gr. 4	1	0	0	0	98	78	176	176
	Gr. 5	1	0	0	0	77	58	135	135
	Gr. 6	1	0	0	0	48	43	91	91
	Gr. 7	1	0	0	0	20	06	26	26
No. of Disables	Visual	1 Males		Hearing		0		Others	0
	Physical	0		Mental		0		Total	0
Staff			19						
Teaching staff	GoU		19						
	UNHCR		0						
	PTA		1						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		3						
Total			23						

**3 Information about school facilities**

No. of Block	Block 01 ( 2 CRs) (Perm..) built in (Yr.2002/3) by ( GOU- Sub county )
	Block 02 ( 2 CRs) (Perm. ) built in (Yr. 2002/3 ) by ( GoU_ SFG)
	Block 03 ( 2 CRs) (.Perm. ) built in (Yr. 2017) by ( GoU-SFG)
	Block 04 ( 1 CRs) (. Semi Perm. ) built in (Yr. 2000) by ( Community but dilapidated)
No. Staff quarters	Hut: ( 4 )
	Single SQ: ( 2 )- semi permanent
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( )
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 6 )In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 5 ) >> Total ( 10 ) stances
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances
Other facilities	Store in dilapidated house
Water:	Piped water, Well (Borehole within site but broken down not repairable)
Electricity	No Power, only one classroom connected using solar.
Communication	TEL(Fixed line), Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing special except the water table is so high as such toilets being sunk are filled with water

**4 Request**

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ At least 5 Classrooms blocks</li> <li>▪ Latrines,</li> <li>▪ Staff house</li> <li>▪ Water (current borehole broken- not repairable),</li> </ul>
--

□ 5. Photos



Classroom / Administrative Block -Staffroom under tree



Classroom / Administrative Block + store



Classroom (Interior)



Latrines



Borehole –Broken, 2 Toilet being excavated filled



Staff Quarters



Staff Quarters

セクター：教育（初等教育） 案件番号：E-2
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB

項目	内容
案件名	西ナイル東部地域（Adjumani 県・Moyo 県）初等教育施設改善計画
案件概要	Ajumani 県・Moyo 県の中で、難民流入の影響を大きく受けている難民居住地を抱えるサブカウンティ（以下、「郡」）において 10 校の学校における教室・教員住居・トイレの増築。
実施背景	西ナイル地域では、2016 年の 6 月以降、南スーダンから難民の流入が続いており、2017 年 7 月末時点で 75 万人に達している。その約 25%にあたる 19 万人の学齢人口（6-12 歳）の増加により、難民を受け入れる教育施設では学生が急増し、教育環境が悪化している。Adjumani 県・Moyo 県では、2016 年 6 月からの約 1 年間で増加した 7.5 万人の学齢人口（6-12 歳）に対し、初等教育課程では約 1,480 の新規教室が必要な状況にある。現在、学校によっては木陰を利用した屋外での授業を強いられ、天候に左右されることから安定して授業を実施することが不可能な状況である。また運営上の課題として、学生数の増加から、難民居住区に隣接する学校では 5,000 人/校に上る学生を抱え、1 クラス 400 人以上（Primary 1：1 年生の場合）となり、教育の質を確保した授業の実施が困難な状況にある。さらに本計画対象地域が難民居住地を抱える郡であり、基本的に都市部から離れた遠隔地であるため、教員用住居の設置が必要である。しかし教室の不足と共に教員住居の整備が立ち遅れており、都市部からの通勤時間の長さや未舗装路による不安定な交通事情により、教員の欠勤や遅刻も大きな課題となっている。このため教育環境の改善という観点から、教室・トイレとともに教員住居の施設整備のニーズは高く、県の開発計画においてもこれらを一体とした施設整備を重点分野として位置付けている。
対象地域	Adjumani 県 Ukusijoni・Dzaipi・Pakele 郡、及び Moyo 県 Itula 郡
事業目的	プロジェクト目標：Adjumani 県・Moyo 県の難民の流入により教育環境に大きな影響を受けている難民居住地を抱える郡において初等教育へのアクセス及び学習環境が改善される。 成果：対象地域において初等教育施設が拡充される。
受益者	直接受益者：Adjumani 県 Ukusijoni・Dzaipi・Pakele 郡と隣接難民居住地の学生 1,750 人及び教員 20 人、Moyo 県 Itula 郡と隣接難民居住地の学生 1,750 人及び教員 20 人、計 3,580 人 間接受益者：Adjumani 県 Ukusijoni・Dzaipi・Pakele 郡、Moyo 県 Itula 郡及び同郡隣接難民居住地の住民 451,875 人 (注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：教育スポーツ省 計画局 施設計画内容の承認 県：Adjumani 県教育局・Moyo 県教育局：施設計画内容の審査・建設中の進捗管理・建設後の維持管理・必要な教員及び職員の配置計画と予算充当を行う。 国際機関：県との協議により、一部教員配置に係る予算充当が想定される。
事業実施体制	調達代理機関活用無償 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：調達代理機関が現地コンサルタントに発注 施 工：調達代理機関が現地建設会社に発注 施工監理：調達代理機関がコンサルタントを新たに選定して雇用 モニタリング：Adjumani 県及び Moyo 県教育局
事業費概算	基本コンポーネント費用：12.4 億円 各校以下の施設コンポーネントで構成する。 ・教室棟（2 教室/棟）x2 棟 ・教室棟（3 教室/棟）x1 棟 ・事務管理棟 x1 棟 ・トイレ棟（5 便房/棟）x3 棟（男子、女子、教員用各 1 棟） ・教員住居用トイレ棟（2 便房、2 シャワー室/棟）x2 棟 ・教員住居（2 住戸/棟）x2 棟 ・教育機材（教科書は含まない）、家具 計画面積：10882.55m <sup>2</sup> ：1,088.25m <sup>2</sup> /既存校サイト x10 既存校サイト 事業費内訳： 建設費：10.1 億円

項目	内容
	<p>機材費：0.2 億円 設計費・調達代理機関費：2.1 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：土質条件、天候や治安等の不可抗力による工事遅延による間接経費の増加</p>
工期・施工計画概略	<p>準備調査・EN/GA・調達代理機関契約：12ヶ月 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：10ヶ月 建設工期：1.5 年 施工計画：2.3 ロットに分けて現地建設会社により施工</p>
サイト状況	既存校であり、現場でのヒアリングにより自然災害履歴のないことを確認
評価基準案	<p>妥当性</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの裨益対象 ウガンダ国の包括的な難民支援を推進する地域開発の方針に則し、難民の流入の影響を強く受ける難民居住区を抱える郡の住民を対象とする。</li> <li>プロジェクト目標と緊急性 難民の流入により悪化した教育指標：一教員当たりの学生数（PCR）や、一教員当たりの学生数（PTR）の早急の改善が求められる。</li> <li>中・長期的開発計画の目標達成への貢献 国家開発計画（NDP2015/16-2019/20）の中で、教育セクターの開発は、保健や水衛生等のセクターと共に「人的資本の開発の強化」（Enhancing human capital development）と言う目標の下に位置付けている。</li> <li>我が国の援助政策・方針との整合性 経済成長を実現するための環境整備 日本の技術や知見を活かした案件形成に留意しつつ、インフラ整備を通じて、ウガンダの持続可能な経済成長の実現への貢献に対し、産業基盤となる人材の能力・技術力向上貢献を図るための礎となる基礎教育における教育環境の改善を図る本プロジェクトの実施は妥当性と判断される。</li> </ol> <p>有効性</p> <p>[定量的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施 3 年後における就学率</li> <li>事業実施 3 年後における新設教室での年間授業時間数</li> </ul> <p>[定性的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室や教育機材の数の不足が解消され、学生の学習環境及び教員の労働環境が改善する。</li> <li>実習室及び実習機材が質・量ともに改善され、カリキュラムが適切に実施される。</li> </ul>
平和構築の視点及び実施上の留意点	<p>難民の受け入れにおいては、言語の壁がないように必要に応じて通訳の配置、学びの遅れ（学習から遠のいていたことで、学習レベルに遅れが出ている学生）に応じて ALP（Accelerated Learning Programme）実施を推奨するなどの方策が望まれる。</p> <p>また、学習状況は栄養状態によっても左右されるため、食糧配給が安定していることが重要となる。支援団体のみならず、コミュニティ参画での昼食プログラムの実施拡充を図る学校での受け入れが望まれる。</p> <p>また、学校をコミュニティの相互理解や対話の場としても活用することができることから、「開かれた施設」として、夜間や休日、コミュニティが利用できるようにする。但し、その際に一部の部族による占有等がないように配慮する。</p> <p>対象となる郡及び Z/S</p> <p>Adjumani 県：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Ukusijoni 郡及び Maaji 1, 2, 3 Settlement</li> <li>Dzaipi 郡及び Pagirinya Settlement, Nyumanzi Settlement Elema Settlement, Baratuku Settlement</li> <li>Pakele 郡及び Boroli Settlement, Olua1 Settlement, Olua1 2 Settlement)</li> </ul> <p>Moyo 県：Itula 郡 Palorinya Settlement のうち Zone 1, 2, 3</p>

別添資料

別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

別添資料 2：計画対象校概要

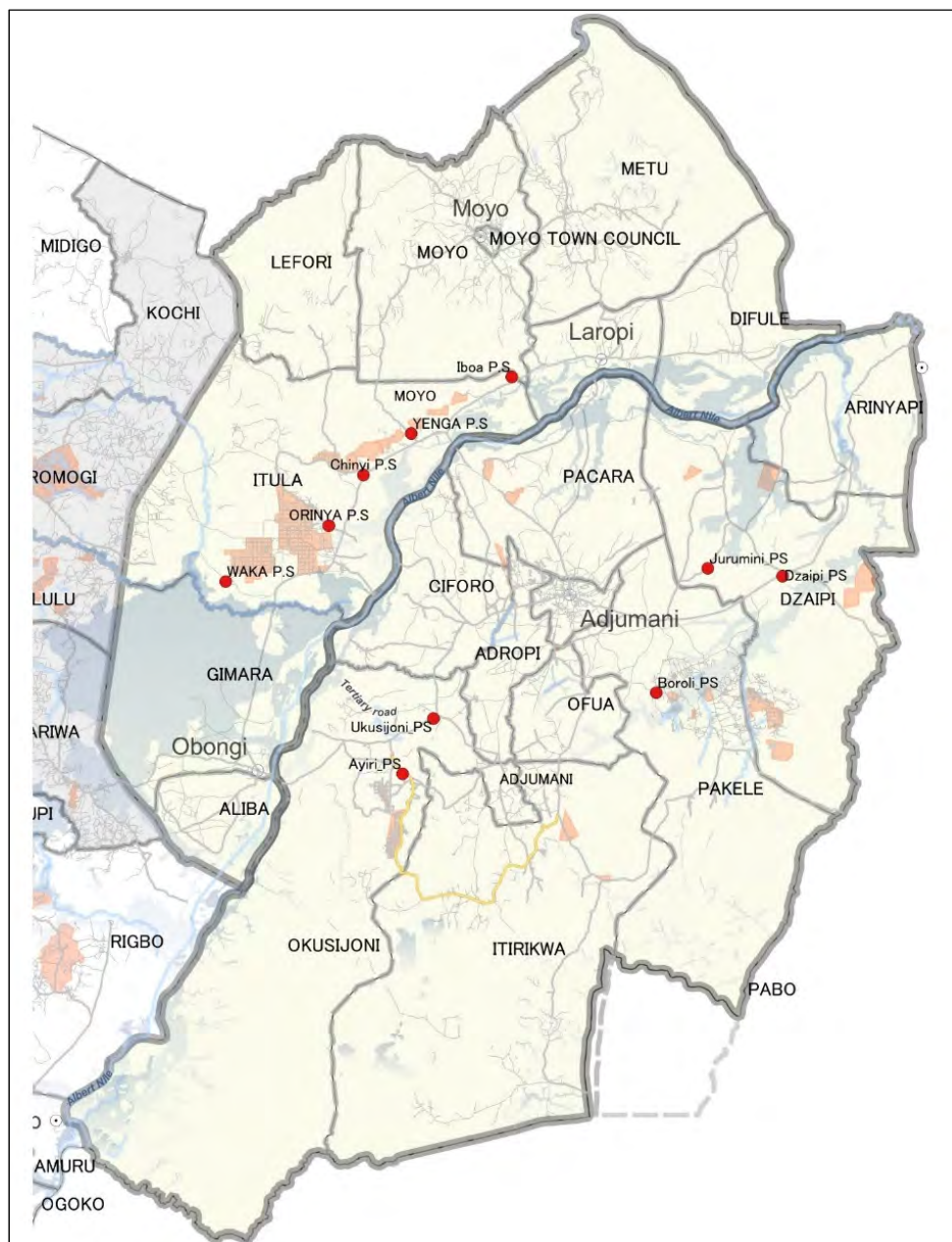
別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

□計画対象校一覧表

No.	県	郡	スコア	学校名	学生数			教室数		学生数/教室
					難民	ウ国民	合計	本設	仮設	PCR
01	Adjumani	Ukusijoni	28	Ayiri_PS	171	526	697	8	4	58
02	Adjumani	Ukusijoni	28	Ukusijoni_PS	0	821	821	13 (5 out of use)	0	103
03	Adjumani	Dzaipi	19	Dzaipi_PS	22	945	967	7	8	64
04	Adjumani	Dzaipi	19	Jurumini_PS	0	297	297	6	1	42
05	Adjumani	Pakele	16	Boroli_PS	857	498	1355	12	0	113
06	Moyo	Itula	30	YENGA.P.S	1698	396	2094	10	11	100
07	Moyo	Itula	30	ORINYA.P.S	1449	156	1605	10	16	62
08	Moyo	Itula	30	Chinyi.P.S	2052	287	2339	8	0	292
09	Moyo	Itula	30	Iboa.P.S	747	252	999	8	11	53
10	Moyo	Itula	30	WAKA.P.S	894	102	996	10	11	47

PS: 小学校

□計画対象校位置図



●本計画対象校を示す。

別添資料 2 : 計画対象校概要 \*各校の以下情報を添付する。

**01: Adjumani District, Ukusijoni Sub-County, Ayiri Primary School**

**1. Information about School:**

School name:	AYIRI PS	Yr. of Est.	1997
Address:	P.O.Box 77 Adjumani	Parish	Ayiri
Tel:	0782480114 for head teacher, 0785513953 for deputy head teacher and 0787629948 for SMC chairman		
E-mail:	-		
Contact person:	Vukereda Fred – head teacher; Agasi Stephen – deputy head teacher and Le`yoga Emmanuel – SMC chairman		

**2. Students and Staff**

Shift	1 Shift / 2 Shift									
	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total	
			Refugee			Male	Female	Total		
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Primary	Gr. 1	1	12	9	21	53	54	107	128	
	Gr. 2	1	9	12	21	26	36	62	83	
	Gr. 3	1	12	12	24	41	42	83	107	
	Gr. 4	2	15	16	31	47	69	116	147	
	Gr. 5	1	12	13	25	28	33	61	86	
	Gr. 6	1	18	10	28	29	38	67	95	
	Gr. 7	1	13	8	21	22	8	30	51	
No. of Disables	Visual	20	Hearing		?		Others		20	
	Physical	?	Mental		?		Total		40	
Staff										
Teaching staff	GoU		3							
	UNHCR		8							
	PTA		0							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		2							
Total										13

**3. Information about school facilities**

No. of Block	Block 01 ( 4 CRs) (Perm. Semi-P. Temp.) built in (Yr. 1997) by ( government )
	Block 02 ( 4 CRs) (Perm. Semi-P. Temp.) built in (Yr. 2003) by ( government )
	Block 03 ( 4 CRs) (Perm. Semi-P. Temp.) built in (Yr. ? ) by ( government )
	Block 02 ( CRs) (Perm. Semi-P. Temp.) built in (Yr. ) by ( )
No. Staff quarters	Block 03 ( CRs) (Perm. Semi-P. Temp.) built in (Yr. ) by ( )
	Hut: ( 7 ) temporary
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Teacher staying in SQs: ( 13 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 10 ), Female: ( 10 )>> Total ( 20 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 )>> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available Makeshift kitchen
Water:	borehole
Electricity	Solar panel, the solar is not in use because it is spoilt
Communication	Mobile for head teacher
Land right	Government, Private, Community
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

**4. Request**

1. Teachers Quarters complete with Kitchen and latrines
2. Latrines for teachers while at school
3. Changing room for girls

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	<p>School has no borehole</p>
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>



## 02: Adjumani District, Ukusijoni Sub-County, Ukusijoni Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	Ukusijoni PS	Yr. of Est.	???
Address:	P.O.Box 183, Adjumani	Parish	Payaru
Tel:	0771669477 for head teacher; 0779143573 for deputy head teacher		
E-mail:	-		
Contact person:	Abuni Johnson – head teacher and Gama Robert – deputy head teacher		

### □ 2. Students and Staff

Shift	Grade	No. Stream	1 Shift / 2 Shift						
			No. of student			National			
			Refugee			Male	Female	Total	G.Total
Primary	Gr. 1	1	0	0	0	68	79	147	<b>147</b>
	Gr. 2	1	0	0	0	36	56	92	<b>92</b>
	Gr. 3	2	0	0	0	76	76	152	<b>152</b>
	Gr. 4	2	0	0	0	75	80	155	<b>155</b>
	Gr. 5	2	0	0	0	62	79	141	<b>141</b>
	Gr. 6	1	0	0	0	43	29	72	<b>72</b>
	Gr. 7	1	0	0	0	38	24	62	<b>62</b>
No. of Disables	Visual		Hearing			Others			
	Physical		Mental			Total		<b>25</b>	
Staff									
Teaching staff	GoU				12				
	UNHCR				0				
	PTA				3				
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.				3				
					<b>Total</b>	<b>18</b>			








### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. ) by ( EDF/MPP )
	Block 02 ( 2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 2003 ) by ( UNHCR )
	Block 03 ( 2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 2003 ) by ( UNHCR )
	Block 02 ( 1 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 1997 ) by ( JRC )
	Block 03 ( 1 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 1997 ) by ( JRC )
	Block 03 ( 5 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 1997 ) by ( JRC )not in use
No. Staff quarters	Hut: ( 1 )	
	Single SQ: ( 0 )	
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )	
	4 in 1 SQ: ( 0 )	
		# of Teacher staying in SQs: ( 6 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 4 ) stances	
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances	
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available None of the above	
Water:	Borehole 800metres away	
Electricity	Grid, Solar panel, not available none	
Communication	Mobile for the head teacher	
Land right	Government	
Land availability	Enough for expansion	
Disaster records	Nothing Special	

### □ 4. Request

1. Teachers Quarters
2. Classrooms
3. Pupils toilet, Changing room for girls

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	<p>School has no borehole and community borehole is far from the school</p>
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>

### 03: Adjumani District, Dzaipi Sub-County, Dzaipi Primary School

#### □ 1. Information about School:

School name:	Dzaipi PS	Yr. of Est.	1942
Address:	P.O.Box 158 Adjumani	Parish	Mgbere
Tel:	0772312839 for head teacher; 0772932315 for SMC chairman		
E-mail:			
Contact person:	Drali Drani Charles – Head teacher and Loka Festo – SMC chairman		

#### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift / 2 Shift								
	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
			Refugee			Male	Female	Total	
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	2	5	7	12	75	83	158	170
	Gr. 2	2	0	0	0	65	86	151	151
	Gr. 3	3	0	0	0	71	76	147	147
	Gr. 4	3	3	0	3	68	96	164	167
	Gr. 5	2	1	1	2	69	76	145	147
	Gr. 6	2	0	0	0	53	73	126	126
	Gr. 7	2	4	1	5	32	22	54	59
No. of Disables	Visual		Hearing			Others			
	Physical		Mental			Total			86
Staff									
Teaching staff	GoU			9					
	UNHCR			0					
	PTA			2					
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		2						
				Total		13			

#### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 4CRs) (Perm.) built in (Yr. ? ) by ( ??? )
	Block 02 ( 3CRs) (Perm.) built in (Yr. ? ) by ( SFG )
	Block 03 ( 4CRs) (Semi-P.) built in (Yr. ? ) by ( NURP )
	Block 04 ( 4CRs) (Semi-P.) built in (Yr. ? ) by ( NURP )
No. Staff quarters	Hut: ( 1 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
# of Teacher staying in SQs: ( 8 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 15 ), Female: ( 15 )>> Total ( 30 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 )>> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available None of the above
Water:	borehole with poor yield
Electricity	Grid for office and P7 class
Communication	Mobile, for the head teacher
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

#### □ 4. Request

1. Teachers quarters
2. Classrooms
3. Fencing

□ 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom / Administrative Block
	
Classroom / Administrative Block (Interior)	Classroom / Administrative Block (Interior)
	
Latrines	Borehole
	
Staff Quarters	Staff Quarters

#### 04: Adjumani District, Dzaipi Sub-County, Jurumini Primary School

##### □ 1. Information about School:

School name:	Jurumini PS	Yr. of Est.	1988
Address:	P.O.Box 196, Adjumani	Parish	Ajugopi
Tel:	0776371591 – head teacher		
E-mail:			
Contact person:	Selle Leone		

##### □ 2. Students and Staff

Shift	Grade	No. Stream	1 Shift / 2 Shift						
			Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	G.Total
Primary	Gr. 1	1	0	0	0	36	16	52	52
	Gr. 2	1	0	0	0	16	22	38	38
	Gr. 3	1	0	0	0	26	18	44	44
	Gr. 4	1	0	0	0	36	38	74	74
	Gr. 5	1	0	0	0	15	23	38	38
	Gr. 6	1	0	0	0	14	15	29	29
	Gr. 7	1	0	0	0	10	12	22	22
No. of Disables	Visual		Hearing					Others	
	Physical		Mental					Total	
Staff									
Teaching staff	GoU		8						
	UNHCR		0						
	PTA		1						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		1						
Total			10						

##### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 1 CRs) (Semi-P) built in (Yr. 1996 ) by ( government under NURP)
	Block 02 ( 4 CRs) (Perm.) built in (Yr.2005 ) by (government under NUSAF )
	Block 03 ( 2 CRs) (Perm.) built in (Yr.2014 ) by (LWF )
No. Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 1 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 1 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Teacher staying in SQs: (4 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 3 ) >> Total ( 8 ) stances
	Teacher: Male:(1), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available None of the above
Water:	NO - use the one of the community which is about 900meters away.
Electricity	NO
Communication	NO
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special, but Storm and Lightning

##### □ 4. Request

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Classrooms</li> <li>2. Teachers Quarters</li> <li>3. VIP latrines</li> <li>4. Library</li> <li>5. Fencing</li> <li>6. Power</li> </ol>
--

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	 <p>Borehole School has no borehole. There is an underground tank where rain water from the roof is collected and then hand pumped for use.</p>
<p>Latrines</p>	
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>

## 05: Adjumani District, Pakele Sub-County, Boroli Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	Boroli PS	Yr. of Est.	1973
Address:	-	Parish	Boroli
Tel:	0773797895 for head teacher; 0774277853 for deputy H/T and 0785565233 for SMC chairman		
E-mail:	-		
Contact person:	Edea Esther – head teacher; Minzira Florence – Deputy H/T; Odendi Michael -SMC chairman		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift / 2 Shift (morning – normal PS; afternoon – accelerated learning Program )									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
				Refugee			Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	2	67	42	<b>109</b>	45	44	<b>89</b>	<b>198</b>	
	Gr. 2	2	75	65	<b>140</b>	54	46	<b>100</b>	<b>240</b>	
	Gr. 3	2	84	86	<b>170</b>	45	42	<b>87</b>	<b>257</b>	
	Gr. 4	2	87	82	<b>169</b>	44	40	<b>84</b>	<b>253</b>	
	Gr. 5	2	87	65	<b>152</b>	40	34	<b>74</b>	<b>226</b>	
	Gr. 6	1	39	30	<b>69</b>	27	18	<b>45</b>	<b>114</b>	
	Gr. 7	1	29	19	<b>48</b>	13	6	<b>19</b>	<b>67</b>	
No. of Disables	Visual		7	Hearing			6	Others	1 - epileptic	
	Physical		6	Mental			0	Total	<b>20</b>	
Staff										
Teaching staff	GoU		2							
	UNHCR		0							
	PTA		0							
	Windle Trust		19							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		3							
			Total			<b>24</b>				

### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 4 CRs) (Perm.)	built in (Yr.1998 ) by (government )	Old structure
	Block 02 ( 4 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 1998 ) by (government )	old structure
	Block 03 ( 2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 2015 ) by ( LWF )	
	Block 04 (2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 2015 ) by ( LWF )	
	Block 05 (2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 2015 ) by ( LWF )	
	Block 06 (2 CRs) (Perm.)	built in (Yr. 2015 ) by ( LWF )	
No. Staff quarters	Hut: ( 2 )		
	Single SQ: ( 2 ) – semi permanent		
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 3 )		
	4 in 1 SQ: ( 0 )		
		# of Teacher staying in SQs: ( 20 )	In total
# of stance of Toilet	Student: Male: ( 9 ), Female: ( 8 )	>> Total ( 17 ) stances	
	Teacher: Male: ( 0 ), Female: ( 0 )	>> Total ( 0 ) stances. Teachers go to the staff Quarters for toilet	
Other facilities	Small kitchen		
Water:	Piped water, within site motorized borehole		
Electricity	Solar panel for the motorized borehole and for 2 classes		
Communication	Mobile for head teacher		
Land right	Government		
Land availability	Enough for expansion		
Disaster records	Nothing Special		

### □ 4. Request

1. Classroom block of 4 classes
2. Teachers quarters
3. Teachers latrine at school

□ 5. Photos

		
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>	
		
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Staff Quarters</p>
		
<p>Latrines</p>	<p>Borehole motorized borehole – upper picture shows reservoir tanks and lower picture shows standpipes in the compound.</p>	



## 06: Moyo District, Itula Sub-County, Yenga Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	Yenga PS	Yr. of Est.	1995
Address:		Parish	Yenga
Tel:	0787-146794		
E-mail:	-		
Contact person:	Jobile Nazereno		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift								
Students	Grade	No. Stream	No. of student						G.Total
			Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	2	149	138	287	30	34	64	351
	Gr. 2	2	108	94	202	41	41	82	290
	Gr. 3	2	121	127	248	36	43	79	227
	Gr. 4	2	149	106	255	33	28	51	316
	Gr. 5	2	142	125	267	29	31	60	327
	Gr. 6	2	108	107	215	23	11	34	249
	Gr. 7	2	132	92	224	19	7	26	250
No. of Disables	Visual		0		Hearing		2		Others
	Physical		1		Mental		0		Total
Staff									
Teaching staff	GoU		10						
	UNHCR		12						
	PTA		0						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.								
Total			22						









### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (2 CRs) (Perm.) built in (Yr. 2000) by ( GoU- SFG )
	Block 02 (2 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2004) by ( GoU- SFG )
	Block 03 (4 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2004) by ( GoU- SFG )
No. Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 6 ) In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 10 ), Female:( 10 ) >> Total ( 20 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female:( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
Other facilities	Kitchen, Dinning, Auditorium, Gym, Laboratory, Workshop etc., if available
Water:	Piped water, Well (borehole within site.)
Electricity	No Power
Communication	TEL(Fixed line), Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 8 Classrooms blocks</li> <li>▪ Library</li> <li>▪ 2 Blocks Latrines</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Light</li> </ul>
--

□ 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom / Administrative Block
	
Classroom / Administrative Block (Interior)	Classroom / Administrative Block (Interior)
	
Latrines	Borehole
	
Staff Quarters	Staff Quarters

## 07: Moyo District, Itula Sub-County, Orinya Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	OrinyaPS	Yr. of Est.	1965
Address:		Parish	Legu
Tel:	0782883945/0783-858514		
E-mail:	-		
Contact person:	Dayo Concy Madra/ Pili Venson Paskas		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
				Refugee			Male	Female	Total	
				Male	Female	Total	Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	1	87	75	162	13	13	26	188	
	Gr. 2	1	94	100	194	9	16	25	219	
	Gr. 3	1	103	111	214	12	12	24	238	
	Gr. 4	1	113	108	221	9	15	24	245	
	Gr. 5	1	114	112	226	15	11	26	252	
	Gr. 6	1	186	184	370	18	9	27	397	
	Gr. 7	1	32	31	62	0	4	4	67	
No. of Disables	Visual	0		Hearing		1		Others		
	Physical	1		Mental		2		Total 3		
Staff										
Teaching staff	GoU		10							
	UNHCR		14							
	PTA		0							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
Total										24

### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (2 CRs)(Perm.) built in (Yr 2000s -Not sure) by (GoU-SFG)
	Block 02 (2 CRs) (Perm..) built in Yr 2000s -Not sure) by( GoU -SFG)
	Block 02 (4 CRs) (Perm..) built in (Yr 2000s.) by ( UNHCR)
No. Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 8 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:(10), Female: ( 5 )>> Total (5) stances
	Teacher: Male:( 0), Female: ( 0 )>> Total ( 0 ) stances
Other facilities	Staff room available though not enough
Water:	Piped water available
Electricity	No Power
Communication	TEL(Fixed line), Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Light</li> <li>▪ Furniture</li> <li>▪ No foot ball ground</li> </ul>
---

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	
<p>Latrines</p>	<p>Borehole- Water Kiosk</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>

## 08: Moyo District, Itula Sub-County, Chinyi Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	Chinyi PS	Yr. of Est.	1972
Address:		Parish	Paluju
Tel:	0774401515		
E-mail:	-		
Contact person:	Obuni Severino		

### □ 2. Students and Staff

Shift	2 Shifts from P3, P4 come in the afternoon and P1 and P2 in the morning									
Students	Grade	No. Stream	No. of student							G.Total
			Refugee			National				
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Primary	Gr. 1	2	112	115	227	11	8	19	246	
	Gr. 2	2	97	109	206	25	11	36	242	
	Gr. 3	2	156	127	283	17	24	41	324	
	Gr. 4	3	162	177	337	29	33	62	399	
	Gr. 5	3	135	171	306	33	43	76	382	
	Gr. 6	4	232	246	489	15	19	34	523	
	Gr. 7	2	118	86	204	9	10	19	223	
No. of Disables	Visual		4		Hearing		33		Others	
	Physical		3		Mental				Total	
Staff										
Teaching staff	GoU		10							
	UNHCR		35							
	PTA		0							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
		Total	45							

### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (2 CRs) (Perm.) built in (Yr 2001) by ( GoU- SFG )
	Block 02 (2 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2001) by ( GoU- SFG )
	Block 02 (4 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2001) by ( GoU-SFG )
No. Staff quarters	Hut: (3)
	Single SQ: (1)
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) (1)
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 14 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 10 ), Female: ( 10 ) >> Total ( 20 ) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2 ) stances
Other facilities	
Water:	Piped water, Well (Borehole within the site,)
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Light</li> <li>▪ Furniture</li> </ul>
--

□ 5. Photos

	
Classroom / Administrative Block	Classroom / Administrative Block
	
Classroom / Administrative Block (Interior)	Classroom / Administrative Block (Interior)
	
Latrines	Borehole
	
Staff Quarters	Staff Quarters

## 09: Moyo District, Itula Sub-County, Iboa Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	Iboa PS	Yr. of Est.	1979
Address:		Parish	Ubbi
Tel:	0772-910535		
E-mail:	-		
Contact person:	Oyaru Liliias		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift									
	Students	Grade	No. Stream	No. of student			National			G.Total
				Refugee			Male	Female	Total	
Primary	Gr. 1	2	124	120	244	26	18	44	288	
	Gr. 2	1	60	59	119	18	16	34	153	
	Gr. 3	1	52	53	105	14	20	34	139	
	Gr. 4	1	63	39	102	27	23	50	152	
	Gr. 5	1	47	36	83	17	21	38	121	
	Gr. 6	1	56	38	94	21	10	31	125	
	Gr. 7	1	0	0	0	9	10	21	21	
No. of Disables	Visual	M-5, F-3		Hearing		M-6, F-7		Others		
	Physical	M-2, F-4		Mental				Total	27	
Staff										
Teaching staff	GoU		8							
	UNHCR		15							
	PTA		0							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.									
			Total		23					

### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (2 CRs) (Perm.) built in (Yr 2008 ) by ( EC )
	Block 02 (2 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2008) by ( EC )
	Block 02 (2 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2011) by ( GoU- SFG )
	Block 02 (2 CRs) (Perm..) built in (Yr. 2011) by ( GoU- SFG )
No. Staff quarters	Hut: ( 2 dilapidated huts )
	Single SQ: ( )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( )
	# of Teacher staying in SQs: ( 6 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 (dilapidated) ), Female: ( 5 (dilapidated) ) >> Total ( 10 ) stances
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances
Other facilities	
Water:	Piped water, Well ( Borehole 200m away in the refugee community.)
Electricity	No Power
Communication	TEL(Fixed line), Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Nothing special

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Classrooms blocks, Library</li> <li>▪ Latrines</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Fencing</li> <li>▪ Light</li> </ul>
---

□ 5. Photos



Classroom / Administrative Block



Classroom / Administrative Block



Classroom / Administrative Block (Interior)



Classroom / Administrative Block (Interior)



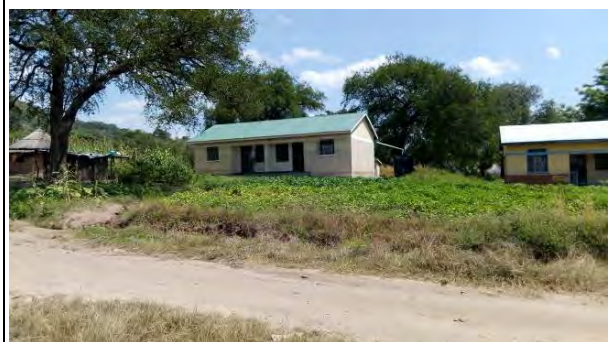
Latrines



Borehole



Staff Quarters



Staff Quarters



## 10: Moyo District, Itula Sub-County, Waka Primary School

### □ 1. Information about School:

School name:	Waka PS	Yr. of Est.	1993
Address:		Parish	Waka
Tel:	0782-835141/0780964956		
E-mail:	-		
Contact person:	Rokani Anjeliko/Moga Kwori Patrick		

### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift								
	Students	Grade	No. Stream	No. of student			National		
				Refugee			Male	Female	Total
Primary	Gr. 1	2	58	62	120	6	6	12	132
	Gr. 2	1	51	66	117	3	5	8	125
	Gr. 3	1	65	75	140	8	12	20	160
	Gr. 4	1	73	77	150	12	15	27	177
	Gr. 5	1	78	82	160	3	8	11	171
	Gr. 6	1	59	64	123	5	6	11	134
	Gr. 7	1	46	38	84	11	2	13	97
No. of Disables	Visual		1	Hearing		0	Others		
	Physical		1	Mental		1	Total		3
Staff									
Teaching staff	GoU		10						
	UNHCR		11						
	PTA		0						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.								
			Total	21					

### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (2CRs) (Perm.) built in (Yr-2004 ) by ( NUSAF 1)
	Block 01 (2CRs) (Perm.) built in (Yr-2004 ) by ( NUSAF 1)
	Block 03 (2CRs) (Perm..) built in (Yr. 2014) by ( NUSAF 2 )
	Block 04 (2CRs) (Perm..) built in (Yr. 2014) by ( NUSAF 2 )
No. Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 2 )
	4 in 1 SQ: ( )
# of Teacher staying in SQs: ( 16 )In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 5 ) >> Total (10) stances
	Teacher: Male:( 0 ), Female: ( 0 ) >> Total ( 0 ) stances
Other facilities	
Water:	No Water- Nearest borehole is 2km-3Km always
Electricity	No Power
Communication	TEL(Fixed line), Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: Yes
Disaster records	Flooding for the first time since 1993, forced the school to close for month from October 25 up to date. School will open 28/11/2017.

### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 3 Classrooms</li> <li>▪ Latrines need- almost full, Water source needed-Borehole</li> <li>▪ Teachers houses</li> <li>▪ Fencing, Light, Furniture</li> </ul>
--

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block</p>	<p>Classroom / Administrative Block</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	<p>No Borehole</p>
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Staff Quarters</p>	<p>Staff Quarters</p>

セクター：教育（中等教育） 案件番号：E-3
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB

項目	内容
案件名	西ナイル西部地域（Arua 県・Koboko 県及び Yumbe 県）中等教育施設改善計画
案件概要	西ナイル西部地域（Arua 県・Koboko 県及び Yumbe 県）の中で、難民流入の影響を最も大きく受けている難民居住地を抱えるサブカウンティ（以下、「郡」）において、前期及び後期中等教育課程を提供する地方部でのモデルとなる中学校を建設する。遠隔地の学生の教育へのアクセス改善を図るため、学生定員の 1/3 の規模の学生寮を計画する。
実施背景	西ナイル地域の難民居住区を抱える 5 県（Adjumani 県・Arua 県・Koboko 県・Moyo 県及び Yumbe 県）では、2016 年の 6 月以降、南スーダンから難民の流入が続いており 2017 年 7 月末時点で 75 万人に達している。その約 23%にあたる 17.5 万人の学齢人口（13-18 歳）の増加により、難民を受け入れる教育施設では学生の急増により教育環境が悪化している。本計画対象の西ナイル西部地域での 2016 年 6 月からの約 1 年間に増加した学齢人口（13-18 歳）120,000 人（ウガンダ国民+難民）に対し、中等教育課程で約 650 の新規教室が必要な状況にある。中等教育施設は都市部に多く、地方部では少ない。例えば地方部では隣接する中学校までの距離が 20 km に及ぶ地域も存在し、中等教育へのアクセスが困難である。また地方部の多くの中学校では、後期中等教育の実施に必要な施設の整備が進んでおらず、後期中等以降の教育へのアクセスが実質不可能な状況にある。さらに本計画対象地域が難民居住地を抱える郡であり、基本的に都市部から離れた地方の遠隔地であるため、安定した学校運営の観点から学生寮や教員用住居の設置が不可欠である。しかし教室と共に教員住居・学生寮の整備も遅れている。特に教員に関しては都市部からの通勤時間、未舗装路による不安定な交通事情による欠勤や遅刻が大きな課題となっている。教育環境の改善を図るうえで、教室・トイレとともに学生寮・教員住居を合わせた施設のニーズは高く、県の開発計画においてもこれらを一体とした整備を重点分野に位置付けている。
対象地域	Arua 県 Uriama 郡・Koboko 県 Lobule 郡・Yumbe 県 Ariwa 郡
事業目的	プロジェクト目標：Arua 県・Koboko 県及び Yumbe 県の難民の流入により教育環境に大きな影響を受けている難民居住地を抱える郡において中等教育へのアクセス及び学習環境が改善される。 成果：対象地において中等教育施設が拡充される。
受益者	直接受益者：対象地域郡周辺及び隣接難民居住地からの学生 1,800 人（600 人/校）及び寄宿する教員 18 人（6 人/校）、計 1,818 人 間接受益者：対象郡と対象郡に隣接する難民居住地の住民 200,140 人 (注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中央：教育スポーツ省 計画局 施設計画内容の承認 県：対象各県教育局：施設計画内容の審査・建設中の進捗管理・建設後の維持管理・必要な教員及び職員の配置計画と予算充当を行う。 国際機関：県との協議により一部教員の配置に係る予算充当が想定される。
事業実施体制	無償資金協力 施設・機材等調達方式 本邦企業活用型 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：責任機関（OPM 及び教育省）より本邦コンサルタントに発注 施工：本邦企業 施工監理：本邦コンサルタント モニタリング：Arua、Koboko、Yumbe 県教育局
事業費概算	基本コンポーネント費用：16.7 億円（参考：無償現地企業活用型は、14.3 億円） 各校以下の施設コンポーネントで構成する。 ・教室棟（3 教室/棟）x4 棟 ・理科実験室棟（実験室）x1 棟 ・図書・ICT 室棟 x1 棟 ・事務管理棟 x1 棟 ・トイレ棟（5 便房/棟）x3 棟（男子、女子、教員用各 1 棟） ・教員住居用トイレ棟（2 便房、2 シャワー室/棟）x4 棟 ・教員住居（2 住戸/棟）x3 棟 ・学生寮（32 人/棟、）x6 棟（男女別各 3 棟）計 192 人 ・学生寮併設トイレ棟（5 便房・シャワー室（20 人/便房・シャワー室））x2 棟 ・教育機材（教科書は含まない）、家具

項目	内容
	<p>計画面積: 10214.13m<sup>2</sup> : 3,404.71m<sup>2</sup>/サイト x3 サイト</p> <p>事業費内訳:</p> <p>建設費: 14.3 億円</p> <p>機材費: 0.2 億円</p> <p>設計費・入札監理費・施工監理費: 2.2 億円</p> <p>留意事項 (事業費に影響する要素): 設計給水・電力供給量、土質条件、天候や治安等の不可抗力による工事遅延による間接経費の増加</p>
工期・施工 計画概略	<p>準備調査・EN/GA・コンサルタント契約: 12ヶ月</p> <p>詳細設計・入札図書作成・入札・発注: 10ヶ月</p> <p>建設工期: 1.5 年</p> <p>施工計画: 同時に 3 サイト施工</p>
サイト状況	<p>対象 3 サイトのうち 2 サイトは既存校であり、現場でのヒアリングにより自然災害履歴のないことを確認している。残る 1 サイトは新設サイトであるが、隣接する既存小学校で自然災害履歴がないことを確認している。</p>
評価基準案	<p>妥当性</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの裨益対象 ウガンダ国の包括的な難民支援を推進する地域開発の方針に則し、難民の流入の影響を強く受ける難民居住区を抱える郡の住民を対象とする。</li> <li>プロジェクト目標と緊急性 難民の流入により悪化した教育指標: 一教員当たりの学生数 (PCR) や、一教員当たりの学生数 (PTR) の早急の改善が求められる。</li> <li>中・長期的開発計画の目標達成への貢献 国家開発計画 (NDP2015/16-2019/20) の中で、教育セクターの開発は、保健や水衛生等のセクターと共に「人的資本の開発の強化」(Enhancing human capital development) という目標の下に位置付けている。</li> <li>我が国の援助政策・方針との整合性 経済成長実現のための環境整備 日本 の技術や知見を活かした案件形成に留意しつつ、インフラ整備を通じて、ウガンダの持続可能な経済成長の実現への貢献に対し、産業基盤となる人材の能力・技術力向上貢献を図るための礎となる基礎教育における教育環境の改善を図ることから、本プロジェクトの実施は妥当性と判断される。</li> </ol> <p>有効性</p> <p>[定量的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施 3 年後における就学率</li> <li>事業実施 3 年後における新設教室での年間授業時間数</li> </ul> <p>[定性的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室や教育機材の数の不足が解消され、学生の学習環境及び教員の労働環境が改善する。</li> <li>実習室及び実習機材が質・量ともに改善され、カリキュラムが適切に実施される。</li> </ul>
平和構築の 視点及び実 施上の留意 点	<p>難民の受け入れにおいては、言語の壁がないよう必要に応じて通訳の配置が望まれる。また、学習状況は栄養状態によっても左右されるため、食糧配給が安定していることが重要となる。支援団体のみならず、コミュニティ参画での昼食プログラムの実施拡充を図る学校での受け入れが望まれる。</p> <p>また、学校をコミュニティの相互理解や対話の場としても活用することができることから、「開かれた施設」として、夜間や休日にコミュニティが利用できるようにする。但し、その際に一部の部族による占有等がないように配慮する。</p> <p>対象となる郡及び Z/S</p> <p>Arua 県: Uriama 郡及び Zone 1, 2 and 6 in Rhino-Camp Settlement</p> <p>Koboko 県: Lobule 郡及び Zone A and B in Lobule Settlement</p> <p>Yumbe 県: Ariwa 郡及び Zone 5 in Bidi Bidi Settlement</p>

別添資料

別添資料 1: 計画対象校一覧表及び位置図

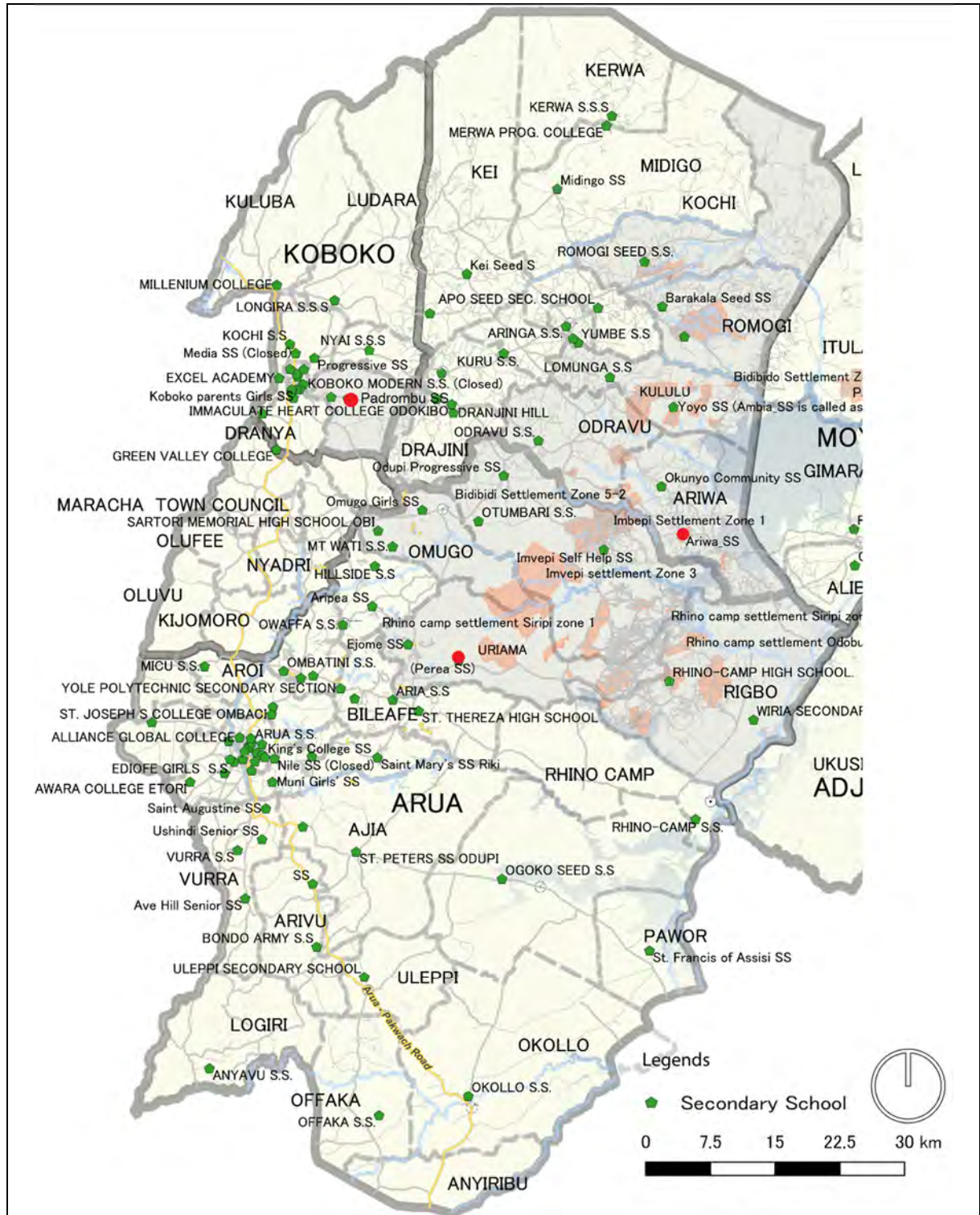
別添資料 2: 計画対象校概要 \*各校の以下情報を添付する。

別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

□計画対象校（新規計画サイト）一覧表

No.	県	郡	学校名	学生数			教室数		学生数/教室 (本設+仮設)	優先度
				難民	ウ国民	合計	本設	仮設		
01	Arua	Uriama	Perea Hill SS (New)	N/A						1
02	Koboko	Lobule	Padrombu SS (Existing)	22	90	112	0	4	28.0	3
03	Yumbe	Ariwa	Ariwa SS (Existing)	390	47	437	0	6	72.3	2

□計画対象校位置図



●本計画対象校を示す。

別添資料 2 : 計画対象校概要 \*各校の以下情報を添付する。

**01: Arua District Uriama Sub-county: Perea Hill Secondary School (New Site)**

**□ 1. Information about School**

School name:	Perea Hill Secondary School	Yr. of Est.	Yet to be established
Address:		Parish	Akinio
Tel:			
E-mail:			
Contact person:	Mr. Afeku James – sub county chief Uriama on 0772638416; Aluonzi Vincent Alioma – opinion leader on 0779235628 and Anzo Jacob – elder on 0775795133		

**□ 2. Students and Staff**







**□ 3. Information about school facilities**

Water:	Water source: a borehole nearby Perea Primary school has very poor yield.
Electricity	not available
Communication	
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special but wind Storm occurred

**□ 4. Request**

1. A new secondary school be built next to Perea Primary School. The name of the school shall be PEREA HILL SECONDARY SCHOOL. The existing primary school together with the community has given land for the secondary school to be built.
2. Classrooms, Laboratory, Staffroom, Office block, Kitchen and store and dining hall
3. Staff Quarters, Dormitories
4. All complete with VIP latrines

**□ 5. Photos**

		
Classroom/Administrative Block land where the school is proposed to be built	Classroom / Administrative Block	The nearby Perea Primary school block
		
Classroom / Administrative Block (Interior)	Stakeholders in the community showing the borders of the land for the proposed secondary school.	Stakeholders in a meeting about the proposed Perea Hill Secondary School to be built next to Perea Primary school.

## 02: Koboko District: Lobule Sub-County: Padrombu Secondary School (Existing School)

### □ 1. Information about School: Koboko District, Lobule SC

School name:	Padrombu Secondary School – Currently it is community school but it is planned to be registered as a government aided school	Yr. of Est.	2014
Contact person:	Headmaster-Rhone Manase Peterson-0772-960240		

### □ 2. Information about school:

Shift		1 Shift								
Students	Grade	No. Stream	No. of student							G.Total
			Refugee			National				
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Lower Secondary	S1	1	5	2	7	18	4	22	29	
	S2	1	6		6	26	15	41	47	
	S3	1	7	1	8	11	8	19	27	
	S4	1	1		1	7	1	8	9	
Higher Secondary	S5	N/A								
	S6	N/A								
G.Total			19	3	22	62	28	90	112	
No. of Disables	Visual		0	Hearing			0	Others		0
	Physical		0	Mental			0	Total		0
Staff										
Teaching staff	Paid by GoU		0							
	Paid by UNHCR		0							
	Paid by PTA		17 (including 1 bursar)							
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		Matron 1							
Total		18								

### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Block 01 (administration block: HM room, teacher room, and store) built by Community (Yr-2014)
	3 classrooms and 1 store are borrowed from Padrombu PS which was also raised by community
	1 classroom is borrowed from Church
No. Staff quarters	N/A
# of stance of Toilet	Student: Male:( ), Female: ( ) >> Total (only 5 ) stances, other 8 are non-functional
	Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( 0) stances: Note it is too few to cover the number of students and teachers since 5 stances are shared with PS, Church, ECD
Other facilities	Male dormitory (12-15students are boarding) Kitchen
Water:	Water source is shared with adjacent PS and Church
Electricity	Solar Power
Communication	Mobile only
Land right	Currently Community
Land availability	Enough for expansion but border between PS and Church shall be identified before planning
Disaster records	Nothing Special

### □ 4. Request

Permanent facilities such as Classrooms, Laboratories, Library, ICT room for students Teachers houses, and boarding facilities
---

□ 5. Photos

	
Administration Block	Head Teacher and Deputy HT room
	
Classrooms borrowed from Padrombu PS	Inside the classroom borrowed from Padrombu PS
	
Classroom borrowed from Church	Inside the classroom borrowed from Church
	
Toilet	Kichen
	
Kitchen is attached with bedroom (Male Dormitory)	Inside Male Dormitory



### 03: Yumbe District: Ariwa Sub-County: Ariwa Secondary School (Existing School)

#### □ 1. Information about School

School name:	Ariwa Secondary School	Yr. of Est.	06/03/2017
Tel:	0782-021908(HM)/0772-874026(Sub county Chief) /0788-374360 (L111 Chair) /0787-849258 (Parish Chief)		
E-mail:	-		
Contact person:	Dawa Claudia scholastic/ Aluma Aziz/ Adiru Jamila/ Swale abdulnur		

#### □ 2. Students and Staff

Shift	1 Shift								
Students	Grade	No. Stream	No. of student						G.Total
			Refugee			National			
			Male	Female	Total	Male	Female	Total	
	S1	1	109	58	167	23	9	32	199
	S2	1	70	31	101	6	2	8	109
	S3	1	90	32	122	4	3	7	129
	S4								
	S5								
	S6								
	G.Total	3	269	121	390	33	14	47	437
No. of Disables	Visual		0	Hearing		0	Others		
	Physical		2	Mental		2	Total		
Staff									
Teaching staff	GoU		0						
	UNHCR		14						
	PTA		0						
Supporting Staff	Cleaner, Warden, etc.		1						
	Total		15						







#### □ 3. Information about school facilities

No. of Block	Blocks (6CRs) Temporary built by ( UNHCR)
No. Staff quarters	Hut: ( 7 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
	# of Teacher staying in SQs: ( 14 )In total
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 5 ) >> Total (10) stances
	Teacher: Male:( 1 ), Female: ( 1 ) >> Total ( 2) stances
Other facilities	
Water:	No Water in school - There tape stand 400m in the community
Electricity	No Power
Communication	Mobile: Available
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion: 25, 000 square metres available
Disaster records	Nothing Special

#### □ 4. Request

<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Permanent structures for all facilities</li> </ul>
---

□ 5. Photos

	
<p>Classroom / Administrative Block – HM, LC 111              Chairman, Sub county Chief and Parish Chief</p>	<p>Classroom / Administrative Block- HMs Office</p>
	
<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>	<p>Classroom / Administrative Block (Interior)</p>
	<p>No borehole</p>
<p>Latrines</p>	<p>Borehole</p>
	
<p>Land for construction</p>	<p>Staff Quarters</p>

セクター：教育（中等教育） 案件番号：E-4
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB

項目	内容
案件名	西ナイル東部地域（Adjumani 県・Moyo 県）中等教育施設改善計画
案件概要	西ナイル東部地域（Adjumani 県・Moyo 県）の中で、難民流入の影響を最も大きく受けている難民居住地を抱えるサブカウンティ（以下、「郡」）において、前期及び後期中等教育課程を提供する地方部でのモデルとなる中学校を建設する。遠隔地の学生の教育へのアクセス改善を図るため、学生定員の 1/3 の規模の学生寮を計画する。
実施背景	西ナイル地域の難民居住区を抱える 5 県（Adjumani 県・Arua 県・Koboko 県・Moyo 県及び Yumbe 県）では、2016 年の 6 月以降、南スーダンから難民の流入が続いており 2017 年 7 月末時点で 75 万人に達している。その約 23%にあたる 17.5 万人の学齢人口（13-18 歳）の増加により、難民を受け入れる教育施設では学生の急増により教育環境が悪化している。本計画対象の西ナイル東部地域での 2016 年 6 月からの約 1 年間に増加した学齢人口（13-18 歳）約 62,000 人（ウガンダ国民+難民）に対し、中等教育課程で約 340 の新規教室が必要な状況にある。 中等教育施設は都市部に多く、地方部では少ない。例えば地方部では隣接する中学校までの距離が 20km に及ぶ地域も存在し、中等教育へのアクセスが困難である。また地方部の多くの中学校では、後期中等教育の実施に必要な施設の整備が進んでおらず、後期中等以降の教育へのアクセスが実質不可能な状況にある。 さらに本計画対象地域が難民居住地を抱える郡であり、基本的に都市部から離れた地方の遠隔地であるため、安定した学校運営の観点から学生寮や教員用住居の設置が不可欠である。しかし教室と共に教員住居・学生寮の整備も遅れている。特に教員に関しては都市部からの通勤時間、未舗装路による不安定な交通事情による欠勤や遅刻が大きな課題となっている。教育環境の改善を図るうえで、教室・トイレとともに学生寮・教員住居を合わせた施設のニーズは高く、県の開発計画においてもこれらを一体とした整備を重点分野に位置付けている。
対象地域	Adjumani 県 Dzaipi 郡・Moyo 県 Itula 郡
事業目的	プロジェクト目標：Adjumani 県及び Moyo 県の難民の流入により教育環境に大きな影響を受けている難民居住地を抱える郡において中等教育へのアクセス及び学習環境が改善される。 成果：対象地において中等教育施設が拡充される。
受益者	直接受益者：対象地域郡周辺及び隣接難民居住地からの学生 1,200 人（600 人/校）及び寄宿する教員 12 人（6 人/校）、計 1,212 人 間接受益者：対象郡と対象郡に隣接する難民居住地の住民 303,201 人 (注) 直接・間接の受益者人口は本調査でとりまとめた結果に基づく。
関係機関と役割	中 央：教育スポーツ省 計画局 施設計画内容の承認 県：対象各県教育局：施設計画内容の審査・建設中の進捗管理・建設後の維持管理・必要な教員及び職員の配置計画と予算充当を行う。 国際機関：県との協議により一部教員の配置に係る予算充当が想定される。
事業実施体制	無償資金協力 施設・機材等調達方式 本邦企業活用型 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：責任機関（OPM 及び教育省）より本邦コンサルタントに発注 施 工：本邦企業 施工監理：本邦コンサルタント モニタリング：Adjumani、Moyo 県教育局
事業費概算	基本コンポーネント費用：11.9 億円（参考：無償現地企業活用型は、10.5 億円） 各校以下の施設コンポーネントで構成する。 ・教室棟（3 教室/棟）x4 棟 ・理科実験室棟（実験室）x1 棟 ・図書・ICT 室棟 x1 棟 ・事務管理棟 x1 棟 ・トイレ棟（5 便房/棟）x3 棟（男子、女子、教員用各 1 棟） ・教員住居用トイレ棟（2 便房、2 シャワー室/棟）x4 棟 ・教員住居（2 住戸/棟）x3 棟 ・学生寮（32 人/棟、）x6 棟（男女別各 3 棟）計 192 人 ・学生寮併設トイレ棟（5 便房・シャワー室（20 人/便房・シャワー室））x2 棟

項目	内容
	<p>・教育機材（教科書は含まない）、家具 計画面積: 6,809.42m<sup>2</sup> : 3,404.71m<sup>2</sup>/サイト x2 サイト 事業費内訳： 建設費：9.6 億円 機材費：0.1 億円 設計費・入札監理費・施工監理費：2.2 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：設計給水・電力供給量、土質条件、天候や治安等の不可抗力による工事遅延による間接経費の増加</p>
工期・施工計画概略	<p>準備調査・EN/GA・コンサルタント契約：12ヶ月 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：10ヶ月 建設工期：1.5 年 施工計画：同時に 2 サイト施工</p>
サイト状況	既存校であり、現場でのヒアリングにより自然災害履歴のないことを確認している。
評価基準案	<p>妥当性</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの裨益対象 ウガンダ国の包括的な難民支援を推進する地域開発の方針に則し、難民の流入の影響を強く受ける難民居住区を抱える郡の住民を対象とする。</li> <li>プロジェクト目標と緊急性 難民の流入により悪化した教育指標：一教員当たりの学生数（PCR）や、一教員当たりの学生数（PTR）の早急の改善が求められる。</li> <li>中・長期的開発計画の目標達成への貢献 国家開発計画（NDP2015/16-2019/20）の中で、教育セクターの開発は、保健や水衛生等のセクターと共に「人的資本の開発の強化」（Enhancing human capital development）と言う目標の下に位置付けている。</li> <li>我が国の援助政策・方針との整合性 経済成長実現のための環境整備 日本の技術や知見を活かした案件形成に留意しつつ、インフラ整備を通じて、ウガンダの持続可能な経済成長の実現への貢献に対し、産業基盤となる人材の能力・技術力向上貢献を図るための礎となる基礎教育における教育環境の改善を図ることから、本プロジェクトの実施は妥当性と判断される。</li> </ol> <p>有効性</p> <p>[定量的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施 3 年後における就学率</li> <li>・事業実施 3 年後における新設教室での年間授業時間数</li> </ul> <p>[定性的効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室や教育機材の数の不足が解消され、学生の学習環境及び教員の労働環境が改善する。</li> <li>・実習室及び実習機材が質・量ともに改善され、カリキュラムが適切に実施される。</li> </ul>
平和構築の視点及び実施上の留意点	<p>難民の受け入れにおいては、言語の壁がないよう必要に応じて通訳の配置が望まれる。また、学習状況は栄養状態によっても左右されるため、食糧配給が安定していることが重要となる。支援団体のみならず、コミュニティ参画での昼食プログラムの実施拡充を図る学校での受け入れが望まれる。</p> <p>また、学校をコミュニティの相互理解や対話の場としても活用することができることから、「開かれた施設」として、夜間や休日にコミュニティが利用できるようにする。但し、その際に一部の部族による占有等がないように配慮する。</p> <p>対象となる郡及び Z/S</p> <p>Adjumani 県： ・ Dzaipi 郡及び Pagirinya Settlement, Nyumanzi Settlement, Elema Settlement, Baratuku Settlement,</p> <p>Moyo 県： Itula 郡及び Parorinya Settlement のうち Zone 1, 2, 3</p>

別添資料

別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

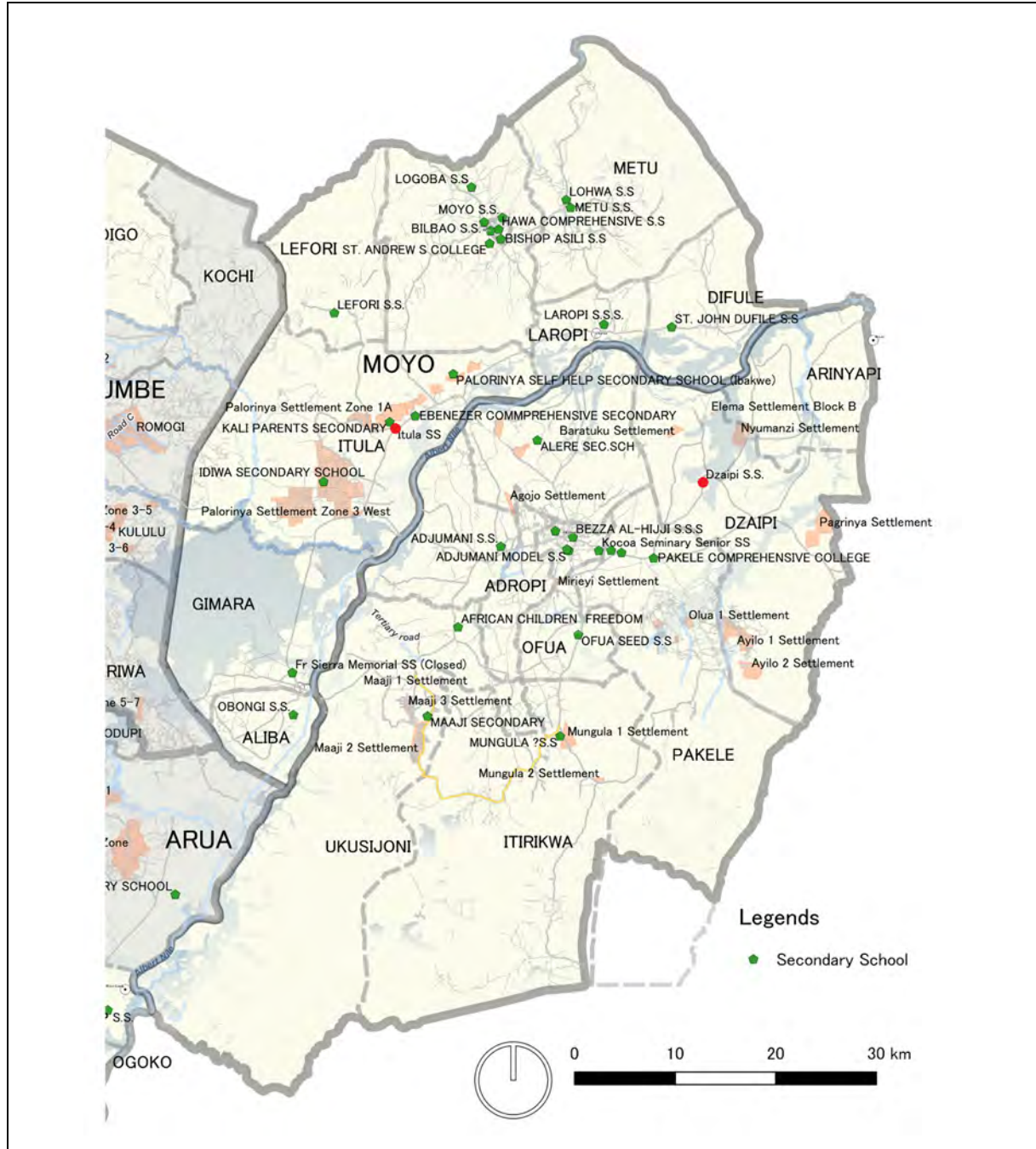
別添資料 2：計画対象校概要 \*各校の以下情報を添付する。

別添資料 1：計画対象校一覧表及び位置図

□計画対象校（新規計画サイト）一覧表

No.	県	郡	学校名	学生数			教室数		学生数/教室 (本設+仮設)	優先度
				難民	ウ国民	合計	本設	仮設		
01	Adjumani	Dzaipi	Dzaipi SS (Existing)	65	240	305	4	1	60.1	2
02	Moyo	Itula	Itula SS (Existing)	1,611	180	1,791	10	5	119.4	1

□計画対象校位置図：



●本計画対象校を示す。

別添資料 2 : 計画対象校概要 \*各校の以下情報を添付する。

### 01: Adjumani District: Dzaipi Secondary School (Existing School)

#### □ 1 Information about School

School name:	Dzaipi Secondary School – Up scaling of an existing secondary school was requested by DEO	Yr. of Est.	1994
Address:	P.O.Box 156, Adjumani	Parish	Ajugopi
Tel:	0784500198 for head teacher; 0787152920 for board of governors' chairman.		
E-mail:	-		
Contact person:	Amizaro Jerome – head teacher and Amba Gabriel chairman board of governors		

#### □ 2. Students and Staff

Shift		1 Shift								
Students	Grade	No. Stream	No. of student						G.Total	
			Refugee			National				
			Male	Female	Total	Male	Female	Total		
Lower Secondary	S1	1	2	0	2	31	13	44	46	
	S2	1	2	0	2	28	10	38	40	
	S3	1	2	1	3	36	16	52	55	
	S4	1	39	18	57	68	29	97	154	
Upper Secondary	S5	Arts/ sciences	0	0	0	0	0	0	0	
	S6	Arts/ sciences	1	0	1	9	0	9	10	
G.Total			46	19	65	172	68	240	305	
No. of Disables	Visual		0		Hearing		0		Others	0
	Physical		0		Mental		0		Total	0
Staff										
Teaching staff		GoU		13						
		UNHCR		0						
		PTA		7						
Supporting Staff		Cleaner, Warden, etc.		13						
				Total		33				

#### □ 3 Information about school facilities

No. of Block	Block 01 ( 1 CR) (Perm.) built in (Yr.1998) by ( UNHCR )
	Block 02 ( 1 CR) (Semi-P.) built in (Yr. 1996) by ( LWF )
	Block 03 ( 1 CR) (Perm.) built in (Yr. 2016 ) by ( LWF )
	Block 02 ( 2 CR) (Perm.) built in (Yr.2016 ) by ( LWF )
No. Staff quarters	Hut: ( 0 )
	Single SQ: ( 0 )
	Semi-Detached SQ (2 house in 1 block) ( 0 )
	4 in 1 SQ: ( 0 )
# of Teacher staying in SQs: ( 0 ) In total	
# of stance of Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 5 ) >> Total ( 10 ) stances
	Teacher: Male:( 2 ), Female: ( 2 ) >> Total ( 4 ) stances
Other facilities	Laboratory, Very small kitchen.
Water:	borehole 800 metres away in the community
Electricity	Solar panel
Communication	Mobile for head teacher
Land right	Government
Land availability	Enough for expansion
Disaster records	Nothing Special

#### □ 4 Request

1. Dormitory for students
2. Staff quarters
3. Computers

□ 5 Photos



Classroom / Administrative Block



Classroom / Administrative Block



Classroom / Administrative Block (Interior)



Classroom / Administrative Block (Interior)



Latrines

No borehole and staff Quarters

Borehole, Staff Quarters

## 02: Moyo District: Itula Sub-County: Itula SS (Existing School)

### □ 1. Information about School

School name:	Itula SS– Up scaling of an existing secondary school was requested by DEO	Yr. of Est.	1996
Address:		Parish	Palujo
E-mail:	aligasules@gmail.com		
Contact person:	Aliga Sules		

### □ 2. Students and Staff

Students	Grade	No. Class	No. of student						G.Total
			Refugees			Nationals			
			Male	Female	Total	Males	Females	Total	
Lower Secondary	S1	4	365	213	578	36	31	67	645
	S2	3	318	123	441	34	26	60	501
	S3	3	236	116	352	36	17	53	405
	S4	3	101	108	209				209
Higher Secondary	S5		27	4	31				31
	S6								
G.Total		14	1,047	564	1,611	106	74	180	1,791
No. of Disables	Visual	0		Hearing	0		Others	0	
	Physical	1 Boy, 1 girl		Mental	0		Total	2	
Staff									
Teaching Staff	Paid by GoU		12						
	Paid by UNHCR		27						
	Paid by PTA		1 (Financial administrator: Bursar)						
Supporting Staff	Cleaner, Warden etc.		1 Librarian, 1 Lab assistant, 1 secretary, 1 Matron, 3 Watchmen and 15 cooks all paid by parents						

### □ 3. Information about school facilities











No. of Bldg.	Total 15 of which temporary ( 5 )		
No. Staff quarters	No. of staff quarter :1 + 8 tukuls	Students' Dorm.	Male:No. of Beds:( 160 )
	How many teachers reside 12		Female: No. of Beds ( 300 )
No. Toilet	Student: Male:( 5 ), Female: ( 10 ) >> Total ( 10 ) stances		
	Teacher: Male:( ), Female: ( ) >> Total ( 2 ) stances		
Other facilities	1 Temporary Kitchen 1 Multi-purpose Lab		
Water:	Borehole		
Electricity	Solar panel		
Communication	Mobile		
Land right	Government,		
Land availability	Enough for expansion		

### □ 4 Request (Challenges)

<ul style="list-style-type: none"> <li>- Insufficient # of classrooms, Modern lab is not adequate, No Library, No computer lab</li> <li>- No enough teachers</li> <li>- Only one borehole for both students and community</li> <li>- insufficient # of dormitories and staff quarters</li> <li>- No transport means</li> <li>- No incinerator,</li> <li>- Power source is not adequate</li> <li>- Sanitation is another challenge, Hand washing facilities not enough</li> </ul>
--



□ 5. Photos

	
Classroom	Some cracks on wall of existing blocks
	
Dormitory	No room to accommodate students for taking exams
	
Malfunctioned Lab	Teachers' room preparing learning material
	
Dormitory	Dormitory: Triple bunked beds are packed in a limited space
	
Toilet	Temporary toilet

13.4 水・衛生

セクター：給水	案件番号：W-1
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	西ナイル東部地域（Adjumani 県、Moyo 県）における給水改善計画
案件概要	難民流入の影響により給水量が不足している Adjumani 県および Moyo 県のホストコミュニティ 3 郡を対象に、ハンドポンプ付き井戸の新設（100 ヶ所）および改修（43 ヶ所）、管路給水施設の新設（5 ヶ所）および既存給水施設の改修・拡張工事（3 ヶ所）を行う。（数値は 3 郡の合計。3 郡に均等に整備されるかは、準備調査の結果に基づくことになる）
実施背景	2017 年に JICA が実施した西ナイル地域における社会インフラ基礎調査によると、対象の Adjumani 県と Moyo 県を合わせた全体の 1 日あたりの水需要量は 10,751 m <sup>3</sup> であるのに対して、安全で持続的に利用可能な水源からの供給量は 6,178 m <sup>3</sup> に留まっており、1 日あたり 4,573 m <sup>3</sup> の水供給が不足している。1 人 1 日あたりでは Adjumani 県と Moyo 県全体では 8.51 リットル不足している。 ウガンダ政府は「第二次国家開発計画（Second National Development Plan 2015/16-2019/20: NDP II）」を 2015 年 6 月に公布し、地方における給水率を 2014/2015 年度の 65%から 2019/20 年度には 79%にすることを目標に掲げている。また、「水・環境セクター開発計画 2015/16-2019/20（Water and Environment Sector Development Plan）」では、人口の増加に伴う水の供給不足や生活排水による地下水汚染問題が指摘されており、今後は安全な地下水をより多くの給水ポイントで効率的に供給できる太陽光発電による管路給水施設の建設を推奨している。 県の開発計画では各県とも独自に給水率や給水施設の稼働率といった主要な指標を設定している。本案件の対象郡は開発計画内で具体的に取り上げられていないことから、県開発計画との重複はない（2017 年 10 月末現在）。
対象地域	Adjumani 県 Dzaipi 郡、Pakelle 郡及び Moyo 県 Itula 郡
事業目的	（プロジェクト目標） 難民流入の影響により給水量が不足している Adjumani 県 Dzaipi 郡、Pakelle 郡及び Moyo 県 Itula 郡において給水施設が改修・新設されることにより、安全な水へアクセスできる人口が増加する （プロジェクト成果） 対象地域において、ハンドポンプ付き深井戸および管路給水施設が整備される
受益者	直接受益者：Adjumani 県 Dzaipi 郡、Pakelle 郡及び Moyo 県 Itula 郡の住民計 113,477 人 間接受益者：同上地域に位置する難民居住区に居住する難民 276,008 人（Dzaipi 郡: Baratuku、Nyumanzi、Pagrinya、Elema、in、Pakele 郡: Ayilo 1、Ayilo 2、Ulua Boroli、Olua 1、Olua 2、Itula 郡: Palorinya-Zone A、Zone B） 【注】上記数値は 2024 年の予測人口である。計算方法は National Population and Housing Census 2014 に記載されている県別の人口増加率が将来一定と仮定して、UBOS の 2017 年人口予測に当増加率を掛けた。
関係機関と役割	水・環境省は施設建設後の施設の所有者として、給水サービスに関する規制の策定・監督、都市部・地方部の給水衛生サービスに関する技術監督を行う。 県の水事務所は毎年年間活動計画とあわせて予算計画書を水・環境省に提出し、水・衛生セクターに係る活動予算を確保する。 工事完了後に施設はその所有権を国に残したまま県を通じてサブ郡議会に移管され、郡事務所が施設のモニタリングや大規模修理など主な実務面の責任を担う。
事業実施体制	一般無償 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：水・環境省が本邦コンサルタントに発注 施 工：水・環境省が本邦建設会社に発注 施工監理：水・環境省が本邦コンサルタントに発注 モニタリング：Adjumani 県、Moyo 県
事業費概算	基本コンポーネント費用：15.94 億円 事業費内訳：建設費 14.07 億円 設計・監理費 1.87 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：新規水源の揚水能力および位置

項目	内容
工期・施工 計画概略	準備調査・EN/GA・コンサルタント契約：1.0年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0年 建設工期：1.5年
サイト状況	物理探査、試掘調査、既存水源調査（水量、水質）、測量調査（導水管、送配水管ルート、貯水タンク地等の設計に必要な地形測量および土質）は準備調査で確認する。 基本的には既存の給水施設を活用した給水網の拡張を行う。しかし水源、地形、既存施設の老朽化等の状況次第では、各施設整備の対象サイト全域に給水できない場合も考えられるため、準備調査を通じて、対象郡の既存施設の拡張規模の可能性、給水可能対象人口を具体的に調査することが必要である。 水源の建設や管網の拡張に際し、用地取得および非自発的住民移転等の可能性が予想されるため、JICA 環境社会配慮ガイドラインにおいてカテゴリーBに分類される。したがって、試掘調査等の結果に基づき選定されたサイトにおいてIEEレベルの環境社会配慮調査を行い、主要な環境社会影響項目に対する緩和策、モニタリング計画案を作成する。
評価基準案	日平均水需給バランス（ $m^3$ /日）、1人1日あたり水需給バランス（ $m^3$ /人/日）
平和構築の 視点及び実 施上の留意 点	ホストコミュニティと難民居住区の境界付近の地域では特に、管路給水施設の公共水栓やポイント給水の数が、ホストコミュニティ側の一方のみに偏ることによって生じる対象地域住民と難民間の争いに配慮した施設整備をすることが重要である。また、同一の管路給水施設の公共水栓の間で水圧の問題から給水量に大きな差異がでないように配管敷設のエリア及び、公共水栓の場所の選定には先方政府及び現地住民との協議を通じて行うことが望ましい。さらに、給水施設の日常管理の住民組織を形成する際は、部族間のバランスやジェンダー・バランスに配慮し、給水施設の維持管理体制に特定のグループのみの意見が反映されることが無いように十分に留意する。

別添資料 1：既存給水施設現況写真

	
<p>Pakelle 管路給水施設の故障しているモノリフト・ポンプ。修理が技術的に困難な状況。 (Adjumani 県 Pakelle 郡)</p>	<p>Pakelle 管路給水施設の太陽光発電設備。一部のモジュールが盗まれている。 (Adjumani 県 Pakelle 郡)</p>
	
<p>Pakelle 管路給水施設の高架式貯水槽。水槽の高さが十分ではなく、背後の地域には配水がされていない。 (Adjumani 県 Pakelle 郡)</p>	<p>Dzaipi 管路給水施設のポンプ室内の様子。ディーゼル発電機が 2014 年に盗まれて以降、施設は不稼動の状態が続いている。 (Adjumani 県 Dzaipi 郡)</p>
	
<p>Dzaipi 管路給水施設の高架式貯水槽。 (Adjumani 県 Dzaipi 郡)</p>	<p>Dzaipi 管路給水施設の水源井戸。 (Adjumani 県 Dzaipi 郡)</p>



Itula 管路給水施設の高架式貯水槽。老朽化により漏水が生じている。架台部および梯子が錆により腐食し、崩壊の危険性がある。  
(Moyo 県 Itula 郡)



Itula 管路給水施設の高架式貯水槽。住民が漏水により地面に溜まった水を取水する様子。  
(Moyo 県 Itula 郡)

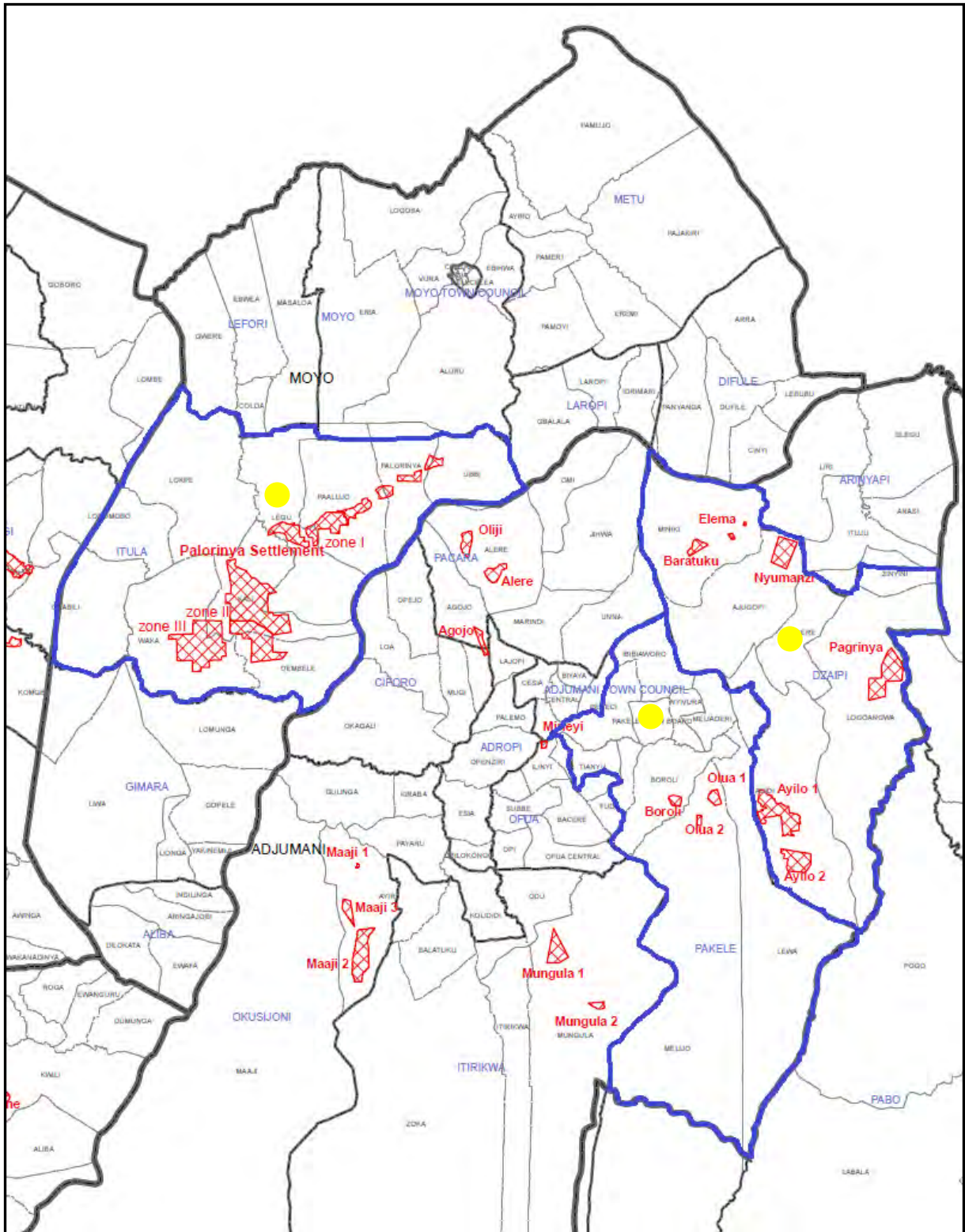


Itula 管路給水施設のポンプ室の概観。  
(Moyo 県 Itula 郡)



井戸で順番待ちをする様子。  
(Adjumani 県 Pakelle 郡)

別添資料2：プロジェクト位置図



- 凡例
- : 対象郡
  - : 既存管路給水施設の水源の位置 (パリッシュ)

セクター：給水	案件番号：W-2
保健：H、教育：E、給水：W、道路・小規模橋梁：RB	

項目	内容
案件名	西ナイル西部地域（Arua 県、Koboko 県、Yumbe 県）における給水改善計画
案件概要	難民流入の影響により給水量が不足している Arua 県および Koboko 県、Yumbe 県のホストコミュニティ 5 郡を対称に、ハンドポンプ付き井戸の新設（100 ヶ所）および改修（61 ヶ所）、管路給水施設の新設（5 ヶ所）および既存給水施設の改修・拡張工事（3 ヶ所）を行う（数値は 5 郡の合計。5 郡に均等に整備されるかは、準備調査の結果に基づくことになる）。
実施背景	2017 年に JICA が実施した西ナイル地域における社会インフラ基礎調査によると対象の Arua 県、Koboko 県、Yumbe 県全体の 1 日あたりの水需要量は 18,205 m <sup>3</sup> であるのに対して、安全で持続的利用可能な水源からの供給量は 8,509 m <sup>3</sup> に留まっており、1 日あたり 9,696 m <sup>3</sup> の水供給が不足している。1 人 1 日あたりでは Arua 県、Koboko 県、Yumbe 県全体では 10.65 リットル不足しており、需要量の半分も満たしていない状況にある。 ウガンダ政府は「第二次国家開発計画 (Second National Development Plan 2015/16-2019/20: NDP II)」を 2015 年 6 月に公布し、地方における給水率を 2014/2015 年度の 65% から 2019/20 年度時点で 79% にすることを目標に掲げている。また、「水・環境セクター開発計画 2015/16-2019/20 (Water and Environment Sector Development Plan)」では、人口の増加に伴う水の供給不足や生活排水による地下水汚染問題が指摘されており、今後は安全な地下水をより多くの給水ポイントで効率的に供給できる太陽光発電による管路給水施設の建設を推奨している。 県の開発計画では各県とも独自に給水率や給水施設の稼働率といった主要な指標を設定している。本案件の対象郡は開発計画内で具体的に上げられていないことから、県開発計画との重複はない（2017 年 10 月末現在）。
対象地域	Arua 県 Odupi 郡、Uriama 郡、Koboko 県 Lobule 郡、Yumbe 県 Kululu 郡、Kochi 郡
事業目的	(プロジェクト目標) 難民流入の影響により給水量が不足している Arua 県 Odupi 郡、Uriama 郡、Koboko 県 Lobule 郡、Yumbe 県 Kululu 郡、Kochi 郡において給水施設が改修・新設されることにより、安全な水へアクセスできる人口が増加する (プロジェクト成果) 対象地域において、ハンドポンプ付き深井戸および管路給水施設が整備される
受益者	直接受益者：Arua 県 Odupi 郡、Uriama 郡、Koboko 県 Lobule 郡、Yumbe 県 Kululu 郡、Kochi 郡の住民計 237,068 人、 間接受益者：同上地域に位置する難民居住区の居住難民 338,934 人（Odupi 郡: Imvepi-Zone 1、Zone 2、Zone 3、Rhino Camp-Zone 2、Zone 6、Uriama 郡 Rhino Camp-Zone 1、Zone 2、Zone 6 in、Lobule 郡: Lobule-Zone A、Zone B in、Kululu 郡: Bidibidi Zone 3、Kochi 郡: Bidibidi Zone 2） 【注】上記数値は 2024 年の予測人口である。計算方法は National Population and Housing Census 2014 に記載されている県別の人口増加率が将来一定と仮定して、UBOS の 2017 年人口予測に当増加率を掛けた。
関係機関と役割	水・環境省は施設建設後の施設の所有者として、給水サービスに関する規制の策定・監督、都市部・地方部の給水衛生サービスに関する技術監督を行う。 県の水事務所は毎年年間活動計画とあわせて予算計画書を水・環境省に提出し、水・衛生セクターに係る活動予算を確保する。 工事完了後に施設はその所有権を国に残したまま県を通じてサブ郡議会に移管され、郡事務所が施設のモニタリングや大規模修理など主な実務面の責任を担う。
事業実施体制	一般無償 準備調査：JICA より本邦コンサルタントに発注 詳細設計：水・環境省が本邦コンサルタントに発注 施 工：水・環境省が本邦建設会社に発注 施工監理：水・環境省が本邦コンサルタントに発注 モニタリング：Arua 県、Koboko 県、Yumbe 県
事業費概算	基本コンポーネント費用：16.41 億円 事業費内訳：建設費 14.48 億円 設計・監理費 1.93 億円 留意事項（事業費に影響する要素）：新規水源の揚水能力および位置

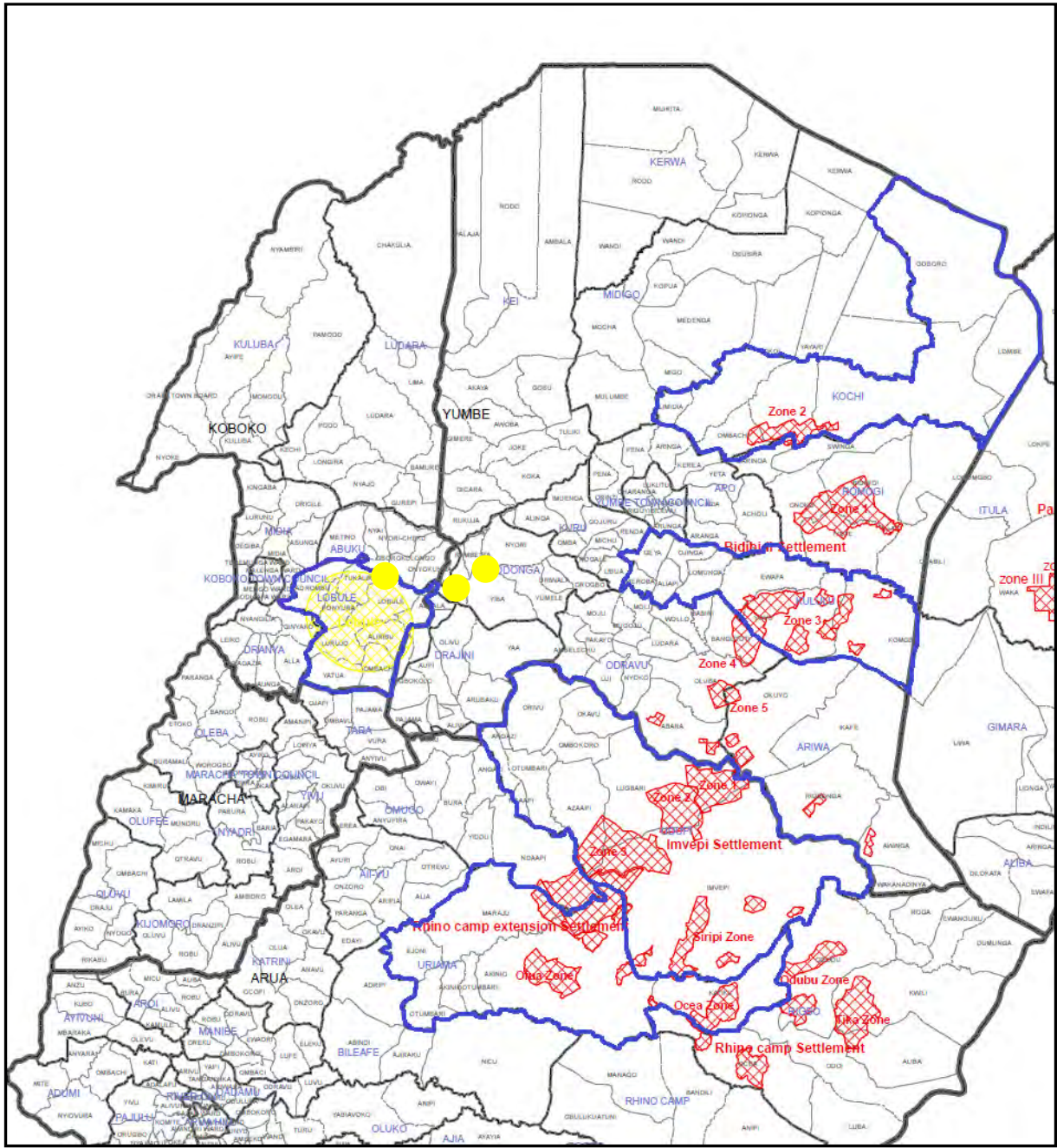
項目	内容
工期・施工 計画概略	準備調査・EN/GA・コンサルタント契約：1.0年 詳細設計・入札図書作成・入札・発注：1.0年 建設工期：1.5年
サイト状況	物理探査、試掘調査、既存水源調査（水量、水質）、測量調査（導水管、送配水管ルート、貯水タンク地等の設計に必要な地形測量および土質）は準備調査で確認する。 基本的には既存の給水施設を活用した給水網の拡張を行う。しかし水源、地形、既存施設の老朽化等の状況次第では、各施設整備の対象サイト全域に給水できない場合も考えられるため、準備調査を通じて、対象郡の既存施設の拡張規模の可能性、給水可能対象人口を具体的に調査することが必要である。 水源の建設や管網の拡張に際し、用地取得および非自発的住民移転等の可能性が予想されるため、JICA 環境社会配慮ガイドラインにおいてカテゴリーBに分類される。したがって、試掘調査等の結果に基づき選定されたサイトにおいてIEEレベルの環境社会配慮調査を行い、主要な環境社会影響項目に対する緩和策、モニタリング計画案を作成する。
評価基準案	日平均水需給バランス（m <sup>3</sup> /日）、1人1日あたり水需給バランス（m <sup>3</sup> /人/日）
平和構築の 視点及び実 施上の留意 点	ホストコミュニティと難民居住区の境界付近の地域では特に、管路給水施設の公共水栓やポイント給水の数が、ホストコミュニティ側の一方のみに偏ることによって生じる対象地域住民と難民間の争いに配慮した施設整備をすることが重要である。また、同一の管路給水施設の公共水栓の間で水圧の問題から給水量に大きな差異がでないように配管敷設のエリア及び、公共水栓の場所の選定には先方政府及び現地住民との協議を通じて行うことが望ましい。さらに、給水施設の日常管理の住民組織を形成する際は、部族間のバランスやジェンダー・バランスに配慮し、給水施設の維持管理体制に特定のグループのみの意見が反映されることが無いように十分に留意する。



別添資料 1：既存給水施設現況写真

	
<p>Omugo 管路給水施設の太陽光発電設備。 (Arua 県 Omugo 郡)</p>	<p>Omugo 管路給水施設のポンプ室内の様子。 (Arua 県 Omugo 郡)</p>
	
<p>Omugo 管路給水施設の取水ポンプ駆動用のディーゼル発電機。 (Arua 県 Omugo 郡)</p>	<p>Omugo 管路給水施設の 4 栓式のキオスク。(Arua 県 Omugo 郡)</p>
	
<p>住民により柵が設置されている井戸 (Arua 県 Odupi 郡)</p>	<p>ハンドル保護策が設置されている井戸 (Arua 県 Odupi 郡)</p>

別添資料2：プロジェクト位置図



凡例

- : 対象郡
- : 既存管路給水施設の水源の位置 (パリッシュ)

(対象外郡の施設であるが、配水ルート拡張の可能性を検討する)